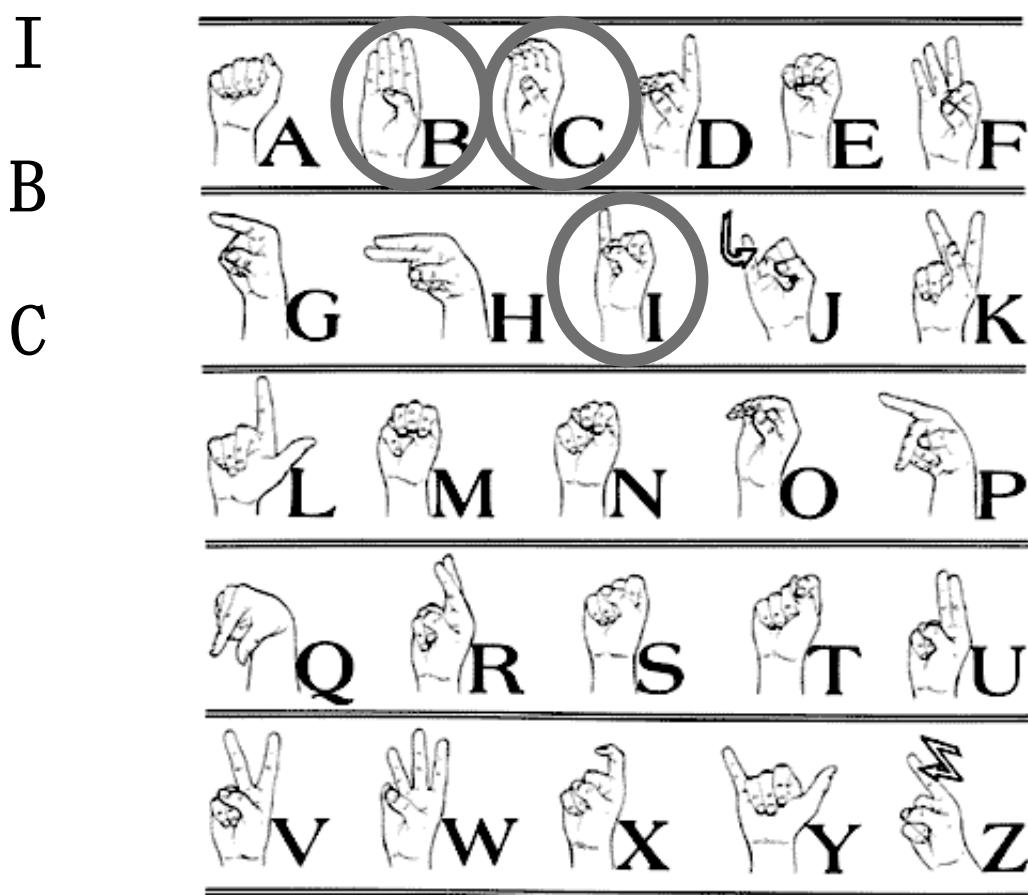


2016年度 後期 シラバス



クラス		名前	
-----	--	----	--

西鉄国際ビジネスカレッジ

<目次>

共通	P1～19
ホテル・ブライダル	P20～59
トラベル・鉄道	P60～95
エアライン・エアポート	P96～116
夜間総合観光	P117～135

共通科目

(語学関連、ビジネス・マナー関連、
就職関連・教養科目等)

共通 学年	科目名	クラス	ページ
1	英検対策Ⅰ	AHKMOVZ	1
1	英検対策Ⅱ①	OV①	2
1	英検対策Ⅱ②	OV②	3
1	英検対策Ⅱ③	OV③	4
1	オーラルイングリッシュ	KOV	5
1	ビジネス検定対策	AKMOVZ	6
1	面接対策	AMOV	7
1	コンピュータ	AHKMOVZ	8
1	SPI言語対策	AHKOVZ	9
1	SPI非言語対策	AHKOVZ	10
1・2	中国語	KOE1NW	11
1・2	韓国語	KOE1NW	12
2	フランス語	EI	13
2	観光英語	QRW	14
2	コミュニケーションイングリッシュ	LNQRW	15
2	コンピュータ	LNQRWY	16
2	コミュニケーション学	LN	17
2	ビジネスマナー	LQRW	18
2	観光学	LQRW	19

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	1年	対象クラス	全学科	AHKMOVZクラス
科目名	英検対策I	担当講師	内川、挽田、羽矢、中牟田、平島	
到達目標 第2回英検(10月8日)第3回英検(1月21日)合格へ向け、試験の形式に慣れ、語彙力、リスニング力をつける				
使用テキスト 旺文社 英検過去問題集				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 授業態度、提出物、小テストなど平常点30%、期末テスト70%で評価する。 *シラバスの内容はクラスの進度により異なることがあります。				

	テーマ	授業内容
第1週	語彙、文法力、リスニング対策	授業や評価方法についてのオリエンテーション 語彙、文法力、リスニング対策
第2週	語彙、文法力、リスニング対策	単語テスト テキスト 語彙、文法力、リスニング対策
第3週	第2回検定対策	単語テスト テキスト 語彙、文法力、リスニング対策
第4週	第2回検定の自己採点、解説	各自、試験問題冊子に必ず解答を記入し、自己採点する 1次筆記試験の解答、解説
第5週	語彙、文法力、リスニング対策	単語テスト テキスト 語彙、文法力、リスニング対策
第6週	語彙、文法力、リスニング対策 2次試験対策	単語テスト テキスト・語彙、文法力、リスニング対策 2次試験対策
第7週	語彙、文法力、リスニング対策	単語テスト テキスト 語彙、文法力、リスニング対策
第8週	語彙、文法力、リスニング対策	単語テスト テキスト 語彙、文法力、リスニング対策
第9週	語彙、文法力、リスニング対策	単語テスト テキスト 語彙、文法力、リスニング対策
第10週	期末試験対策	後期学習内容の復習
第11週	期末試験フィードバック 第3回検定対策	期末試験の解説 各自、理解できなかった部分を理解 第3回検定対策
第12週	後期授業総まとめ	後期授業内容総まとめ

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	1年	対象クラス	エアライン科・エアポート科	OV①クラス
科目名	英検対策Ⅱ①		担当講師	挽田 雅子
到達目標				
<p>英文法を学び英語の基礎力を上げる 文法は英語を発信する際に必要なので、英語を使って意思疎通するためにも文法力は欠かせない 英検やTOEICなどの文法問題の解法を学ぶと同時にコミュニケーションのための英語力を身につけることを目標とする</p>				
使用テキスト				
入門英文法 問題精講				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
期末試験(80%) 平常点(小テスト及び授業態度)				

	テーマ	授業内容
第1週	受動態	オリエンテーション 後期授業の進め方と評価方法について説明する 動詞の成句表現の受動態 他動詞の受動態を用いた熟語
第2週	不定詞	不定詞の3つの意味 不定詞の否定形を学ぶ 完了形の不定詞の用法と意味を理解する
第3週	動名詞	動名詞と現在分詞の違いを理解する 動名詞の意味上の主語の表し方を学ぶ 動名詞と不定詞で意味が異なるものを覚える
第4週	分詞(1)	現在分詞と過去分詞の意味を学ぶ 分詞構文の構成を理解する 過去分詞で始まる分詞構文をマスターする
第5週	分詞(2)・使役表現	独立分詞構文や分詞構文の慣用表現を学ぶ tell / want の語法と意味を理解する make / have / letの語法と意味を理解する
第6週	使役・知覚の表現	allow/cause/order/advise/oblige/force /persuadeの語法と意味を理解する see/hear/feelの語法と意味を理解する 使役動詞・知覚動詞の受動態をマスターする
第7週	関係詞	関係代名詞の格と先行詞を理解する whatを用いた表現を学ぶ 関係副詞の用法と意味、関係代名詞との違いを理解する
第8週	複合関係詞	複合関係詞の形と意味を理解する no matter +疑問詞の形と意味を理解する 譲歩の表現について学ぶ
第9週	仮定法	仮定法過去の形と意味を理解する 仮定法過去完了の形と意味を理解する I wish + 仮定法、 as if + 仮定法の表現をマスターする
第10週	冠詞と名詞	a (an) の特別な意味を理解する 数えられる名詞と数えられない名詞を区別する 間違いやすい物質名詞の意味と語法をマスターする
第11週	代名詞	状況を表わずitについて学ぶ that(those)の用法を理解する something/anything/other/both/either/neitherの語法をマスターする
第12週	総復習	期末試験の振り返り 不定詞・動名詞・分詞・関係詞・仮定法の復習をする 品詞の理解を深める

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	1年	対象クラス	エアライン・エアポート科	OV②クラス
科目名	英検対策Ⅱ②		担当講師	日高 郁子
到達目標 ・中学1年生からの英語を総復習。基本的な文法を徹底的に復習し基礎力を身につけ、英検3級、準2級合格を目指す。 ・英検の2次試験で困らないような基礎的な会話を身につける (講師独自のプリントなどを用意することも多くシラバスどおりに進まないこともあります。)				
使用テキスト 中学英語をもう一度ひとつひとつわかりやすく (Gakken)				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ※成績は平常点30% 期末テスト70% で評価する。				

	テーマ	授業内容
第1週	前期の復習	前期の文法項目の総復習
第2週	受動態	受動態の作り方 受動態→能動態 能動態→受動態
第3週	That節	That 節を使った文章の翻訳 時制の一致
第4週	〇〇に△△してほしい	I want to～と、I want you to～の違い
第5週	間接疑問文	Do you know + 疑問文 + S+V～? Could you tell me 疑問文 + S+V～?等
第6週	関係代名詞	関係代名詞とは? 関係代名詞の使い方(主語が人間、それ以外の区別)
第7週	関係代名詞	関係代名詞、主格、目的格、所有格 それぞれの使い方
第8週	付加疑問文・否定疑問文	～ですよ？～ではないですよ？ 答え方に十分注意する
第9週	仮定法	仮定法現在 仮定法過去
第10週	助動詞+現在完了形	I shouldn't have / I wish I hadn't / I could have / I should have ～すべきではなかった、～のはずだった、の言い方を学ぶ
第11週	主語を置き換える	It～for～to構文 It～of～to構文
第12週	総復習	後期の総復習

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	1年	対象クラス	全学科	OV③ クラス
科目名	英検対策Ⅱ③		担当講師	羽矢 茂
【到達目標】 ①コミュニケーションの手段として英語が楽しいと感じられること。 ②基本的な英文法を学び、演習問題で知識を確実にする。 ③後半は、基本的な構文を学習し、読む力・英語による表現力を伸ばす。				
使用テキスト： ①総合英語「One」 ②プリント「文法問題」 ③プリント「構文問題」				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 授業態度、提出物、ミニテストなど平常点20%＋期末テストを80%で評価する。				

	テーマ	授業内容
第1週 9/27(火)	関係代名詞・関係副詞	<ul style="list-style-type: none"> 授業の進め方・評価方法 前期の復習、関係代名詞と関係副詞 例題演習 P.292-327
第2週 10/4(火)	比較	<ul style="list-style-type: none"> 比較級の作り方・長い単語の比較級・最上級の作り方 ～より少ない、同じくらい～な、の表現 例題演習 P.330-362
第3週 10/11(火)	仮定法	<ul style="list-style-type: none"> 仮定法の公式 仮定法過去・未来・仮定法過去完了・仮定法原形 例題演習 P.364-386
第4週 10/18(火)	疑問文・否定文	<ul style="list-style-type: none"> 「誰が・誰のもの・いつ・どこで・なぜ・どのくらい・どうやって」の疑問表現 「not A but B, hardly, rarely, few, little, not always」などの否定表現 例題演習 P.388-421
第5週 10/25(火)	話法・強調	<ul style="list-style-type: none"> 「直接話法」・「間接話法」 直接話法・間接話法で変わる語句・現在完了の文の話法書き換え 例題演習 P.424-440
第6週 11/1(火)	強調・倒置・挿入・省略	<ul style="list-style-type: none"> 強調文・倒置文の形、挿入・省略の表現 例題演習 P.441-452
第7週 11/8(火)	形式主語「it」構文	<ul style="list-style-type: none"> It is for A to do/ it is that+S+V / it is said that / It seems that など 形式主語を使った構文 例題演習
第8週 11/15(火)	形式主語「it」構文	<ul style="list-style-type: none"> It takes 人+時間 to do/ It is...that など 例題演習
第9週 11/29(火)	無生物主語構文	<ul style="list-style-type: none"> 無生物主語+say「…には～と書いてある」、無生物主語+remind A of Bなど 例題演習
第10週 12/6(火)	「目的語+補語」構文/ 期末試験対策	<ul style="list-style-type: none"> The fact is that +S+V/I wonder +疑問詞節/provide A with B など 期末試験対策
第11週 1/17(火)	「目的語+補語」構文	<ul style="list-style-type: none"> Keep+O+doing [Oに～させ続ける]/使役動詞+O+do「Oに～させる」 など 例題演習
第12週 1/24(火)	「助動詞の構文」/ 「不定詞の構文」	<ul style="list-style-type: none"> used to do/ 助動詞+have done 例題演習

10月8日(土) 英検1次試験

11月6日(日) 英検2次試験

後期シラバス

2016年度 後期				
対象学年	1 年	対象クラス	トラベル・エアライン・ エアポート科	KOV
科目名	オーラルイングリッシュ		担当講師	ジェフリー、マリア、内田、グスマン
到達目標				
To improve students' fluency and ability to use simple English at work and socially. To raise their confidence levels using simple English by creating more opportunities for the students to speak. Eg: Doing self introductions. Making various presentations about oneself. Asking and answering various questions with a partner. Practicing role plays. Understanding various culture points.				
使用テキスト				
Challenge Book #4 Little America Young Adults' Dialog Book Nishitetsu International Business College				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 Class work and attitude(50%), Oral Test (50%)				

	テーマ	授業内容
第1週	後期オリエンテーション Challenge Book #4 P22 Dialog Book P23-24	オリエンテーション:前期の反省、クラスルールの再確認 Presentation: My Best School Trip Role Play: Dialog 12 At a Restaurant 1
第2週	Challenge Book #4 P23 Dialog Book P25-26	Presentation: My School Club Role Play: Dialog 13 In the Classroom 5 Original Sentences: I don't like _____, etc.
第3週	Challenge Book #4 P24 Dialog Book P27-28	Q&A: Music Interview Role Play: Dialog 14 In the Classroom 6 Original Sentences: Maybe _____, etc.
第4週	Challenge Book #4 P25 Dialog Book P29-30	Presentation: My Favorite English Song Role Play: Dialog 15 In the Hallway 2 Original Sentences: How did you _____?, etc.
第5週	Challenge Book #4 P26 Dialog Book P31-32	Q&A: Travel Interview Role Play: Dialog 16 In the Kitchen 1 Original Sentences: I have _____ today., etc.
第6週	Challenge Book #4 P27 Dialog Book P33-34	Presentation: The Best Vacation Role Play: Dialog 17 At the School Cafeteria 5 Original Sentences: I'll just _____, etc.
第7週	Challenge Book #4 P28 Dialog Book P35-36	Presentation: My Favorite Singer Role Play: Dialog 18 At the Movie Theater 1 Original Sentences: I'm sorry for _____, etc.
第8週	Challenge Book #4 P29 Dialog Book P37-38	Presentation: The Best Concert Role Play: Dialog 19 At the Movie Theater 2 Original Sentences: What did you think of _____?, etc.
第9週	Challenge Book #4 P30 Dialog Book P39-40	Presentation: My Favorite Movie Star Role Play: Dialog 20 At the Station 1 Original Sentences: I'm taking _____ to _____?, etc.
第10週	Challenge Book #4 P31- 32 Dialog Book P41-42	Review & Culture Point: Tipping at Restaurants Role Play: Dialog 21 In the Classroom 7 Original Sentences: Are you looking forward to _____?, etc.
第11週	Oral Test	Teacher will choose 1 challenge which students have already learned from the Challenge Book.
第12週	Oral Test (If not finished) Challenge Book #4 P35 Dialog Book P43-44	Presentation: My Favorite Teacher Role Play: Dialog 22 In the Classroom 8 Original Sentences: We always _____ while _____, etc.

後期シラバス

2016年度 後期				
対象学年	1年	対象クラス	ブライダル科を除く全科	AKMOVZクラス
科目名	ビジネス検定対策		担当講師	石田・榎本・徳永・田中・池田
到達目標 12月4日(日)のビジネス能力検定3級取得のため過去問題に取り組む 講義では正解説明、関連事項解説を行い知識の定着を図る				
使用テキスト ビジネス能力検定3級テキスト・過去問題プリント				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする 期末テスト 60% 平常点 40%				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション 過去問題	後期の授業の進め方 過去問題解答① 過去問題を解き問題に慣れ出題傾向を知る
第2週	過去問題	過去問題解説 過去問題を解き問題に慣れ出題傾向を知る
第3週	過去問題	過去問題解答② 過去問題を解き問題に慣れ出題傾向を知る
第4週	過去問題	過去問題解説 過去問題を解き問題に慣れ出題傾向を知る
第5週	過去問題	過去問題解答③ 過去問題を解き問題に慣れ出題傾向を知る
第6週	過去問題	過去問題解説 過去問題を解き問題に慣れ出題傾向を知る
第7週	過去問題	過去問題解答④ 過去問題を解き問題に慣れ出題傾向を知る
第8週	過去問題	過去問題解説 過去問題を解き問題に慣れ出題傾向を知る
第9週	過去問題	理解できていないところを補足・受験に関する諸注意
第10週	過去問題	理解できていないところを補足・受験に関する諸注意
第11週	自己採点	本試験の解説と自己採点
第12週	・復習 ・就職活動に向けて	・期末試験のフィードバック ・社会人としての意識

後期シラバス

2016年度 後期				
対象学年	1 年	対象クラス	ホテル科・鉄道科・エアライン科・エアポート科	A①A②M①M②O①O②V クラス
科目名	面接対策	担当講師	橋本美智子・宮前 訓子	
到達目標 ●第一印象を整える。(挨拶・身だしなみ・言葉遣い・表情・立居振舞) ●面接を受けるための基本動作を体得する。 ●自分の個性の中で仕事に生かせる強みを見つける。 ●熱意やヤル気が相手に伝わる話し方を身につける。 プリント(その都度配布)・・・毎回ファイルに綴じて持参すること				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 実技・・・70% 平常点・・・30%(授業態度 身だしなみ 提出物) 注意1:欠席(公欠も)したら自分で遅れを取り戻す努力をすること! 注意2::シラバスの内容・順序は各クラスによって変わることがあります				
内容	テーマ	授業内容		
第1週	オリエンテーション	●授業のすすめ方・評価方法について(面接に対する心構え) 考察:面接でチェックされるものは何かを検証する 実技:お辞儀		
第2週	自己分析①	●私のパーソナリティー 考察:自分自身をしっかりと見つめなおす 実技:挨拶		
第3週	自己分析②	●私のパーソナリティー 考察:分析したことを他人に伝える 実技:人前で話すことになれる		
第4週	私の短所長所①	●他人からの評価を参考にする 考察:自分に対する評価の違いを検証する 実技:立ち方座り方		
第5週	私の短所長所②	●自分の長所・短所とその理由・根拠を明らかにする 考察:自己分析した中で企業にPRしたい面を考える 実技:立ち方・座り方		
第6週	グループディスカッション①	●面接でのディスカッションのやり方と注意点 考察:役割を考え意思決定をする方法と傾聴の仕方を学ぶ 実技:グループディスカッション		
第7週	グループディスカッション②	●過去に実際に与えられたテーマに沿って実技 考察:役割を考え意思決定をする方法と好ましい傾聴の仕方を実践する 実技:グループディスカッション		
第8週	自己PR①	●今までの素材をもとに自己をアピール 考察:何をPRしたいのかを考えてまとめる方法を身につける 実技:みんなの前で発表する		
第9週	自己PR②	●根拠をはっきりさせてアピールする 考察:具体的に話すにはどのようにすればよいかを身につけ実践する 実技:みんなの前で発表する		
第10週	質疑応答対策	●面接で想定される質問に答える 考察:よく聞かれる質問を攻略する 実技:みんなの前で発表する		
第11週	実技テスト①	●待機時間に筆記試験を実施		
第12週	実技テスト②	●待機時間に筆記試験を実施		

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	1 年	対象クラス	全科共通	AHKMOVZ クラス
科目名	コンピュータ		担当講師	乙咩・原
到達目標				
表計算の基礎知識を復習し、ICT表計算技能標準試験2級レベルの技術を習得する タイピングスキル強化、総合的なパソコンスキル強化				
使用テキスト				
Excel: 基礎演習問題プリント、ICT表計算技能標準試験過去問題集 その他: タイピング問題・Word基礎問題等 プリント配布				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点20%・期末試験80%				

	テーマ	授業内容
第1週	基礎演習問題	効率よく表を作成する方法、データ入力について学ぶ 計算式のセル参照を学び、その利点について理解し実践できるよう学習する エクセルの表示形式について、その意味を学習する
第2週	基礎演習問題	相対参照と絶対参照の計算式を理解する 割合の計算など、ビジネスに必要な計算式を学ぶ 基本的な関数を復習し、マスターする
第3週	基礎演習問題	基本的な関数の応用力を習得する 基本的なグラフ作成と印刷イメージの設定
第4週	表計算過去問題集	3級過去問題を解きながら、効率の良い計算表の作成と、実際的なデータ処理 の考え方を身につける
第5週	表計算過去問題集	学んだ知識を深めるため、3級過去問題を各自解くこと 各自の問題点を解消できるよう、練習すること
第6週	基礎演習問題	条件式の作り方を学び、高度な関数を利用してみる 関数をネストするという考え方を学ぶ
第7週	基礎演習問題	応用的な関数のマスター 複合グラフの作成
第8週	表計算過去問題集	学んだ知識を深めるため、3級過去問題を各自解くこと 各自の問題点を解消できるよう、練習すること
第9週	表計算過去問題集	2級過去問題を解きながら、問題の指示を理解し、より複雑なデータ処理を 論理的に解決する技術を学習する より複雑なグラフ作成とグラフの書式設定を学習する
第10週	表計算過去問題集	学んだ知識を深めるため、2級過去問題を各自解くこと 各自の問題点を解消できるよう、練習すること
第11週	表計算過去問題集	学んだ知識を深めるため、2級過去問題を各自解くこと 各自の問題点を解消できるよう、練習すること
第12週	前期期末試験	前期期末試験

後期シラバス

2016年度	後期			
対象学年	1年	対象クラス	全科(鉄道科含まず)	AHKOVZクラス
科目名	SPI言語対策		担当講師	前田・山本
到達目標 就職試験における筆記試験分野・言語系の対策授業。 得意項目については限られた時間内に大量の問題が解けるようにスピードアップをはかる。 また、苦手項目をなくすために、反復学習に取り組み、点の取りこぼしを防ぐ。 同時に他の試験問題(時事問題、一般常識、適性検査など)にも対応できるよう実力を養成する。				
使用テキスト ・一般常識チェック&マスター (実教出版株式会社) ・一般常識&時事 (高橋書店)				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 後期試験+提出物(宿題、課題など)+授業態度				

	テーマ	授業内容
第1週	なぜSPIをするのか？	<ul style="list-style-type: none"> ・後期授業方針説明、SPI検査の内容を説明する。 ・SPI言語演習 同意語(意味や内容が近い語) ・夏休み課題提出(四字熟語)
第2週	日本の特産品を知る	<ul style="list-style-type: none"> ・日本地理① 日本各地の産物を学び、産地と組み合わせができるようにする。 ・SPI言語演習 反意語(意味や内容が反対の語)
第3週	夏休み課題テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みの課題テスト(四字熟語) ・日本地理② 産地・産物演習問題を解き、理解を深める。 ・SPI言語演習 ことばの意味①(語句の意味が正しいもの)
第4週	世界が作るもの	<ul style="list-style-type: none"> ・世界地理① 世界各地の産物を学び、産地と組み合わせができるようにする。 ・日本地理演習問題 ・SPI言語演習 ことばの意味②(意味に適合する語句)
第5週	日本史の中の人物	<ul style="list-style-type: none"> ・日本史① 日本史上の人物に焦点をあてて、歴史をみる。 ・世界地理② 産地・産物の演習問題を解き、理解を深める。 ・SPI言語演習 複数の意味(意味や用法が近いもの)
第6週	史実を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・日本史② 第5週に続き、人物と「歴史上の出来事」に重点をおいて、歴史を考える。 ・SPI言語演習 漢字の書き取り
第7週	世界史の中の人物	<ul style="list-style-type: none"> ・世界史 有名な歴史の出来事を追い、人物と「何」が起きたか？を見る。 ・日本史演習問題 ・SPI言語演習 四字熟語
第8週	文化は歴史が作る？	<ul style="list-style-type: none"> ・世界史演習問題 ・思想史・文化史 歴史をもう一度、文化・思想の立ち位置で見直す。 ・SPI言語演習 原料(加工物とその原料の関係)
第9週	働く環境を考える	<ul style="list-style-type: none"> ・労働・社会保障 労働者は守られている？現行制度を学びます。 ・思想・宗教・文化史演習問題 ・SPI言語演習 包含・用途・機能
第10週	社会の常識って何？	<ul style="list-style-type: none"> ・国民の祝日、法規、マーク、名数などを確認します。 ・労働・社会保障の演習問題 ・SPI言語演習 行為の関係
第11週	後期試験解説	<ul style="list-style-type: none"> ・後期試験解説。後期試験問題の発展問題に取り組む。 ・文学史 作品名と作者の組み合わせや、名作の冒頭を学びます。 ・SPI言語演習 慣用句
第12週	2年生に向けての準備	<ul style="list-style-type: none"> ・時事問題を考える 新聞の活用 ・文学史演習問題 ・春休みの課題説明

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	1年	対象クラス	全科(鉄道科含まず)	AHKOVZクラス
科目名	SPI非言語		担当講師	俣野・榎木田
到達目標 採用試験等を通して企業が共通して求める汎用的な知的能力である数的論理的リテラシーとロジックの演習講義を主眼とする。四則演算能力の向上、図表の正確な解釈を实践する。数量的処理能力及び論理的思考を主体とする演習を行なう。各講座において数的能力、論理的処理能力の向上を図り、将来においても社会人の基礎力となりうる有用性を保つ講座を旨とする。				
使用テキスト SPI基本問題集(大和書房) ,他レジュメ等				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 学期末テストを原則とする。				

	テーマ	授業内容
第1週	割合、比を中心とする演習	小数、分数、歩合、百分率について考える。 比における数量的処理方法を中心とする演習をする。 図示、図表化、立式の解法手順を演習する。
第2週	割合、比を中心とする演習	上記において濃度、損益の基本演習を实践すると同時に社会的事項としての認識を深める。 数量関係を把握し、演算決定から柔軟に数的処理ができることを目的とする。
第3週	速度、時間、距離の関係についての演習	速度、時間、距離の関係を図表化、立式解法を目的とする。 旅人算、通過算、流水算について学習する。 速度の単位量あたりの考えを用いて、数値化し理解を深める。
第4週	速度、時間、距離の関係についての演習	速度、時間、距離の関係を図表化、立式解法を目的とする。 旅人算、通過算、流水算について学習する。 速度の単位量あたりの考えを用いて、数値化し理解を深める。
第5週	記数法についての演習	記数法の捉え方を学習する。 記数法における変換演習を行う。 記数法における四則演習を通してその意義を理解することを目的とする。
第6週	定量における増減についての演習	ニュートン算を中心とした考え方を学ぶ。 一定量で増減する量的関係を同時に把握し、関係式を考察する。 図表化にて迅速な解決方法を演習する。
第7週	図形処理の演習	様々な図形の面積、体積の求め方を学習する。 計算演習を通して、図形の性質を見だし、説明する過程で数学的に考える力や表現力を育てることを目的とする。
第8週	流通経路についての演習	割合、比を用いて、図表化された物の流れを数値で捉えることを学習する。 流通経路を割合で表現し、経路図の意味を数学的に把握し、その性質が社会的に有用であることの理解を目指す。
第9週	場合の数、順列についての演習	場合の数、順列について学習する。 基本的な個数の処理の考え方を基にして樹形図などを用いて順列についての理解と共に具体的な場面での活用と、実生活に数学的な見方や考え方ができることを目的とする。
第10週	場合の数、組合せについての演習	場合の数、組合せについて学習する。 基本的な個数の処理の考え方を基にして樹形図などを用いて組合せについての理解と共に具体的な場面での活用と、実生活に数学的な見方や考え方ができることを目的とする。
第11週	確率についての演習	確率について学習する。 身近にある具体的な事柄を扱う確率で、樹形図などで視覚的に理解し、自ら考え方を発見し、確率の数学的有用性を実感することを目的とする。
第12週	後期総括	問題演習を通して後期重要事項の復習、知識の定着をめざす。 SPI非言語を通して数学的な見方、考え方、その表現や処理方法が、実生活において事象にいかに関わりつき、活用できるかの認識をめざす。

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	1・2年	対象クラス	共通	KOEINW クラス
科目名	中国語		担当講師	青山 祐子
到達目標 中国語の音読、語彙の使い方、文の表現を習得しながら、業務上で使うリスニング能力と会話能力を高める。				
使用テキスト はじめまして！中国語(白水社) 喜多山 幸子・鄭 幸枝 著				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 授業への取り組み姿勢(35%)＋期末テスト(65%)				

	テーマ	授業内容
第1週	第6課王先生の研究室で	18. 動詞” ” 19. 動詞の重ね型 20. 時を表わす語の位置 ◆時を表す語(1)
第2週	トレーニング6 第7課コンビニで	21. 量 詞 22. 実現・完了を表わす”了” 23. 助動詞”在” ◆”几”と”多少”
第3週	トレーニング7 第8課バス停で	24. 連動文 25. 前置詞”在” 26. 時刻の言い方 27.” ”の省略 ◆時を表す語(2)
第4週	トレーニング 8 復習2 鈴木君の一日	復習2 ポイント 1. 存在の” ”と所在の” ” 2. 実現・完了を表わす”了” 3. 動詞述語文(2) 4. 前置詞の” ”
第5週	第9課放課後 トレーニング9	28. 助動詞”会”・”能”・”可以” 29. 前置詞”给”・”跟” 30. 主述述語文
第6週	第10課卓球の中継を見ながら トレーニング 10	31. 様態補語 32. 経験を表わす”过” 33. 比較を表わす”比” 34. 動詞”喜欢”
第7週	第11課ディズニーランド で待ち合わせ トレーニング11	35. 進行を表わす”在” 36. 方向補語 37. 選択疑問文
第8週	第12課カフェテラスで トレーニング12	38.”是～的”の文 39. 結果補語 40. 時間の長さ・動作の回数を表わす語の位置 ◆時間の長さを表わす語
第9週	復習3 阿部さんのメール	復習3 ポイント 1. 動詞述語文(3) 2. 前置詞 3. 3つの”在” 4. 単文の4つのパターン
第10週	今までの復習	期末テスト対策
第11週	期末テストの答え合わせ	今まで勉強した内容についてのおさらい
第12週	映画鑑賞	

後期シラバス

2016年度 後期				
対象学年	1・2年	対象クラス	共通	KOEINW クラス
科目名	韓国語		担当講師	宋珉鎬・権京愛
到達目標 韓国語の文字が読み書きできるようになり、実際に使える韓国語を覚える。 韓国語への関心をさらにかきたてるため、韓国の文化を取り入れ楽しみながら自然に言葉が身に付くことと将来職場で活用できることを目標とする。				
使用テキスト ゼロからスタート韓国語(会話編) 著者名: 鶴見ユミ 出版社: Jリサーチ出版				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 定期試験と出席と平常点を総合的に評価する。				

	テーマ	授業内容
第1週	文字の復習	久しぶりに会ったクラスメートに韓国語で挨拶し、話しかける練習をする。 前期に学んだハングルの母音、子音、パッチムの仕組みをもう一度覚え、しっかり読み書きできるように漢数字を復習し、値段を尋ねる会話練習をする。
第2週	固有数詞と助数詞	固有数詞を覚えよう！それから助数詞も覚え、一緒に使う練習を繰り返す。 例) 「何人ですか」「何個ですか」「何時ですか」などと言えるようにする。 韓国の数字の歌を習って楽しく数字を覚える。
第3週	指示詞	指示詞を使って物を尋ねる表現「これは」「それは」「あれは」「なんですか」を学ぶ。 よく使われる韓国語の縮約形について学ぶ。 小テスト1
第4週	月・日	時を尋ねる表現を学ぶ。 1月～12月と1日～31日までの言い方を発音に気を付けながら覚える。 例) 「誕生日はいつですか」「今日は何月何日ですか」をクラスメートと互いに韓国語で聞いて返事をする。
第5週	練習問題	テキストの練習問題を解いてみよう。 練習問題を通してまだ理解できていないところ、まだ覚えきれていないところをしっかりと復習し、身に付け問題文の表現を使って会話練習をする。
第6週	曜日	カレンダーを見ながら「何月何日は何曜日ですか」と会話練習をする。 「昨日」、「今日」、「明日」、「あさって」の言い方も一緒に覚える。 小テスト2
第7週	一般疑問文「何～」	教室にある物の名前を覚える。「なんですか」と「～です」の言い方を学ぶ。 前回学んだ指示詞を使って教室にある物を利用して会話の練習をする。 例) 「あれはなんですか」「あれは時計です」のように覚えるまで繰り返し練習をする。
第8週	一般疑問文「何の～」	物の性質を尋ねる表現を学ぶ。 「これは何の本ですか」の答え「韓国語の本です」のようにしっかり話せるまで会話練習を重ねる。
第9週	場所指示代名詞	「ここ」「そこ」「あそこ」「どこ」など場所を尋ねる表現を学ぶ。 「ここはどこですか」「駅はどこですか」などのように置き換え練習をする。 「前」「横」「上」「下」の言い方も一緒に覚える。
第10週	形容詞	よく使われる形容詞の言い方を学ぶ。 「どんな人ですか」の答えに「背が高い人です」のように名詞を修飾する形容詞の連体形の活用を学期末テストに備え、総まとめをする。 小テスト3
第11週	程度と数量	「～から～までどれぐらいかかりますか」の表現を学んで置き換え練習をする。 実際、旅行に行ったつもりで発音に気を付けながら会話練習をする。 日記を書いてみよう！
第12週	ロールプレイする。	映画、歌などを通し、韓国の文化に触れよう！ 今まで覚えた韓国語でロールプレイする。

後期シラバス

2016年度 後期				
対象学年	2年	対象クラス	ホテル科	EI クラス
科目名	フランス語		担当講師	藤村 直子
到達目標 ホテル、レストランのための料飲フランス語を学ぶ。(プリント・DVD) 旅行先での簡単な会話、ロールプレイングにより発音練習を繰り返しながらフランス語の習得を目指す。 DVD、映画にてフランスの文化や社会を学ぶことで国際的視野を広げる。				
使用テキスト Pascal au Japon (白水社)				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末テスト60%+平常点(出席率、授業態度、小テスト、提出物)40%				

	テーマ	授業内容
第1週	前期の復習	前期の振り返り 料飲フランス語-レストラン編1 LECON4「どんな音楽が好きですか？」 『オー・シャンゼリゼ』 フランス語の歌を正しい発音で歌えるようになる。
第2週	趣味を語る	料飲フランス語-レストラン編2 LECON4「どんな音楽が好きですか？」 aimer へが好きな表現を学ぶ
第3週	復習	料飲フランス語-レストラン編3 練習問題(LECON 1-4) 練習問題でこれまでの復習をする。
第4週	レストランにて(会話)	フランスのカフェ・レストランでの注文の仕方① グループ別にロールプレイングを行い、会話をしながら習得する。 DVD(フランスのカフェ)
第5週	レストランにて(会話)	フランスのカフェ・レストランでの注文の仕方② グループ別にロールプレイングを行い、会話をしながら習得する。 DVD(フランスのレストラン)
第6週	誰か尋ねる	LECON5 『これは誰ですか？』 疑問代名詞の表現を学ぶ
第7週	誰か尋ねる	LECON5 『これは誰ですか？』 否定文の表現を学ぶ
第8週	入店時(会話)	フランスのお店での会話① 料飲フランス語-食材編3 グループ別にロールプレイングを行い、各自会話をしながら習得する。 DVD(フランスで買い物)
第9週	入店時(会話)	フランスのお店での会話② グループ別にロールプレイングを行い、各自会話をしながら習得する。
第10週	後期授業の復習	期末試験の模擬テスト 後期授業の振り返りと、復習をする。
第11週	住んでいるところを言う	どこに住んでいますか？ OU(どこに)の表現の仕方、強勢形・所有形容詞の用法を学ぶ
第12週	フランス映画鑑賞	三つ星レストランが舞台のフランスの社会・文化・習慣を交えたフランス映画の鑑賞と感想文を提出 映画名:「シェフ」

後期シラバス

2016年度 後期				
対象学年	2年	対象クラス	エアライン・エアポート科	QRW クラス
科目名	観光英語		担当講師	羽矢 茂
到達目標				
1. 航空・観光系に特有な英語を学び、実際の仕事に使用できる。				
2. 英語の聞き取り、会話力、書く能力をレベル・アップさせ、英語で基本的な内容に関するコミュニケーションができる。				
使用テキスト Travel English at Your Fingertips				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 学年末試験80%、平常点20%				

	テーマ	授業内容
①第1週 9/23	(Chapter 12) Visiting a Campus	・後期授業内容、評価方法、期末試験についての説明 ・キャンパスで使う英語表現 ・小テスト
②第2週 9/30	(Chapter 13) At a Pharmacy	・薬局での会話 ・病気に関する英語表現 ・小テスト
③第3週 10/7	(Chapter 14) Renting a Car	・レンタカーに関する英語表現 ・小テスト
④第4週 10/21	(Chapter 15) At a Gas Station	・ガソリンスタンドでの会話 ・ホ小テスト
⑤第5週 10/28	(Chapter 16) Making Hotel Reservations	・ホテル予約に関する英語表現 ・小テスト
⑥第6週 11/4	(Chapter 17) At a Post Office	・郵便・小包発送に関する英語表現 ・切手を買う、小包を送る ・小テスト
⑦第7週 11/11	(Chapter 18) At a Gift Shop	・ショッピングの会話 ・ギフトショップ、小売販売店 ・小テスト
⑧第8週 11/18	(Chapter 19) Checking Out	・ホテルチェックアウトに関する英語表現 ・荷物の世話を依頼する、清算する ・小テスト
⑨第9週 11/25	(Chapter 20) Making Complaints	・トラブル・苦情に関する表現 ・客室に関する苦情・レストランでの苦情 ・小テスト
⑩第10週 12/9	(Chapter 21) Dealing with Problems	・トラブル処理に関する表現 ・荷物の紛失・忘れ物 ・小テスト
⑪第11週 1/13	(Chapter 22) At the Airport	・空港での会話 ・チェックイン手続き、航空機の遅延 ・小テスト
⑫第12週 1/27	まとめ	・後期の復習とまとめ ・小テスト

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	2年	対象クラス	トラベル科・鉄道科・エアライン科・エアポート科	LNQRWクラス
科目名	コミュニケーションイングリッシュ	担当講師	内川・挽田・日高	
到達目標 日常生活で使う語彙を増やし、使えるようにする。 基本的文法を使った文を作ることに慣れる。 日常的な受け答えに慣れ、英語でコミュニケーションをとる。 * 進度は、クラスの進捗状況により変更になることもあります。				
On Your Marks!				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 口述テスト70% 平常点(授業参加度・小テスト)30%				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション Unit 1 Help!	評価方法の説明・授業の進め方について 授業や日常生活での質問の仕方を学ぶ 聞き返しや質問、応答の表現を学び、使えるようにする
第2週	Unit 2 Brown Eyed Girl	自己紹介の仕方を学ぶ 個人的なことに関する質問をする また、質問に答える 家族や親せきを表わす語彙を増やす
第3週	Unit 3 Imagine	さまざまなジェスチャーの意味を知る ジェスチャーを使って表現する 日本のジェスチャーとの違いを学ぶ
第4週	Unit 4 Let's Dance	canを使った文を作る スポーツや楽器などcanと共に使える動作を覚える 能力について表現できるようになる
第5週	Unit 5 Proud Mary	感情を表す語彙を増やす becauseを使って理由を説明できるようになる 感情を問う質問をする また、質問に答える
第6週	Unit 6 Under My Thumb	場所を表わす前置詞を学ぶ 場所を問う質問をする また、質問に答える there is(are)構文での質問の仕方、答え方を学ぶ
第7週	Unit 7 Permission to Fly	許可と禁止を表す表現を学ぶ 許可を求める文を作る 許可を与える表現、禁止する表現をできるようになる
第8週	Unit 9 After Midnight	時刻と時計の読み方を学ぶ 時間を尋ねる質問をする また、質問に答える 時刻や時間を表わす表現を使って自分の行動を説明する
第9週	Unit 10 500 Miles	数字の読み方を学ぶ 数量や長さなど数値を尋ねる質問をする また、質問に答える 数量表現を使って自分の生活を説明する
第10週	Unit 13 Never Been to Spain	現在完了形の使い方を学ぶ 過去形と過去分詞の復習をする 自分の経験について話す
第11週	テスト	口述テスト
第12週	テスト	口述テスト

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	2年	対象クラス	共通	LNQRWY クラス
科目名	コンピュータ	担当講師	乙咩・原	
到達目標				
表計算の基礎知識を復習し、ICT表計算技能標準試験2級レベルの技術を習得する タイピングスキル強化、総合的なパソコンスキル強化				
使用テキスト				
Excel: 基礎演習問題プリント、ICT表計算技能標準試験過去問題集 その他: タイピング問題・Word基礎問題等 プリント配布				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点20%・期末試験80%				

	テーマ	授業内容
第1週	基礎演習問題	エクセルの基本操作の復習 効率の良い表作成をマスターする。 割合の計算など、ビジネスに必要な計算式を学ぶ
第2週	基礎演習問題	エクセルの基本操作の復習 基本的な関数の応用力を習得する 基本的なグラフ作成と印刷イメージの設定
第3週	表計算過去問題集	3級過去問題を解きながら、効率の良い計算表の作成と、実際的なデータ処理の考え方を身につける
第4週	表計算過去問題集	3級過去問題を解きながら、効率の良い計算表の作成と、実際的なデータ処理の考え方を身につける
第5週	表計算過去問題集	学んだ知識を深めるため、3級過去問題を各自解くこと 各自の問題点を解消できるよう、練習すること
第6週	基礎演習問題	条件式の作り方を学び、高度な関数を利用してみる 関数をネストするという考え方を学ぶ
第7週	基礎演習問題	応用的な関数のマスター 複合グラフの作成
第8週	表計算過去問題集	学んだ知識を深めるため、3級過去問題を各自解くこと 各自の問題点を解消できるよう、練習すること
第9週	表計算過去問題集	2級過去問題を解きながら、問題の指示を理解し、より複雑なデータ処理を論理的に解決する技術を学習する より複雑なグラフ作成とグラフの書式設定を学習する
第10週	表計算過去問題集	学んだ知識を深めるため、2級過去問題を各自解くこと 各自の問題点を解消できるよう、練習すること
第11週	表計算過去問題集	学んだ知識を深めるため、2級過去問題を各自解くこと 各自の問題点を解消できるよう、練習すること
第12週	前期期末試験	前期期末試験

後期シラバス

2016年度	後期			
対象学年	2年	対象クラス	トラベル科・鉄道科	LN クラス
科目名	コミュニケーション学	担当講師	森田 房子	
到達目標				
日常のコミュニケーションの大切さに気付く 上手く人と関わっていくにはどのようなことに注意したらよいかを学ぶ 人の話を聴くことの大切さを学ぶ 授業に積極的に参加する態度を身につける				
使用テキスト				
テキスト『自分を大きく見せる話しかたコミュニケーションの技法』ウィキッド プリント教材(授業時に配布)・ビデオ				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
期末試験・・・80% 平常点(授業態度・出席率)・・・20%				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	授業内容・進め方・評価方法について理解させる コミュニケーションとは何か 何故コミュニケーションが必要か考える 現代のコミュニケーションをどう考えるか
第2週	コミュニケーションについて	言語コミュニケーションと非言語コミュニケーションの違いを知るゼスチャーによるコミュニケーションを TPOに合わせた言葉遣いを学ぶ
第3週	挨拶の基本を知る	挨拶はコミュニケーションのスタートであることを理解する 自己紹介の効果的方法を学ぶ 全員自己紹介を実施。自分に足りない点を気付かせる
第4週	きれいな発声・発音	聞き取りやすい話し方について学ぶ 腹式呼吸と一人発声練習、自分の話ぐせを知る 母音・活舌練習
第5週	正しい日本語で話す	書き言葉と話し言葉の違いについて理解させる 間違った現代言葉づかいを気づかせる 正しい敬語が使えるかチェックする
第6週	話すときの心構え	実際にプレゼンテーション演習を体験、VTR再生し自分を見る VTRを見た感想を書く 話す前の準備の必要を感じさせる
第7週	効果的な話し方	整理して工夫を加えて、より効果的に伝える話し方のポイントを知る 話の構成技術を学ぶ 上記をVTRで学ぶ
第8週	効果的な表現力	目から入る印象の大切さを学ぶ 姿勢・態度の大切さを学ぶ アイコンタクトの技法を学び実習させる
第9週	聞くことの重要性	人の話を聴くことは、コミュニケーション上、最も大切であることを理解させる
第10週	聞くことの重要性	良い聴き方と悪い聞き方の実習訓練 聴き上手になる話の聴き方を学ぶ
第11週	スピーチ	今まで学んできたことを基本にチャレンジさせる ひと前で話すことに慣れてきたかチェック スピーチの準備は十分か チェック
第12週	まとめ	期末試験の内容について詳しく説明、理解させる 全体復習を行う

後期シラバス

2016年度	後期			
対象学年	2年	対象クラス	共 通	LQRW クラス
科目名	ビジネスマナー	担当講師	徳永 美千留	
<p>ビジネスマナーの基本を見直す。 同時に就職に向けてより実践に活かせるマナーを身につける。 コミュニケーション、コンセンサス、組織実習を通して社会人としてのよりよい人間関係を学ぶ。</p>				
使 用 テキスト 個別レジメ				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
* 期末テスト 60%				
* 平常点(ミニテスト含む) 40%				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	後期進度 コミュニケーションの重要性 コミュニケーション実習
第2週	ビジネスマナー①	互いの距離を近づけるあいさつ 立ち姿とお辞儀の基本 他人のための表情
第3週	ビジネスマナー②	仕事に対する姿勢を表す身だしなみ スーツスタイル・制服の着こなし
第4週	ビジネスマナー③	品格を試される言葉づかい ビジネス会話の基本 マスターしたい敬語
第5週	ビジネスマナー④	ホスピタリティとCS 心のメッセージを伝える来客対応 お迎えからお見送りまでの流れ
第6週	ビジネスマナー⑤	他社訪問のアポイントと準備 受付から面談時の会話術 紹介と名刺交換の正しい仕方
第7週	ビジネスマナー⑥	組織はチームワーク 組織実習 上司・同僚との付き合い方
第8週	ビジネスマナー⑦	声だけが頼りの電話対応 受け答えのケーススタディ 伝言とメモの仕方
第9週	ビジネスマナー⑧	ビジネス文書の基本 メール・FAXのマナー
第10週	ビジネスマナー⑨	知っておきたい日常のマナー 慶弔・贈答・会食
第11週	ビジネスマナー⑩	後期の補足説明 質疑応答 期末テストの確認
第12週	ビジネスマナー⑪	後期の補足説明 質疑応答 社会人としての心構え

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	2年	対象クラス	トラベル・エアライン・エアポート科	LQRW クラス
科目名	観光学		担当講師	瀧内 洋
到達目標 観光学の立場から見た旅行業・航空業の位置づけ、観光関連産業について理解を深め、自身が職場に入ってからの仕事が円滑に進むことを目標とする。				
使用テキスト なし				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 途中就業者が多いことから平常点(小テスト、授業態度等)のみで評価する 小テストを複数回実施し、授業内容の定着を図る。				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	観光学とは何か、全体的な理解を深める 授業の目的説明 自己紹介、小テスト(知識レベルの把握)
第2週	観光政策	観光庁と観光立国推進基本法 旅行業と観光庁とのかかわり 地方自治体の観光行政
第3週	観光の現状	国内観光旅行の現状 海外観光旅行の現状 外国人の訪日旅行の現状
第4週	観光関連産業(1)	観光関連産業概論、東京オリンピックと観光産業 旅行業界の実態 旅行業の経営の特質
第5週	観光関連産業(2)	旅行業の販売戦略 インターネットと旅行業 旅行業界のこれから
第6週	観光関連産業(3)	運輸機関総論 航空業界の現状 LCCの発展と旅行業
第7週	観光関連産業(4)	鉄道業界 整備新幹線の延伸(北陸新幹線・北海道新幹線) リニア中央新幹線の動向
第8週	観光関連産業(5)	小テスト、宿泊施設 海運業界 クルーズの今後
第9週	観光地(1)	観光対象 観光資源と観光施設
第10週	観光地(2)	観光資源の保護 世界遺産
第11週	観光の意義	観光の経済効果 観光公害の問題
第12週	総まとめ	総まとめ、全体質疑

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	1年	対象クラス	ホテル科	Aクラス
科目名	レストランオペレーション		担当講師	田才 亜紀子
到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・レストランサービスに必要な基本的動作を身に付ける ・後期企業実習に必要な基本的サービスと知識を習得する 				
使用テキスト				
<ul style="list-style-type: none"> ・103教室備品 ・プリント適時 				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
期末試験80%、平常点20%で評価				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の目的と進め方、評価方法、期末試験についての説明 ・実習の振り返り
第2週	西洋料理のサービス①	<ul style="list-style-type: none"> ・サーバーサービス①
第3週	西洋料理のサービス②	<ul style="list-style-type: none"> ・サーバーサービス②
第4週	西洋料理のサービス③	<ul style="list-style-type: none"> ・ワインサービス
第5週	宴会のサービス①	<ul style="list-style-type: none"> ・宴会の種類と概要 ・チューリンサービス
第6週	宴会のサービス②	<ul style="list-style-type: none"> ・知っておきたい宴会の知識 ・ブッフェのサービスとマナー
第7週	婚礼サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・知っておきたい婚礼の知識 ・婚礼のテーブルセッティング
第8週	期末試験にむけて	<ul style="list-style-type: none"> ・期末試験課題発表 ・試験内容トレーニング、苦手克服
第9週	期末実技試験	<ul style="list-style-type: none"> ・制限時間内に実技課題ロールプレイを行う
第10週	期末実技試験	<ul style="list-style-type: none"> ・制限時間内に実技課題ロールプレイを行う
第11週	テーブルコーディネート	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマを決め、テーブルコーディネート ・写真撮影 ・実技試験の振り返り
第12週	1年間のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・写真をもとにプレゼンテーション ・1年間のまとめ、後期実習にむけて

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	1年	対象クラス	ホテル科	A クラス
科目名	ソムリエ&バーテンダー		担当講師	松尾 禎一郎
到達目標 バー・ラウンジにおける接客、お酒の基礎知識又、基本技術の習得 お酒類に興味を持ってもらい、FBの面白さを合わせて知ってもらうことで、レストラン・バー業務に活かせるようにする。				
使用テキスト ホテルテキスト料飲Ⅱ バーラウンジ編				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末試験と授業態度 試験 80% 授業態度 20%				

	テーマ	授業内容
第1週	・後期シラバスの説明 ・バーラウンジ運営の基礎知識	・後期授業内容説明 ・成績評価の説明と後期授業を行うにあたり注意点 ・飲料管理と備品管理(Inventoryについて) ・バーテンダーの心得
第2週	・酒の基礎知識スピリッツⅠ	・種類の定義と分類(醸造酒・蒸留酒・混成酒の違いについて) ・蒸留酒(スピリッツ)について ・ウイスキーについて(世界5大ウイスキー) ・飲み方による作り方(デモンストレーション)
第3週	・酒の基礎知識スピリッツⅡ	・ジン(5つの種類とジンの原材料)について、ジンを使用した代表的なカクテルの説明 ・ウォッカ(ロシアの歴史) ・テキーラ(原材料とテキーラが出来るまで)
第4週	・酒の基礎知識スピリッツⅢ	・ラム(3つのタイプについて) ・ブランデー(フランスにおける主な種類の説明) ・焼酎(連続蒸留と単式蒸留)について、麦・芋・米・そばの種類について
第5週	酒の基礎知識醸造酒Ⅱ 混成酒	・ビール(上面発酵と下面発酵の違い) ・生ビールについて ・ビールの飲み頃温度、瓶ビールのグラスへの注ぎ方(デモンストレーション)、管理 ・日本酒&リキュール(製造方法について)
第6週	・酒を提供する係としての心得	・バー サービスの基本(サービスの留意点) ・ラウンジのサービス ・おすすめの商品 ・してはいけない会話のタブー ・酔ったお客様への対応 ・苦情処理と対応方法
第7週	・カクテルの基礎知識Ⅰ	・カクテル概論(カクテルとは? 歴史 カクテルの条件) ・カクテルの材料(主原料と副材料について) ・カクテルの用具説明 ・度量衡について
第8週	・カクテルの基礎知識Ⅱ	・カクテルの種類(ショートカクテルとロングカクテル) ・TPOでの分類 ・カクテルの作り方(シェーカーとミキシンググラスの使い方) ・ソフトドリンクについて ・カクテルに使用する氷の種類 ・バーでの食事(軽食)の考え方
第9週	・カクテルの基礎知識Ⅲ	・カクテルのレシピについて ・カクテルの作り方(スノースタイルについて) ・正しいグラスの持ち方 ・デコレーションについて(フルーツのカット)
第10週	・後期のおさらい	・後期のまとめ(期末試験前の範囲確認) ・重要項目のおさらい ・質疑応答
第11週	・カクテル実技	・課題カクテル作り(ノンアルコールカクテル) ・シェーカーとミキシンググラス、ポストンシェーカーを使用する実技 ・レモンのカット(スライス、X型、ホーセズネック)
第12週	・カクテル実技 ・バーテンダーの役割	・課題カクテル作り(ノンアルコールカクテル) ・仕込みと片付けについて ・バーラウンジでの仕事の楽しさを感じてもらう

後期シラバス

2016年度		後期	
対象学年	1年	対象クラス	ホテル 科 A クラス
科目名	ホテル総論	担当講師	長野 美穂
到達目標 ホテル実務技能認定試験(初級)合格を目指す 宿泊・料飲の基礎知識を身につける			
使用テキスト ホテル実務技能認定試験 初級 過去問題集「サーティファイ」			
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末テスト100%			

	テーマ	授業内容
第1週	ホテル実務技能認定試験 過去問	平成22年度第1回問題 解答・解説
第2週	ホテル実務技能認定試験 過去問	平成22年第2回問題 解答・解説
第3週	ホテル実務技能認定試験 過去問	平成23年第1回問題 解答・解説
第4週	ホテル実務技能認定試験 過去問	平成23年第2回問題 解答・解説
第5週	ホテル実務技能認定試験 過去問	平成24年第1回問題 解答・解説
第6週	ホテル実務技能認定試験 過去問	平成24年第2回問題 解答・解説
第7週	ホテル実務技能認定試験 過去問	平成27年度問題 解答・解説
第8週	ホテル実務技能認定試験 過去問	平成27年度問題 解答・解説
第9週	ホテル実務技能認定試験 過去問	試験前の復習
第10週	ホテル実務技能認定試験	試験本番(試験時間60分)
第11週	試験問題振り返り	実際の問題の答え合わせと解説 それに合わせた復習
第12週	期末試験のフィードバック	テストの振り返り

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	1年	対象クラス	ホテル科	Aクラス
科目名	フロントサービス		担当講師	中牟田 登喜枝
到達目標				
1.日常業務の基本的な知識を理解し、技術として習得する 2.他部門との連帯作業を学ぶ 3.企業実習に向けてのロールプレに取り組み				
使用テキスト				
「宿泊業務の基礎」 日本ホテル教育センター発行 宿泊実習室の備品 プリント				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
平常点と期末テスト 100%				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	前期のまとめ 後期授業の進め方について その他
第2週	ハウスキーピング	ハウスキーピングの業務と組織体系 客室タイプとレイアウト 客室およびバスルームの設備・家具・備品
第3週	ハウスキーピング	ルーム・インジケーション・システム ルーム・ステータス ドント・ディスターブとメイク・アップ・ルーム
第4週	ハウスキーピング	客室清掃の手順
第5週	ハウスキーピング	ベット・メーカーとターン・ダウン
第6週	ハウスキーピング	ベット・メーカー実技
第7週	ホテル実務技能認定試験 対策	過去問題を解き、専門用語や名称を覚える
第8週	ホテル実務技能認定試験 対策	過去問題を解き、専門用語や名称を覚える
第9週	ホテル実務技能認定試験 対策	過去問題を解き、専門用語や名称を覚える
第10週	21世紀の客室設備のトレンドと新しい客室内サービス	21世紀の客室とデザイン 新しい客室内サービスと職種 ルーム・アメニティと環境問題
第11週	フロント・オフィス	フロント・オフィスの位置づけ フロント・オフィスの業務
第12週	後期授業のまとめ	まとめ 関連用語の復習

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	1年	対象クラス	ホテル科	A クラス
科目名	日本旅館のサービス		担当講師	長野 美穂
<p>到達目標</p> <p>前期に引き続き、和のサービスや旬の食材、季節の行事などを学んでいきます。 また、お客様として利用する際に必要なマナーを身につけることが目標です。 週に一度、和の世界にたっぷり浸ってください。</p>				
<p>使用テキスト</p> <p>なし</p>				
<p>成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。</p> <p>期末テスト100%</p>				

	テーマ	授業内容
第1週	秋の行事と食材	秋の食材に詳しくなる お彼岸に詳しくなる
第2週	朝のサービス	朝食ならではのサービス 「かよう亭」日本一の朝食といわれるその中身は… 業界全体の朝食市場をみてみよう
第3週	和食器	器に親しむ 陶器と磁器の違いを知る 日本人はどのような素材を器として使ってきたかを学ぶ
第4週	和の調理法	知っておきたい和の調理法 「幽庵焼き」って？ 漬物に詳しくなる
第5週	郷土料理	福岡の郷土料理 明太子、能古うどんなど、福岡の郷土料理を学ぼう 鍋奉行を目指して
第6週	温泉豆知識	温泉 正しい入浴方法とこだわり温泉のポイントを知る
第7週	和食が利用される行事①	お子様に関する行事 帯祝い、お宮参りなど行事の由来とサービスの極意を学ぶ
第8週	和食が利用される行事②	結婚に関する行事 お見合い、結納 それぞれのサービスの極意を学ぶ
第9週	和食が利用される行事③	そのほかの行事 法要の注意点 精進料理に詳しくなる
第10週	期末試験に向けて	まとめ 9週目までの復習
第11週	正月準備	お節料理 「栗きんとん」「数の子」などお節料理に込められた意味を知る
第12週	旅館の課題	これからの日本旅館 ユニバーサルサービスなど、今後特に求められる日本旅館のサービスを学ぶ

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	1年	対象クラス	ホテル科・ブライダル科	AHクラス
科目名	ホテル学入門		担当講師	佐藤 俊子
到達目標				
<p>前期に勉強したホテルを深く掘り下げて理解する 世界のホテル事情を知る ホテルの現場に加え、広告宣伝、プランニング、都市再開発などの項目もあわせて学ぶ</p>				
使用テキスト なし				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点20% テスト80%				

	テーマ	授業内容
第1週	実習で得たものを総復習する。また最新のホテル事情を探る。	後期の授業の進め方を知る。 実習で得たものを出し合いながら、ホテルやブライダルの可能性について話す。 最新のホテル事情を関東や関西、沖縄を中心に知る。
第2週	最近のホテルのトレンド	新規開業ホテルから見る最近のホテルトレンド どのような特徴があるか？ 地域による特徴とは何かを学ぶ
第3週	ブライダルマーケットについて深く知る。	2015年度の婚礼の実績を数字で見る。 その数字から分かる事、分からない事を話し合う。 数字から分かるトレンドや状況を分析する。
第4週	ブライダルマーケットについて新しいトレンドを知る。	ホテル婚礼の新しいトレンドを知る。 レストラン婚礼のいいところを知る。 ゲストハウスウェディングのオリジナリティを知る。
第5週	ホテルの催事について学ぶ。	ディナーショーについて学ぶ。 ヒットしたクリスマスディナーショーについてそのポイントを分析する。 今年のクリスマスディナーショーの情報をネットを使って得る。
第6週	世界のホテル事情(ラスベガスとマカオ)について知る。	ラスベガスの街とホテルについて知る。 ターゲットをファミリー層に変更してアメリカを代表する観光地となったラスベガスの変遷を学ぶ。 アジアを代表するカジノの街となったマカオを知る。
第7週	世界のホテル事情(ハワイとパリ)について知る。	ハワイのホノルル、ホテルの見本市と言われる状況を知る。 ハネムーン先としても人気のハワイの魅力を探る。 ハワイとは違った魅力のバリを知る。又、日本のブライダル企業のハワイとパリへの進出状況を知る。
第8週	世界のホテル事情(シンガポールとドバイ)について知る。	シンガポールを代表するラッフルズホテルとマリーナベイサンズを知る。 中近東のドバイのホテルを知る。 この20年の世界のホテル開発の傾向としてスモールラグジュアリーホテルが多い事を知る。
第9週	ホテルの販売促進についてその方法を知る。	広告宣伝と広報の違いを知る。 テレビCMと新聞広告の効果やターゲットの違いを理解する。 ホテルの開業時の新聞広告から時代を考える。
第10週	後期の復習とまとめをする。	後期の復習をする。 テストに備え用語や項目を整理する。
第11週	2020年の日本のホテル業界について考えてみよう。	2020年東京オリンピックに向けて何がかわるのか？を考える。 一流のホテルマンに求められる能力(問題解決力、英語力、アップセル力)について考える。 外資系と国内系ホテルを就職の点から考えるとどう違うのかを見る。
第12週	テストの返却と復習をする。	テストを返却してもらい、解答を合わせてチェックする。 間違った箇所から、何が理解不足なのかを知る。 春の実習と就職に向けて、読んでおいた方がいい本や情報を知る。

後期シラバス

2016年度 後期				
対象学年	1年	対象クラス	ホテル科	Aクラス
科目名	コンシェルジュ		担当講師	大江 裕子
到達目標 最近では多様な場所で使われているコンシェルジュを本来のホテルでの意味を学ぶ。 外国人、日本人問わず接客出来る知識を身につける				
使用テキスト プリント				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 課題(グループワークとノート提出による評価)・・・40% 期末テスト・・・60%				

	テーマ	授業内容
第1週	リクエスト対応	夏季実習中に受けたお客様からのリクエストやご要望を発表し様々なリクエスト内容を知る 実際にあったリクエストへの対応を紹介し接客力を広げる力を身につける 夏季実習場所(チーム)に別れて発表
第2週	外客接遇の基本Ⅰ	東京オリンピックへ向けてのホテルの需要を理解する 外国人からみる日本のイメージや魅力、更に来日時の不安点を知り接客に役立つ知識を身につける 訪日外国人人数、国別人口の把握、人気訪問地を知る
第3週	外客接遇の基本Ⅱ	日本人の特徴や日本文化を学び、その知識を接客に生かすことを目的とする 外国人から見る慣れない日本の習慣などを学びながら外国人視点の日本を知る グループディスカッション内容を発表し、問題点や改善点を内容共有し外客接遇に役立てる
第4週	外客接遇の基本Ⅲ	各国の特徴と文化を知り、外国人対応力を身につける 日本人から見る外国人の文化や習慣などを学ぶ グループディスカッション内容を発表し、問題点や改善点を内容共有し外客接遇に役立てる
第5週	外客接遇の基本Ⅳ	世界遺産を中心に観光スポットを紹介し、その知識を接客に活かすことを目的とする 外国人観光客が選ぶ日本の観光スポットを紹介、人気理由を分析して観光紹介に役立てる 観光客の求めるスケジュールプランを考え、様々な旅行プランを提供できる知識をつける
第6週	コンシェルジュ業務Ⅳ (観光案内)	外国人から見た九州、他県から見た九州を紹介、分析して地元九州の観光紹介に活かすことを目的とする 日本人、外国人観光客問わず、地元九州の魅力を知り、接客に役立てる 観光客の求めるスケジュールプランを考え、様々な旅行プランを提供できる知識をつける
第7週	コンシェルジュ業務Ⅴ (エアライン知識)	国内、海外エアライン事情について学ぶ 航空券記載事項目を学び、飛行機や日程の変更対応力を身に付ける 航空券変更リクエストをグループワークで解決し、お客様からのリクエストに対応する力を身につける
第8週	プロトコールⅣ	プロトコール基本問題に取り組む プロトコール検定3級合格が出来る知識をつけることを目的とする
第9週	プロトコールⅤ	冠婚葬祭の基本知識を学び、ホテル利用率の高い行事を知る プロトコール検定3級合格が出来る知識をつけることを目的とする
第10週	期末試験対策	期末テスト範囲とまとめについて説明、復習、再確認を行う これまでの授業のまとめと重要点の復習を行い期末試験得点に繋げることを目的とする
第11週	後期授業まとめ	期末試験解説を行い習得した知識を見直す 課題ノート提出
第12週	コンシェルジュ英会話	コンシェルジュで良く使う英会話を学ぶ コミュニケーション力をつけるための会話と応対が出来ることを目的とする 接客に必要な会話や語学を学び接客力を身につける

後期シラバス

2016年度	後期			
対象学年	1年	対象クラス	ホテル・プライダル科	AHクラス
科目名	ペン字		担当講師	安藤 清子
到達目標 実用書を学びながら社会人としての教養を身につける				
使用テキスト プリント				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 提出物・授業態度				

	テーマ	授業内容
第1週	はがきの表書き	・はがきを書くためのレイアウトと余白美
第2週	封筒の書き方①	長封筒の表書きと裏書きの色々
第3週	封筒の書き方②	A4サイズの封筒一表書きと裏書きの色々
第4週	縦書きの書き方①	縦書きの特徴一書き取り練習
第5週	縦書きの書き方②	お礼状の書き方 :第1週から第5集までのまとめ～提出①
第6週	年賀状の書き方①	筆ペンの特徴と基本線の練習 :年賀状の表書きの書き方と、自分の名前の練習
第7週	年賀状の書き方②	年賀状の書き方 :賀詞添え書きの書き方と練習
第8週	年賀状の書き方③	年賀状を飾る :絵の具や和紙などで飾る
第9週	年賀状の書き方④	年賀状を飾る :表書き裏書きを完成させる一提出②
第10週	慶弔の表書き①	慶弔の表書きの書き方 お祝い事の熨斗と水引一由来とマナー :寿と御祝の練習
第11週	慶弔の表書き②	悔やみ事の熨斗と水引一由来とマナー :御霊前とご仏前の練習
第12週	筆ペンで書く実用書	慶弔の表書きまとめ一提出③

後期シラバス

2016 後期

対象学年	1 年	対象クラス	ホテル科	Aクラス
科目名	リゾートツーリズム		担当講師	丸山 時男
到達目標				
① ホテル業界と旅行業界の関係を知る				
② ホテルマンのツーリズムを学ぶ必要性を知る				
使用テキスト				
JR時刻表				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末試験60%、平常点40%(課題・小テスト)				

	テーマ	授業内容
第1週	旅行業界との関係	オリエンテーション ホテル業界と旅行業界の関係、ホテル約款と旅行業約款の違い
第2週	国内航空の知識①	航空の案内業務 航空時刻表の見方、予約方法、空港コード、航空会社コード、
第3週	国内航空の知識②	航空の案内業務 運賃の種別、空港へのアクセスなど
第4週	JR時刻表の見方	時刻表の見方、使用される記号
第5週	乗り物案内業務	簡単な日程作成、運賃・料金の案内
第6週	九州・沖縄の観光資源①	行政都市、知っておきたい観光資源、観光施設、主要都市など
第7週	九州・沖縄の観光資源②	同上
第8週	中国・四国の観光資源	行政都市、観光都市、主要な観光資源、祭り、名物料理など
第9週	近畿・北陸の観光資源	行政都市、観光都市、主要な観光資源、祭り
第10週	中部・関東の観光資源	行政都市、観光都市、主要な観光資源、祭り
第11週	東北・北海道の観光資源	行政都市、観光都市、主要な観光資源、祭り
第12週	世界のホテルマン	添乗員として接した体験談(コンシェルジュ等から学んだ事) 中国、ヨーロッパなど

後期シラバス

2016 後期				
対象学年	1年	対象クラス	ホテル・プライダル科	AHクラス
科目名	ホテル英会話		担当講師	内川、大江、佐藤
到達目標 ホテルの現場で使う基本の英会話表現を部署ごとに(ベル、クローク、ハウスキーピング、レストラン)覚えて言えるようになる。 各部署での業務の手順に従い、動作を伴う英語表現もできるようになる。				
使用テキスト ホテル英会話1 基本表現を英語と日本語併記したレジメ(各レッスンごとに配布)				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点(小テスト)20%・・・各レッスン終了時に20点満点の小テストを5回実施する。 期末テスト 100点満点 80%				

	テーマ	授業内容
第1週	前期の復習とL6	前期の復習をする L6 D1 & D2 ベルパーソンとしてお客様に基本的な英語表現が言えるようになる。 お客様のご到着からお部屋のご案内までの表現を覚えて言えるようになる。
第2週	L6 ベルパーソンの表現を学ぶ	L6 D3 & D4 ベルパーソンとしてお客様に基本的な英語表現が言えるようになる。 お部屋の説明が言えるようになる。 チップの断り方が言えるようになる。
第3週	L6 ベルパーソンの表現を学ぶ	L6 D5 & D6 お客様のご出発に際しての英語の基本表現が言えるようになる。 お客様のお見送りの基本的な英語表現が言えるようになる。 L6復習の小テストをして、不十分な個所を知る。
第4週	L7 クロークの表現を学ぶ	クロークでのやり取りの手順とその英語表現を学ぶ 手順に応じて英語の基本表現が言えるようになる。 動作を伴うクロークでの英語のやり取りができるようになる。
第5週	L7小テストとL8 フロントの基本表現を学ぶ	L7 復習テストをして不十分な個所を知る。 L8 D1 予約の取り方の基本的な手順とその英語表現を学ぶ。 D2 チェックインの通常の手順を確認しその英語表現を学ぶ。
第6週	L8 フロントの基本表現を学ぶ	L8 D3 チェックアウトの通常の手順を確認しその英語表現を学ぶ。 D4 街の情報をどのようにお客様に伝えるかを知り、基本表現が言えるようになる。
第7週	L8 復習テストとL9 ハウスキーピングの基本表現を学ぶ	L8 フロントの復習テストをして不十分な個所を知る。 D1 お客様のお部屋のお掃除に伺った時の基本表現を学ぶ。 D2 お客さまからのご要望にこたえ、お部屋にお持ちした時の表現を学ぶ。
第8週	L8 ハウスキーピングの基本表現とL10 レストランでの御席へのご案内の表現を学ぶ	L9 D3 ハウスキーピングへのご要望にお応えする英語表現を学ぶ。 L9 D4 クリーニングをお客様のお部屋へ受け取りに伺う時の表現を学ぶ。 L10 D1 レストランでのお客様を御席へご案内するときの表現を学ぶ。
第9週	L9復習テストと L10 レストランでの基本表現を学ぶ。	L9 復習テストをして不十分な個所を知る。 D2 御席でのオーダーの取り方の表現を学ぶ。 D3 朝食のオーダーの取り方の表現を学ぶ。
第10週	L10 レストランでの基本表現を学び、前期の復習をする。	D4 御食事をお持ちする際の表現を学ぶ。 前期の復習をして、基本となる英単語と表現を覚える。 テストに際して範囲となったスキットを声に出して読み、覚えるようにする。
第11週	L10 レストランでの表現を覚える。	もう一度レストランでの表現を復習して、実習に備える。 D10の復習テストをして不十分な個所を知る。 実習のレストラン業務に関して、必要な英語表現があれば質問に応じる形でフォローする。
第12週	前期テストの返却とフィードバック	前期テストを返却してもらう。 解答とその説明を聞き、フィードバックを受ける。 実習の時にどのように「ホテル英会話」を役立てるかを知る。

後期シラバス

2016年度		後期			
対象学年	1	年		対象クラス	
科目名	就職活動講座		担当講師	安部 紀美江	
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・就職活動の重要性を認識させると同時に基本的な所作を体得させる。 ・就職試験の為の具体的方法を習得させ、合格をめざす。 					
使用テキスト					
<ul style="list-style-type: none"> ・「NEW SUCCESS 勝つための就職ガイド」 ・就職ノート ・オリジナルレジュメ 					
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					
<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの作成内容と授業態度・・・50% ・作成提出物による評価・・・50% 					
	テーマ		授業内容		
第1週	オリエンテーション		<ul style="list-style-type: none"> ・前期を振り返り、自己PRの再確認をする。 ・後期シラバス説明 ・前期での学習を活かし、実習体験を使った自己PRを作成する。 		
第2週	自己PR作成		<ul style="list-style-type: none"> ・前週に引き続き、実習体験を使った自己PRの完成品を作成する。 		
第3週	志望動機の作り方		<ul style="list-style-type: none"> ・あるホテルをモデルケースとして、パンフレットや資料を駆使して志望動機の作り方を学ぶ。 ・志望動機作成に必要な文言や自己PRとの関連性について考えていく。 ・モデルケースの志望動機を作ってみる。 		
第4週	志望動機の作り方		<ul style="list-style-type: none"> ・前週に引き続き、モデルケースの志望動機を完成させる。 ・個人の進捗状況に応じて履歴書用と面接用との使い分けをした志望動機を作成する。 ・個人別の添削で個々人が持つ問題点がわかるようになる。 		
第5週	企業研究		<ul style="list-style-type: none"> ・企業研究の重要性と企業研究シートの作成方法を学ぶ。 ・情報収集の必要性とその収集方法ができるようになる。 ・企業開催セミナー・説明会に参加する意味と就活への活用方法をわかるようになる。 		
第6週	企業研究		<ul style="list-style-type: none"> ・企業研究における資料請求の必要性が理解でき、その方法もできるようになる。 ・資料請求後の礼状の書き方を学び、書けるようになる。 		
第7週	企業研究		<ul style="list-style-type: none"> ・エントリーシートとは何かを理解し、就活にとっての第一歩であることを認識できるようになる。 ・エントリーシートの効果的な作成方法を学び、どう活用するかを考える。 ・過去のエントリーシートを使って、実際にエントリーシートを書いてみる。 		
第8週	企業研究		<ul style="list-style-type: none"> ・前週に引き続き、エントリーシートを完成させる。 ・個人別の添削で個々人が持つ問題点がわかるようになる。 		
第9週	論文・作文の書き方		<ul style="list-style-type: none"> ・就職試験においての論文・作文の書き方を学び、書くときのポイントを整理する。 ・400字詰め原稿用紙2枚を使い、与えられた課題で実際に書いてみる。 ・個人別の添削で個々人が持つ問題点がわかるようになる。 		
第10週	自己PR・志望動機の復習		<ul style="list-style-type: none"> ・自己PR・志望動機を300字以内で書いてみる。 ・学内模擬面接用シートの書き方と注意点を学ぶ。 ・自己PR・志望動機を入れた履歴書の作成してみる。 		
第11週	面接対策		<ul style="list-style-type: none"> ・面接の形式の種類や実施される時点と注意点を学び、本番に向けた心構えができるようになる。 ・面接の受け答えチェックポイントを知り、自らの面接に活かせるようになる。 		
第12週	面接対策		<ul style="list-style-type: none"> ・よくある面接質問を繰り返し練習することで、本番での受け答え内容を準備して自信をもって臨めるようになることを目的とする。また、個人別の添削で個々人が持つ問題点がわかるようになる。 ・内定後にしなければいけないことを学び、入社までの処し方がわかるようになる。 		

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	1年	対象クラス	ホテル科	Aクラス
科目名	コミュニケーションイングリッシュ		担当講師	日高 郁子
到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・中学卒業レベルの文法を完全に理解し、それを駆使して英語で日常的なコミュニケーションが取れることを目指します ・日常会話をシチュエーションごとにロールプレイングするなどし、よりプラクティカルな英会話を学びます。 *テキストは主にリスニングの補助的教材として使用し、基本的には講師独自のプリントなど使用します。 *必要に応じて、様々なアクティビティを取り入れることもあり、シラバス通りに進まないことがあります。 				
使用テキスト				
*Get Ready To Go! Homestay Adventures (Macmillan Language House)				
成績評価方法				
※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ※成績は平常点40% 期末テストの代わりにプレゼンテーション60% で評価する。				

	テーマ	授業内容
第1週	夏休みの話をしてみよう	Be 動詞の過去形とよく使う一般動詞の過去形を覚えよう Unit 5 発音 th
第2週	完了形	過去形と完了形の違い ～したことがありますか? Have you ever been? 発音 sh s
第3週	未来形	will と be going to～の違いは? Unit 6 発音 w wh
第4週	疑問詞 間接疑問文	疑問詞を使った文章を使いこなす 間接疑問文 語順に注意する Unit 7
第5週	接続詞	if / when / while / since などを使いこなす Unit 8 発音 ch ck
第6週	助動詞	助動詞 (can, should, will, would, may, might, must) Review Game Unit 5-8 発音 sh ng
第7週	命令文	命令文、否定命令文、丁寧な言い方、Let's 等 Unit 9 発音 Silent e
第8週	お願いする	Could you～? Do you mind if～? Unit10 発音 ee, ea, ai, oa, oo
第9週	相手に提案する	Shall I ～? / Do you want me to + 原形動詞? Let me ～. Can I ～ Unit11
第10週	付加疑問文 否定疑問文	しですよね?～ではないですよね?の言い方とその答え方をマスターする Unit12
第11週	後期プレゼンテーション	1人1分のスピーチをする 相手にそのスピーチについて質問する
第12週	後期プレゼンテーション	1人1分のスピーチをする 相手にそのスピーチについて質問する

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	1年	対象クラス	ホテル科	Aクラス
科目名	ユニバーサルサービス		担当講師	原田 歩
到達目標				
1. 高齢者や障害者が不自由に感じていることに対し、理解を深める 2. ホテルにいらっしゃる様々なお客様を理解し、対応できるようになる 3. 仕事だけでなく、日常生活でも気付き、実践できるようになる				
使用テキスト				
「接客・接遇のためのユニバーサルサービス基本テキスト」日本能率協会マネジメントセンター				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
期末テスト 80% 平常点 20%				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション 高齢者へのサービス①	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の目的、進め方、成績評価方法について ・実習での気付きを共有する ・高齢者についての基本知識を学ぶ
第2週	高齢者へのサービス②	<ul style="list-style-type: none"> ・加齢に伴う心身の変化を学ぶ ・高齢者の方の日常生活の一部を体験し、理解を深める
第3週	高齢者へのサービス③	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢社会について考える ・私たちができることを考え、共有する
第4週	高齢者へのサービス④	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症についての基本知識を学ぶ ・高齢のお客様への接客を学ぶ
第5週	お客様に応じたサービス ①	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠中のお客様についての基本知識を学ぶ ・妊娠中のお客様が不便に感じていることを学ぶ
第6週	お客様に応じたサービス ②	<ul style="list-style-type: none"> ・小さなお子様連れのお客様が不便に感じていることを学ぶ ・店舗や施設でのサービスを共有する
第7週	お客様に応じたサービス ③	<ul style="list-style-type: none"> ・小さなお子様連れのお客様が、店舗や施設で快適に過ごすために必要なことを考え、共有する
第8週	お客様に応じたサービス ④	<ul style="list-style-type: none"> ・知的障害、発達障害、精神障害、言語障害についての基本知識、及び接客を学ぶ ・困難に感じていることを学ぶ
第9週	お客様に応じたサービス ⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・内部障害についての基本知識を学ぶ ・パニック障害やピーナッツアレルギーなどについて学ぶ
第10週	お客様に応じたサービス ⑥	<ul style="list-style-type: none"> ・ホテルのフロントを想定し、あらゆるお客様を接客する ・それぞれに合った適切な対応を学ぶ
第11週	お客様に応じたサービス ⑦	<ul style="list-style-type: none"> ・ホテルのフロントを想定し、あらゆるお客様を接客する ・それぞれに合った適切な対応を学ぶ
第12週	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間の復習、補足

後期シラバス

2016年度 後期				
対象学年	2年	対象クラス	ホテル科	Eクラス
科目名	HRS対策Ⅲ(実技)		担当講師	田才 亜紀子
到達目標 ホテルレストランにおける基本的なサービス方法・ルール・事故対処方法・食事のマナーを学び HRS 3級実技試験合格を目指す				
使用テキスト 103教室備品 プリント適時				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末試験90% 併せて平常点10%を加味して評価する				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・後期授業進め方説明 ・28年度実技試験想定シナリオ説明 サービスのポイント復習 ・事故パターン、対処方法説明
第2週	HRSにむけて	<ul style="list-style-type: none"> ・課題内容の動作を確実に身につける ・時間計測しながら、8分以内で一連の流れを行う ・最終チェック、弱点を洗い出し、克服
第3週	HRSにむけて	<ul style="list-style-type: none"> ・課題内容の動作を確実に身につける ・時間計測しながら、8分以内で一連の流れを行う ・最終チェック、弱点を洗い出し、克服
第4週	HRSにむけて	<ul style="list-style-type: none"> ・課題内容の動作を確実に身につける ・時間計測しながら、8分以内で一連の流れを行う ・最終チェック、弱点を洗い出し、克服
第5週	HRS振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・HRS試験を終えての各自振り返り ・本年度試験内容の聞き取り調査
第6週	期末試験にむけて	<ul style="list-style-type: none"> ・HRS実技試験の内容で期末試験 ・範囲・課題発表 ・期末試験に向けての練習
第7週	期末試験①	<ul style="list-style-type: none"> ・H28年度HRS実技試験の内容をもとに授業内で実技試験を行う
第8週	期末試験②	<ul style="list-style-type: none"> ・H28年度HRS実技試験の内容をもとに授業内で実技試験を行う ・期末試験内容フィードバック
第9週	料飲研究①	<ul style="list-style-type: none"> ・ターゲット決定 ・ターゲットにあわせたレストラン・商品の企画
第10週	料飲研究②	<ul style="list-style-type: none"> ・テーブルコーディネート作成 ・HPレイアウト、内容の決定
第11週	料飲研究③	<ul style="list-style-type: none"> ・作成したHPを基に、プレゼンテーション ・優秀作品決定
第12週	振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間の授業の振り返り、就職にむけて

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	2年	対象クラス	ホテル科・ブライダル科	EIクラス
科目名	ホテルブライダルマーケティング		担当講師	東山 善一
到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・マーケティングとは何かを理解し、説明できる。 ・オペレーションやマネジメントの「ものさし」としてマーケティング知識を身につける。 ・ホスピタリティ産業に関するマーケティング知識を身につける。 				
使用テキスト				
Powerpointで説明し、必要な場合は印刷物を配布します。				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
授業への取り組み姿勢・ワークショップでの評価25%、期末試験75%				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	授業の概要、授業の進め方を理解します。
第2週	宿泊マーケティング	マーケティングの視点からの宿泊サービスについて学びます。 ビジネスホテルとシティホテル、リゾートホテルの違いなどについて学びます。 簡単なワークショップを通じて学んでいきます。
第3週	宴会マーケティング	マーケティングの視点からの宴会サービスについて学びます。 婚礼、一般宴会、会議等について学びます。 簡単なワークショップを通じて学んでいきます。
第4週	レストランマーケティング	マーケティングの視点からのレストランサービスについて学びます。 ラウンジ、フレンチ、和食等のレストランカテゴリーについて学びます。 ワークショップの準備を行います
第5週	レストランマーケティング ワークショップ	レストランマーケティングのワークショップを行います。 ・宿題の調査結果をパワーポイントまとめます。 ・調査結果をグループ単位に報告します。
第6週	ホテル営業	ホテルセールスの業務について学びます。 法人セールスやエージェンツセールスについて学びます。 宿泊セールスや宴会セールスについて学びます。
第7週	顧客管理(クレーム処理)	クレームにおける心理(自我状態)について学びます エゴグラム診断を行い自分の心理(自我状態)について学びます
第8週	ワークショップ1	マーケティングワークショップを行います ・グループでマーケティングテーマを決定します。 ・調査データを分析し、パワーポイントに取りまとめます。
第9週	ワークショップ2	マーケティングワークショップの続きを行います ・マーケティング報告を各グループで行います。
第10週	前期のまとめ	授業の重要な学習についておさらいします。 学生が「もう少し深く学びたい」講座について踏み込んで学びます
第11週	質疑	試験の解説と質疑応答を行います。 これまでの授業で説明できなかった質問を取り上げて解説します。
第12週	セールスマーケティング	マーケティングの視点からホテルセールスについて考えます。 各自のマーケティングの考えを活かしたワークショップを行います。

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	2年	対象クラス	ホテル 科	E選択クラス
科目名	(専攻)カクテル		担当講師	松尾 禎一郎
到達目標				
カクテルの知識、技術の基礎を学び、バーテンダーとしての心構えを習得する。				
使用テキスト				
ホテルテキスト料飲Ⅱ バーラウンジ編 (授業内容に合わせ資料を用意、配布)				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
期末試験と授業態度 試験 80% 授業態度 20%				

	テーマ	授業内容
第1週	・シラバスの説明 ・酒の知識Ⅰ	・授業内容の説明 ・成績評価説明と授業を行う上での注意点 ・1年生で学んだことのおさらい (酒の知識と分類 醸造酒・蒸留酒・混成酒)
第2週	・酒の知識② ・カクテルの知識①	・グラスの種類と用途、保管方法、必要器具の種類と用途 ・カクテルの知識 (レシピ用語、分量表記) ・カクテルの豆知識(カクテル名の由来等)
第3週	・カクテルの知識②	・カクテルの名称、お酒の歴史 ・酒別の保管場所、保存方法の注意点 ・提供温度(酒の美味しい温度) ・器具の基本的な持ち方、使い方(バースプーンの持ち方、メジャーカップの使い方等)
第4週	・カクテルの実践講習①	・技法1 ビルドタイプ(DVD参照) Ⅰ.氷の入れ方 Ⅱ.ステアーの練習 Ⅲ.ビルドタイプカクテル実践講習 ①美味しい水割り ②美味しいロック ③炭酸の注ぎ方
第5週	・カクテルの実践講習②	・技法2 シェーカータイプ Ⅰ.シェーカーの持ち方、シェイキングの仕方、注ぎ方 (DVD参照) Ⅱ.シェイキングの練習1回目
第6週	・カクテルの実践講習③	・技法2 シェーカータイプ Ⅰ.シェイキングの練習2回目 Ⅱ.シェーカータイプカクテル実践講習
第7週	・カクテルの実践講習④	・技法3 ステアータイプ Ⅰ.ミキシンググラスの取り扱いと準備 Ⅱ.ステアータイプカクテル実践講習
第8週	・カクテルの実践講習⑤	・技法4 スノースタイル Ⅰ.スノースタイルの種類、塩のつけ方とグラスの取り扱い Ⅱ.スノースタイルカクテルの実践講習
第9週	・カクテルの実践講習⑥	・技法5 ホットカクテルのポイント Ⅰ.ホットカクテルの実践講習
第10週	・カクテルの実践講習⑦ ・これまでのおさらい	・技法6 氷の話 Ⅰ.氷の取り扱い方法 Ⅱ.氷の切り出し方
第11週	・カクテルの実践講習⑧	・技法7 フルーツのカッティング方法 (バーフードメニューの簡単な作り方) Ⅰ.カクテル用デコレーションフルーツのカット 実践練習 Ⅱ.おつまみの作り方(チーズ、ハム盛り合わせetc)
第12週	・総括	・課題カクテルの制作 Ⅰ.基準を満たした作り方が出来ているか?カクテルの味は美味しいか? Ⅱ.複数オーダーにチャレンジ

後期シラバス

2016年度 後期				
対象学年	2 年	対象クラス	ホテル科	E選択 クラス
科目名	(専攻)コンピュータ		担当講師	乙咩 清美
到達目標 Microsoft Power Pointによる基本操作の学習 Microsoft Power Pointによる効果的なプレゼンテーションファイルの作成とプレゼンテーション発表の実践 企画力・発表力などを身につける				
使用テキスト ドリルでマスター！ PowerPoint2010&プレゼンテーション その他配布プリントあり				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点20% 課題提出物20% 期末試験60%				

	テーマ	授業内容
第1週	資料作成の基本学習とサンプルスライドの作成	効果的なプレゼンテーションをするために必要な準備と流れを学ぶ。 プレゼンに適した話の流れとは、また、解りやすいスライドの作成に必要な事は何かを理解し、サンプルファイルの作成に取り掛かる。
第2週	サンプルスライドの作成	作成したスライドに、基本的な書式設定や図形をレイアウトする。 企画会議などで用いるグラフや表をエクセルから取り込む方法やスタイルの適用について学ぶ。
第3週	サンプルスライドの作成	画面切り替え効果の設定と、文字や図にアニメーション効果を設定する。 練習問題で学習した内容を確認する。
第4週	サンプルテーマを元にオリジナルのスライド作成	スライドマスター機能の学習 決められた内容のスライドを、オリジナルなデザインで作成してみる。 ドリル1からドリル5(スライド作成の練習)
第5週	プレゼンテーション発表	OAルームで講師PCのモニターを使って発表する。 ノート機能やリハーサル機能についての確認をし、発表の準備 発表の際の注意点を充分守って発表すること
第6週	商品パンフレット作成	ドリル6 商品のパンフレット作成 シナリオを作成後、スライドを作成。 短時間での作成を目標にする。次週までに完成させる。
第7週	日程のお知らせ作成	ドリル8 ツアーに参加するお客様へ案内のファイル作成 シナリオを作成後、スライドを作成。 短時間での作成を目標にする。次週までに完成させる。
第8週	プレゼンテーションの基本と発表	プレゼンテーションの基本を改めて確認する リハーサルや配布資料準備、発表の練習
第9週	スライドの作成 ①	課題は「ご宿泊のお客様へ ホテル近郊の観光名所のご案内」 課題の指示表に従い、作成する内容を十分に練りシナリオを作成する。 作成したシナリオに沿ってスライドに文字を入力し、全体の骨格を決める。
第10週	スライドの作成 ②	必要な素材をネットを利用して集める。 デザインや図表の色使いに注意しながら、全体を見やすく、解りやすくまとめる。
第11週	スライドの作成 ③	必要なアニメーション、画面切り替えなどの編集をする。 リハーサル機能を使って、時間内に収まるか、原稿が適切かなど確認する。
第12週	期末試験	プレゼンテーション発表 OAルームで講師PCのモニターを使って発表する。 他の発表の評価シートを作成する。

後期シラバス

2016年度	後期		
対象学年	2年	対象クラス	ホテル科 E選択 クラス
科目名	(専攻)パーソナルカラー入門	担当講師	佐藤 多佳代
到達目標	<p>パーソナルカラーとは、人それぞれの持つ生まれた色素をもとに、客観的に導き出された『似合う色』のことを言います。色素分析と言う根拠に基づいた『似合う色』は、バランスを自然に整え、人に好印象を与えるイメージを無理なくつくり出せます。『パーソナルカラー入門』の講座に置いては、先ず、パーソナルカラーの探し方や取り入れ方の基礎とそのもとになる色についての基本を学びます。それぞれの人が自分に似合う色のタイプを理解することで、『自分らしさの確立』プラスの自己表現を可能にする『自分ブランディング』を目指しましょう。カラーアドバイザー取得の基礎となる日本カラーコーディネーター協会主催のパーソナルカラー検定3級に完全対応。3級合格へ導きます。</p>		
使用テキスト	色彩活用 パーソナルカラー検定 公式テキスト3級 (一般社団法人 日本カラーコーディネーター協会)		
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。		
筆記試験、提出物での総合判断			

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション 色の基本①	オリエンテーション 『色彩活用』としてのパーソナルカラー 色の三属性 色相、明度、彩度について
第2週	色の基本②	トーン考え方 トーン別イメージ
第3週	パーソナルカラーの基本①	アンダートーンについて(イエローベースとブルーベース) アンダートーンに合わせたカラーコーディネート
第4週	パーソナルカラーの基本②	4シーズンイメージと色の特徴 4シーズンに合わせたカラーコーディネート
第5週	色とイメージ	イメージに合わせたコーディネート 色名とイメージの繋げ方
第6週	似合う色の基準①	色素傾向の特徴と見分け方 4シーズンの色素傾向比較
第7週	似合う色の基準②	色素チェックのポイント、判断基準 色素の相互比較 相互チェック
第8週	色の見え方	三属性に基づく対比と同化 色の反射と吸収
第9週	似合う色の見つけ方①	ドレーピングによる比較方法 ドレーピング実習 マイカルテの作成
第10週	似合う色の見つけ方②	ドレーピング実習 クライアントカルテの作成
第11週	似合う色の取り入れ方①	4シーズンに合わせた素材、柄、アクセサリ、小物のイメージと取り入れ方 レディースファッションとメンズファッション シーンに合わせたパーソナルカラーの取り入れ方
第12週	似合う色の取り入れ方② まとめ	『P!』を活かす自分ブランディングと活用術 好きな色、心の色とパーソナルカラーのアレンジ方法 まとめ

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	2年	対象クラス	ホテル科	E選択 クラス
科目名	(専攻)ABC検定対策	担当講師	船藏 大志	
到達目標 ・ブライダル業界を広義に捉え、業界の仕組み・成り立ちを理解する ・アシスタント・ブライダル・コーディネーター検定(ABC検定)の趣旨を理解する ・ABC検定への合格				
使用テキスト ・オリジナルテキスト				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点20点 + 期末テスト80点				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	・2016年度後期授業内容の解説(シラバスの説明) ・ABC検定概要の理解 ・業界の成り立ちと、出題範囲の理解
第2週	結婚の定義・言い伝え	・日本、海外における「結婚の定義・概念」の理解(法令・制度) ・日本、海外における「結婚に関する言い伝え」の理解 ・上記に関する過去問題出題
第3週	歴史・お見合い・結納	・「結婚式の歴史」について理解 ・「お見合い」「結納」についての理解 ・上記に関する過去問題出題
第4週	挙式	・現在の日本において行われる「挙式」の目的・概要について理解 ・挙式別の進行内容やアイテムの理解 ・上記に関する過去問題の出題
第5週	披露宴	・挙式後に行われる「披露宴」の目的・概要について理解 ・披露宴時、お客様に提供するサービスや演出の理解 ・上記に関する過去問題の出題
第6週	ブライダルコンテンツ①	・挙式・披露宴で新郎新婦がお召しになる「衣裳」や「装花」について理解 ・「婚約指輪」「結婚指輪」の違いと、指輪の種類について理解 ・上記に関する過去問題の出題
第7週	ブライダルコンテンツ②	・招待状や席次表をはじめとする「ペーパーアイテム」の種類について理解 ・新郎新婦がゲストへ贈るギフト「引き出物」の種類について理解 ・上記に関する過去問題の出題
第8週	ブライダルコンテンツ③	・①②以外のコンテンツ「司会」「音響」「写真」「ブライダルエステ」についての理解 ・「業界の仕組み」「近年の動向」について把握 ・上記に関する過去問題の出題
第9週	過去問題の出題①	・8週までの授業を踏まえた、過去問題の出題(回答目標70点) ・今授業テスト範囲の把握
第10週	過去問題の出題②	・9週までの授業を踏まえた、過去問題の出題(回答目標70点) ・今授業テスト範囲の把握
第11週	過去問題の出題③	・今授業テストの返却・回答 ・10週までの授業を踏まえた、過去問題の出題(回答目標80点)
第12週	過去問題④	・11週までの授業を踏まえた、過去問題の出題(回答目標80点)

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	2年	対象クラス	ホテル科	Eクラス
科目名	フロントオフィス		担当講師	中牟田 登喜枝
到達目標				
1.業務についての基本知識を学ぶと共にホテル全体の流れを理解する				
2.業務に必要な接客能力を向上させる				
使用テキスト				
[ホテルテキスト宿泊Ⅰ フロントオフィス編] ウィネット発行 プリント				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
平常点＋期末試験＝100点				

	テーマ	授業内容
第1週	前期復習	前期復習 チェックイン・ロールプレー
第2週	レセプション業務	ウオーク・インのチェック・イン 団体客のチェックイン ルーム・チェンジ
第3週	レセプション業務	チェックアウト業務 ナイト業務 デイリールーム・レポート作成
第4週	フロント・キャッシャー業務	請求書 清算手順と方法ー現金
第5週	フロント・キャッシャー業務	清算手順と方法ー売掛、クレジット、クーポン、パウチャー
第6週	フロント・キャッシャー業務	清算業務ロールプレー
第7週	フロント・キャッシャー業務	清算業務ロールプレー
第8週	フロント・キャッシャー業務	サービス料と税金 宿泊料金計算 外貨両替
第9週	インフォメーション業務	ルーム・インフォメーション ウイールコール・フォーとバイ・ハンド
第10週	インフォメーション業務	ハウス・インフォメーション シティ・インフォメーション メッセージ、郵便と電報
第11週	防犯業務	防犯管理 遺失物管理
第12週	まとめ	期末試験の内容について説明 後期全体の復習

後期シラバス

2016年度	後期			
対象学年	2年	対象クラス	ホテル・プライダル科	Eクラス
科目名	ホテル英会話		担当講師	内川、大江、佐藤
到達目標				
<p>ホテルのセクションごと(オペレーター、レストランとバー)の業務手順に応じた英語表現を見につける。 ホテルでの苦情に対処する英語表現を見につける。 ホテルでの緊急事態に対応できる英語表現を見につける。</p>				
<p>使用テキスト ホテル英会話2のテキスト 基本表現を英語と日本語併記したレジメ(各レッスンごとに配布)</p>				
<p>成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点(小テスト)20%・・・各レッスン終了時に20点満点の小テストを5回実施する テスト 100点満点 80%</p>				

	テーマ	授業内容
第1週	前期の復習、L6 Telephone & paging	前期の復習 D1 外線からのお客様への電話応答の手順に従って英語表現を学ぶ。 D3 モーニングコール依頼に応じる英語表現を学ぶ。
第2週	L6 復習と小テスト、L7 レストランでの英語表現	L6 を復習し、小テストで理解不十分な個所を知る。 L7 D1 レストランの電話での予約を取るその手順と英語表現を学ぶ。 余裕があるクラスはD2 ブッフェの朝食のご案内の英語表現を学ぶ。
第3週	L7 レストランでの英語表現を学ぶ	L7 D1 レストランの電話での予約を取るその手順と英語表現を復習する。 L7 D2 日本食に関しては主な料理名とその説明の英語表現を学ぶ。 L7 D3の中の支払いのご案内の英語表現を学ぶ。
第4週	L7 復習と小テスト、D8 バーでの英語表現を学ぶ。	L7 レストランの英語表現を復習し小テストで理解不十分な個所を知る。 L8 D1 バーでのご注文をお取りするその手順を確認して対応する英語表現を学ぶ。
第5週	L8 バーでの会話の復習 といままでの復習	L8 D1バーでの会話の確認と復習をする。 L8 バーでのカクテルやグラスなどの道具の英語表現を学ぶ。 ここで一度進度調整をする(理解不足の個所を確認して復習する。余裕があるクラスはL8D2に進む)
第6週	L8 小テストと L9 苦情 に対応する英語表現を学ぶ。	L8 バーに関する表現を復習して小テストを受け、理解不十分な個所を知る。 L9 ホテルでの苦情の表現をお客様の側から学ぶ。 L9 D1 騒音に関する苦情への対応を学ぶ。
第7週	L9 ホテルでの苦情の対応の英語表現を学ぶ。	L9 D2, D4 客室の苦情応ずる英語表現を学ぶ。 英語での申し訳ないという表現をいろいろな場面に対応して学ぶ。
第8週	L9 ホテルでの苦情の対応の英語表現を学ぶ。	L9 D7, 8, 9 レストラン関係の苦情に対応する英語表現を学ぶ。 お客様の苦情に対して、申し訳ないや少しお待ちいただくときの英語表現を学ぶ。
第9週	L9 復習と小テスト L10 緊急事態の時の英語表現を学ぶ。	L9 小テストで理解不十分な個所を知る。 L 10 D1 火事の時の避難誘導のポイントとその英語表現を学ぶ。 火事と地震の時では避難誘導が違う事を理解する。
第10週	L10 緊急時対応のポイントと後期総復習	L10 D2 ポイントとなる英語表現を学ぶ。 後期の総復習をしてテストに備える。
第11週	L10 D2～5 もう一度緊急時の対応のポイントとその英語表現を学ぶ。	L10 D2 地震の時の対応をお客様に説明できるようになる。 D3～5 お客様が体調不良の時の対応の英語表現を学ぶ。 L10 小テストで理解不十分な個所を知る。
第12週	テストの返却とその説明を受ける。	テストを返却してもらい、自分が理解不足だった個所を知る。 間違った個所を訂正して正しく理解できるようになる。 春の実習に向けて英語の勉強をどうすればいいのを知る。

後期シラバス

2016年度	後期			
対象学年	2年	対象クラス	ホテル科	Eクラス
科目名	ホテルマネジメント		担当講師	東山 善一
到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> 「マネジメント」とは何かを自分の視点で述べるができる。 ホテルの各部門のオペレーションを体系的にとらえることができる。 日本と欧米のホテルの違いについて働き方の違いなどから説明できる。 ホテルマネジメントにとって重要なことは何かを議論できる語彙や知識を身に着ける。 				
使用テキスト				
Powerpointで説明し、必要な場合は印刷物を配布します。				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
授業への取り組み姿勢・小テスト(コメントペーパー)・ワークショップでの評価75%、期末試験25%				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション1	課題に取り組んでいただきます。
第2週	オリエンテーション2	授業の進め方、評価方法などについて説明します マネジメントについて支配人(部門長)、総支配人、オーナー等の視点について学びます
第3週	オペレーション・マネジメント 宿泊(Room)	宿泊部門のオペレーションを業務プロセスの視点で整理します 宿泊オペレーションのマネジメントについて学びます 宿泊支配人の視点でのマネジメントについて考えます
第4週	オペレーション・マネジメント 宴会(Banquet & Conference)	宴会部門のオペレーションを業務プロセスの視点で整理します 宴会オペレーションのマネジメントについて学びます 宴会支配人の視点でのマネジメントについて考えます
第5週	ホテルの経営形態人事管理	日系の経営形態(所有・経営・運営)について学びます 日系ホテルと米国ホテルの人事労務(働き方)の違いについて学びます
第6週	オペレーション・マネジメント レストラン(Food & Beverage)	FB部門のオペレーションを業務プロセスの視点で整理します FBオペレーションのマネジメントについて学びます FB支配人の視点でのマネジメントについて考えます
第7週	オペレーション・マネジメント 会計	財務会計の概念について学びます 管理会計の概念について学びます
第8週	オペレーション・マネジメント 顧客管理(クレーム管理)	顧客管理のしくみについて学びます クレーム管理について学びます
第9週	リスクマネジメントと内部統制	企業コンプライアンスについて学びます ホテルにおけるリスクマネジメントについて考えます 業務におけるミスが会社に及ぼす影響について考え学びます
第10週	前期のまとめ	授業の重要な学習についておさらいします。 学生が「もう少し深く学びたい」講座について踏み込んで学びます
第11週	質疑	試験の解説と質疑応答を行います。 これまでの授業で説明できなかった質問を取り上げて解説します。
第12週	マネジャーの役割	マネジャーの仕事について考えます マネジャーの役割について考えます

後期シラバス

2016年度 後期			
対象学年	2年	対象クラス	ホテル科、ブライダル科 EI クラス
科目名	人間関係論	担当講師	長野広樹
<p>到達目標 人生や仕事をしていく中で、もっとも重要な「観点」のマネジメント能力形成をステップ的に理解していく。 自分自身の観点、他者の観点を認識をできる能力を実践力として形成し、 いかなる環境においても自ら人間関係、人生を構築できる実力を養う。 ※カリキュラムは、生徒自身の現在地など必要に応じて変更の可能性有り。</p>			
<p>使用テキスト 適宜プリント</p>			
<p>成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 レポート、小テスト、出席状況・態度など</p>			
	テーマ	授業内容	
第1週	どうして学校にくるの？	90分×12コマ=1080分の時間の中で、どんなことを行うのかのおおまかな構成を知り、主体的に授業に参加できるようになることを目的とする。メインとしては、多くの可能性があるなか、どうしてわざわざ学校にきて学ぶのか？何を学ぶのかについて自ら考える時間。	
第2週	仕事以上に大切なことは？	この授業では、仕事のみならず、その土台として大切なことについて考える。社会に入り、3年以内に辞めるまたは辞めたいと思う人は、かなりな数いるが、仕事だけではなく人生全体を俯瞰できるように発想していく。	
第3週	これから大切な能力とは？	実は、現在の教育で育つ人間と、現在の社会で求められる人間には大きな格差がある。これまでの授業での理解を元に、これから必要な力について考え、積極的に養っていく。	
第4週	どんな未来がやってくる？	具体的な社会で悩む事例をいくつかピックアップし、それぞれの状況に対し、自分だったらどう対応するのかなどを考える。さまざまなシチュエーションを通して、問題発見能力と問題解決能力を養う。	
第5週	あなただけの悩み？	社会に限らず、人間はあらゆるシーンで悩んだり、苦しんだり、葛藤したりするが、そういった時に、自分を責めたり、人を責めたり、環境のせいにしてみたりすることでは、実は何も解決しない。問題にぶち当たった時に「人間共通の限界」について整理する力を養うことで、ストレスから自由になる観方を養う。	
第6週	一番知るべきこととは？	すべての問題の本質にある人間(脳)の機能について理解する。人生、人間関係の悩みの本質、これからの時代に必要な力の本質について考え、これからの人生や、仕事で何を考えたらよいのかを理解する。	
第7週	人間関係は大変？	人生や仕事で実は一番悩むことが、人間関係と言われている。仕事を辞めたい理由としてトップ3が人間関係というデータもあるほど、多くの人がある問題を抱えているが、これまでの授業の理解を土台に、人間関係の仕組み、コミュニケーションの仕組みについても繋げて理解していく。	
第8週	あなたの力とは？	学歴や経験以上に大切なことは「可能性」。人間は、いつどんな時でも、可能性を秘めているが、知らないうちに自分自身や周りの目の中に閉じこもって、変化や成長、魅力を失ってしまう。これまでの授業の実践を通して、変化したポイントなどを自ら振り返る時間。	
第9週	今ここから、何を育む？	これからの限らず、今日の前でおきている人生、人間関係をどのように育てていくのか？この今の蓄積が未来を創っていく。「今ここ自分」の選択として、どんなことをトレーニングしていくと良いのかを考え実践していく。	
第10週	どんな出会いを重ねる？	人生の中で一人の人が出会うのは、大体3000人、その中で話すのは300人、その中で中が良いのは30人と言われる。限られた出会いの中で、その出会いをどう生かすのか？またその出会いにどうコントロールされてしまうのかは、自分の選択。どんな出会いを作り、どんな生き方をしていくのかを考え、トレーニングしていく。	
第11週	どんな人生を歩みたい？	これまでの10コマの授業を通して、一人ひとりの見聞や経験が大きく広がった。その中で、これからの未来自分自身がどう生きていくのかの未来の設計図を発想する。まずは、これまでの授業を自ら振り返り、これからのどう活用応用していくのかを考え、まとめる。	
第12週	どんな人間になって、何をやるのか？	本授業の総まとめとして、前回の授業で一人ひとりがまとめた未来の設計図を踏まえて、これまでの授業を振り返り、どんな人間になって(人)何をやるのか(生)という観点で整理する。	

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	1年	対象クラス	ブライダル科	Hクラス
科目名	ブライダルオペレーション		担当講師	田才 亜紀子
到達目標				
1. ホテル・ブライダル業界における宴会部門の役割を理解し、基礎知識を身に付ける 2. 披露宴の流れを理解し、必要なサービス動作を習得する				
使用テキスト 205教室備品、プリント適時				
成績評価方法 ※単位取得には、便覧どおり出席率75%以上を条件とする。 期末実技試験90%+平常点10%で評価				

	テーマ	授業内容
第1週	宴会とは？	・後期授業のオリエンテーション 授業の進め方、評価方法について ・実習の振り返り ・一般宴会と婚礼宴会の概要を理解する ・立食buffet
第2週	婚礼宴会を知る	・「挙式」と「披露宴」について ・サーバー①
第3週	婚礼宴会を知る	・テーブルプラン ・披露宴の流れを理解する ・サーバー②
第4週	その他のサービス	・披露宴での料飲サービス ・ワインサービス ・プラッターを使ったサービス
第5週	プチ披露宴準備①	・プチ披露宴準備 役割分担、テーブルプラン、衣装、進行内容、司会原稿、料理内容、音響、照明、装花、その他アイテム等について グループで決定
第6週	プチ披露宴準備②	・プチ披露宴準備 それぞれの役割に沿って、最終打ち合わせとリハーサルを行い、準備事項の最終確認を行う
第7週	プチ披露宴Aチーム	・授業内で、披露宴の一連の流れを再現し、スタッフの役割とお客様の役割を体験することによって、披露宴のサービスをより深く理解する
第8週	プチ披露宴Bチーム	・授業内で、披露宴の一連の流れを再現し、スタッフの役割とお客様の役割を体験することによって、披露宴のサービスをより深く理解する
第9週	その他宴会業務について	・プチ披露宴の振り返り ・法事のサービス ・ケータリング ・プロトコール の概要を理解する ・チューリンサービス
第10週	期末試験にむけて	・実技期末試験の課題発表、セッティング ・課題実技を各自練習
第11週	後期期末実技試験	・授業内で、期末実技試験を行う
第12週	後期期末実技試験	・授業内で、期末実技試験を行う ・期末試験結果フィードバック ・1年間の授業内容の振り返り、まとめ

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	1年	対象クラス	ブライダル科	Hクラス
科目名	プランナー実務		担当講師	田中 香利
到達目標 ・ブライダルプランナーになる為の基礎知識の習得 ・ブライダルプランナーとしてのウェディングシステムを使用した接客スキルの習得				
使用テキスト ・リアルウェディングアカデミー(RWA A-B) (制作コンテンツ保存用USBメモリー各自持参・プリントアウト後ファイリング用クリアファイル持参)				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 授業態度30% + 期末試験70%				

	テーマ	授業内容
第1週	前期振り返り A RWA-	■前期振り返り ■RWA-A 六輝表を活用してWEDDINGテーマを作成する
第2週	RWA-A	■料理の構成 チョイスMENU 組み合わせ ■フリードリンクとは ドリンクMENU 組み合わせ
第3週	RWA-A	■WEDDINGテーマ選定 ■シーン別 衣裳組み合わせパターン
第4週	RWA-A	■挙式進行・披露宴進行 教会式 ・ 人前式 披露宴進行
第5週	RWA-A	■披露宴BGM シーン別BGM選定
第6週	RWA-B	■BOOK II 振り返り ■BOOK III ブライダルアイテムの決定
第7週	RWA-B	■BOOK III 披露宴進行とプログラムの提案
第8週	RWA-B	■BOOK III 会場装花・ブーケなどの検討 ヘア・メイクの検討
第9週	RWA-B	■BOOK III 音響の検討
第10週	RWA-B	■BOOK III 中間見積もり提示と振込案内
第11週	RWA-B	■BOOK IV ギフトプランナー ゲストリスト作成
第12週	RWA-B	■BOOK IV ギフトプランナー 席次表作成

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	1年	対象クラス	ブライダル科	Hクラス
科目名	エレガンス表現MC演習		担当講師	立花 美和子
到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ●人前で自分の思いを伝えることができる ●正しい発声・発音を身につけ、聞き取りやすい話し方ができる ●披露宴までの準備・当日までの流れを把握し司会ができるようになる 				
使用テキスト				
●ブライダルMCテキスト				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
●実技テストでの評価とする				

	テーマ	授業内容	
第1週	前期の復習 後期学習の説明	発声。正しい発声の確認。 迎賓～新郎中座までの復習。 発声練習	
第2週	⑫再入場～⑬子供花束 (P.6)	2回目のお色直し 再入場までを学ぶ。 身だしなみチェック 発声練習	テキスト暗記
第3週	⑭友人スピーチ～⑮余興 (P.7)	友人スピーチ・余興までを学ぶ。 身だしなみチェック 発声練習	テキスト暗記
第4週	⑯お色直し退場～余興 (P.8)	お色直し退場(エスコート)・余興(デザートbuffet・プロフィールDVD)までを学ぶ。 身だしなみチェック 発声練習	テキスト暗記
第5週	⑰キャンドルサービス～⑱花束贈呈 (P.9,P10)	キャンドルサービス(ブーケブルズ)・手紙・花束贈呈までを学ぶ。 身だしなみチェック 発声練習	テキスト暗記
第6週	⑲両家代表謝辞～お開き (P.10,P11)	両家代表・新郎謝辞・退場・エンドロール・お見送りまでを学ぶ。 身だしなみチェック 発声練習	テキスト暗記
第7週	アドリブ・ハプニング対応	テキスト通りではなく、ハプニング・サプライズの対応を学ぶ。 インタビュー術を知る。プロフィールの作り方 身だしなみチェック 発声練習	
第8週	実技テスト 第1回		
第9週	実技テスト 第2回	前期と同じく1名ずつ MC卓にてシミュレーションテスト (発声・コメント・タイミング・表情などに気を付ける) ※他は、新郎新婦・ゲスト他の役割分担し立場を学ぶ。	
第10週	実技テスト 第3回		
第11週	総復習	迎賓～お開きまでのMC役割の復習。 打合せ～当日までの流れ・時間配分などを復習。	
第12週	まとめ (チャレンジ精神を持つ)	前期と後期を振り返って、質問・感想。 最近の披露宴の特徴。	

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	1年	対象クラス	ブライダル科	Hクラス
科目名	ブライダル業界研究		担当講師	船藏 大志
到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・今授業を通じて、ブライダル業界に求められる人材やお客様のニーズを知る。 ・ウェディングプランナーとして活躍の場を把握し、そのフィールドでの業務内容を熟知する。 ・プランナーとして必要な「ヒアリング能力」「企画力」「提案力」を身に付ける。 				
使用テキスト				
・オリジナルテキスト				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
・平常点20点 + 提出物評価20点 + 発表評価点60点				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・今授業概要と、採点・評価方法について説明します。 ・前期授業の復習を行います。
第2週	夏季実習先の企業研究	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季実習を振り返り、実習した「ホテル」や「式場」の特徴を研究・強みと弱みを見つけ出します。 ・見つけ出した強みから、どんな企画や演出が提案できるかを考えます。
第3週	ホテルvs専門式場①	<ul style="list-style-type: none"> ・「ホテル」「式場」をピックアップし、違いや両者の強み・弱みを見つけ出します。 ・そのホテルや式場で考える、おすすめの演出・進行内容について考えます。 ・プレゼンテーション準備をします。
第4週	ホテルvs専門式場②	<ul style="list-style-type: none"> ・「ホテル」「式場」をピックアップし、違いや両者の強み・弱みを見つけ出します。 ・そのホテルや式場で考える、おすすめの演出・進行内容について考えます。 ・プレゼンテーション準備をします。
第5週	ホテルvs専門式場③	<ul style="list-style-type: none"> ・2社を比較し、プレゼンテーションを行います。 ・プレゼンテーション内容への質問・評価を行います。
第6週	ホテルvsホテル①	<ul style="list-style-type: none"> ・2社のホテルをピックアップし、違いや両者の強み・弱みを見つけ出します。 ・そのホテルや式場で考える、おすすめの演出・進行内容について考えます。 ・プレゼンテーション準備をします。
第7週	ホテルvsホテル②	<ul style="list-style-type: none"> ・2社のホテルをピックアップし、違いや両者の強み・弱みを見つけ出します。 ・そのホテルや式場で考える、おすすめの演出・進行内容について考えます。 ・プレゼンテーション準備をします。
第8週	ホテルvsホテル③	<ul style="list-style-type: none"> ・2社のホテルをピックアップし、違いや両者の強み・弱みを見つけ出します。 ・そのホテルや式場で考える、おすすめの演出・進行内容について考えます。 ・プレゼンテーション準備をします。
第9週	志望企業研究①	<ul style="list-style-type: none"> ・ブライダルに携わる多くの企業・業態を知り、実際に志望企業の絞り込みを行います。 ・8週目までの研究を通じて、その企業の強みと弱みを見つけ出します。
第10週	志望企業研究②	<ul style="list-style-type: none"> ・ブライダルに携わる多くの企業・業態を知り、実際に志望企業の絞り込みを行います。 ・8週目までの研究を通じて、その企業の強みと弱みを見つけ出します。 ・テストの出題範囲について説明します。
第11週	志望企業研究③	<ul style="list-style-type: none"> ・8週目までの研究を通じて、その企業の強みと弱みを見つけ出します。 ・「自分の志望する企業」「周囲が研究している企業」を比較し、その違いを見つけ出します。 ・テストの返却、回答を行います。
第12週	志望企業研究④	<ul style="list-style-type: none"> ・8週目までの研究を通じて、その企業の強みと弱みを見つけ出します。 ・「自分の志望する企業」「周囲が研究している企業」を比較し、その違いを見つけ出します。

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	1年	対象クラス	ブライダル科	Hクラス
科目名	和の作法		担当講師	長野 美穂
到達目標				
基本的な着物の知識、和室での所作を身に付ける 着物の基本的な着付けができるようになる(他装)				
使用テキスト なし				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点(授業態度、出席率)20% 実技試験80%				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	着物の扱い方・たたみ方 着物の素材、つくりを学びます。小紋・腰紐のたたみ方をマスター
第2週	襦袢を着る	下着・補整について 襦袢の着方を学びます。特に衿合わせと衣紋抜きを重点的に行います
第3週	小紋を着付ける	小紋の着付ける 襦袢、つけ衿の上から着物を着付ける手順を覚えさせます
第4週	小紋を着付ける	小紋を着る 前回の復習。より美しく。特に衿合わせと背縫いをチェックします
第5週	小紋を着付ける	半幅帯(他装) 文庫をマスター。相手のイメージに合わせた帯結び
第6週	小紋を着付ける	半幅帯(自装) 自分で着る
第7週	小紋を着付ける	名古屋帯(他装) まず帯揚げ、帯締め結び方を練習。 名古屋帯結びを他装でチャレンジ!
第8週	小紋を着付ける	名古屋帯 最後まで。
第9週	実技試験にむけて	ひたすら練習 実技試験の詳細を発表(制限時間、仕上がりのポイントなど)
第10週	実技試験にむけて	ひたすら練習
第11週	実技試験にむけて	ひたすら練習
第12週	実技試験	実技試験 試験後、全員で記念撮影!

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	1年	対象クラス	ブライダル科	Hクラス
科目名	カラーコーディネイト	担当講師	小川 智子	
到達目標 カラーコーディネーター検定3級 合格を目指す。(12月4日受験予定) コーディネーターとしての色彩知識とコーディネート能力を身につける。				
使用テキスト カラーコーディネーションの基礎 3級 公式テキスト カラーコーディネーター検定試験 3級 問題集				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 検定模擬テスト … 60% 平常点 … 40% (提出物, 授業態度, 検定合否) ※検定試験(12月4日受験予定)を受験しない場合は50点減点とする。				

	テーマ	授業内容
第1週 9/28	6章 色が見える仕組み	2節 眼の変化による色覚の多様性 3節 色の見えを決める要因 について学ぶ 各項目の内容を理解し練習問題へ取り組む
第2週 10/5	7章 色の測定	1節 色の測定の種類 について学ぶ 各項目の内容を理解し練習問題へ取り組む
第3週 10/12	7章 色の測定	2節 三原色を使った色表示 について学ぶ 各項目の内容を理解し練習問題へ取り組む
第4週 10/19	8章 混色と色再現	1節 混色の原理 2節 色再現の方法 について学ぶ 各項目の内容を理解し練習問題へ取り組む
第5週 10/26	要点整理と模擬テスト	過去問題に挑戦する 解答と解説(難問の理解を深める)
第6週 11/2	模擬テスト	過去問題に挑戦する 解答と解説(難問の理解を深める)
第7週 11/9	模擬テスト	過去問題に挑戦する 解答と解説(難問の理解を深める)
第8週 11/16	模擬テスト	過去問題に挑戦する 解答と解説(難問の理解を深める)
第9週 11/30	模擬テスト	過去問題に挑戦する 解答と解説(難問の理解を深める)
第10週 12/7	自己採点と復習	検定問題の内容解析と自己採点の実施 全体のまとめを行う 商品に見るカラー提案について学ぶ
第11週 1/18	カラーコーディネート実習	エントリーシートのカラーコーディネート① 色を使った表現方法と色鉛筆の使い方を学ぶ グループワークを通して自己分析を行い絵的表現に繋げる
第12週 1/25	カラーコーディネート実習	エントリーシートのカラーコーディネート② エントリーシートを作成する

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	1年	対象クラス	ブライダル 科	H クラス
科目名	フラワーアカデミー		担当講師	小佐井 由美
到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ブライダル業務に携わる上で必要な花の知識の習得 				
使用テキスト				
<ul style="list-style-type: none"> 各授業単位で必要な場合は資料を制作。配布します。 				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
<ul style="list-style-type: none"> 授業態度、小テスト(20%) 期末テスト(80%) 				

	テーマ	授業内容
第1週	花の造形知識②	ウェディングによく使用されるお花の紹介と商品例(秋～冬)
第2週	ウェディングブーケ概論②	ブーケのかたち、種類、トレンド、ドレスとの相性を知る(秋～冬)
第3週	花に触れる④ - リングピロー制作 -	プリザーブドフラワーやアーティフィシャルフラワーを使ってクラッチブーケ制作実習 リングピローの種類や用途を知る
第4週	バンケット商品アイテムの知識	バンケット商品の種類と用途、合わせて提案できる小物等アイテムの紹介と知識習得
第5週	ウェディングとアロマ - 五感に働きかける -	植物の香りの種類、心理効果、注意点を知り、五感に残るウェディングシーンの提案を知る 代表的な香りを自身で体感し、感覚を知る。
第6週	装花コーディネート①	場所別スタイル別の基礎知識習得 チャペル・パブリックスペース・外エントランス・受付装飾のバリエーションやデザインを紹介
第7週	花に触れる⑤ - ミニブーケ&コサージュ制作 -	小さなウェディングブーケとコサージュの制作実習 ワイヤリングの仕方(応用)とグルーガン使用方法、リボン作り、ラッピングの仕方を知る
第8週	装花コーディネート②	場所別スタイル別の基礎知識習得 会場内装花・ビュッフェ装花・バックフラワーのバリエーションやデザインを紹介
第9週	花に触れる⑥ - フレッシュリース制作 -	卓上装花をイメージしながら、生花の針葉樹を使ってフレッシュリースの制作実習 中心にキャトルを置くことで卓上装花にかわることを知る 季節の香りを満喫しながら、植物の息吹と季節を楽しむ
第10週	後期試験について	後期、ブライダル担当としてのフラワー知識についてのまとめ 試験範囲や重要な部分の復習 後期不明な点の質疑応答
第11週	後期試験のフィードバック	後期試験のフィードバック 自身で体験してきたウェディングにおける花の提案の仕方や事例の紹介
第12週	まとめ	前期後期を通して不明な点質疑応答、レポート提出

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	1年	対象クラス	ブライダル科	Hクラス
科目名	マナープロトコール		担当講師	大江 裕子
到達目標 社会で常識とされる礼儀作法とマナー、国際プロトコール全般の知識を身につけ、実際の場面で振る舞いができるようになることを目指す。 習得をはかる基準として、マナープロトコール検定3級の合格を目標とする。				
使用テキスト 「さすが！」といわせる大人のマナー講座(マナープロトコール検定標準テキスト)				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 上記を満たした上で、期末試験80%、授業確認テスト20%で成績を評価する。				

	テーマ	授業内容
第1週	第5章 食事のマナー	テーブルマナーの基本(なぜ必要か、食文化の特徴)を学ぶ 日本料理の基礎知識を学び和食のマナーを知る 和室でのマナーを学び、同時に日本文化や歴史の知識を身につける
第2週	第5章 食事のマナー	西洋料理(テーブルセッティング、カトラリーの使い方、席次)の基本を学ぶ 中国料理(席次、いただきかた、タブー)の基本を学ぶ その他各国(韓国、インドなど)の食事文化を学び、マナーを身につける
第3週	第5章復習	第5章食事のマナー確認テストを行い、解答解説を行う 理解できていない箇所を復習する
第4週	第7章 「冠」のしきたり	日本の主な通過儀礼について学ぶ 出産祝い、七五三のお祝い、入園、入学祝、お祝い事の由来としきたりを学ぶ
第5週	第8章 「婚」のしきたり	婚約・結納の意味と内容を学ぶ 結婚式の種類や準備までの準備。服装、招待客(受付、会場)のマナーを学ぶ
第6週	第9章 「葬」のしきたり	葬送儀礼の今と昔を学び種類の基本を知る 法要のしきたりを学び「葬」の基本を身につける
第7週	第10章 「祭」のしきたり	日本の主な年間行事を学ぶ 日本の行事を学び日本人としての接遇が出来る知識を増やす
第8週	第7章～第10章復習	第7章～第10章確認テストを行い、解答解説を行う 理解できていない箇所を復習する
第9週	検定対策①	プロトコールマナー過去問題を実際検定時間に設定し実施する 全授業の重要ポイントを挙げて再確認する
第10週	検定対策②	プロトコールマナー過去問題を実際検定時間に設定し実施する 全授業の重要ポイントを挙げて再確認する
第11週	検定対策③	プロトコールマナー過去問題を実際検定時間に設定し実施する 全授業の重要ポイントを挙げて再確認する
第12週	期末試験解説	検定試験および期末試験の解説 実際の場面で知識を発揮できるようにロールプレイングで身につける

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	1年	対象クラス	ブライダル科	Hクラス
科目名	面接対策		担当講師	大江 裕子
到達目標 模擬面接を通して、自分に足りないものは何か、それを補うには何をすべきかを考え、就職の目標と内定課題を明確にする 個別指導を通して、自分の課題に気づき、就職活動での自己表現力を伸ばす				
使用テキスト プリント(授業毎に配布)				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 実技試験50% 平常点50%(身だしなみ、出席、提出物、ノート記入内容)				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	面接対策受講の心得、就職活動の留意点を知る 一分間スピーチ実践(話し方、聞き方、発表の手順を学ぶ) 就職活動計画や課題を作成し、就職活動への意識を高める
第2週	集団面接演習Ⅰ	実際の面接を想定して集団面接(ビデオ撮影) 実際の面接体験を行い、感想、質問、今後の課題をまとめる 先輩内定者の就職活動記録と自身の課題と比較しながら就職活動への意識を見直す
第3週	集団面接演習Ⅱ	撮影公開し自身の面接を振り返り、今後の課題を見直す 今後の課題を発表し、クラス内で互いの目標を知り、就職活動への意識を高める
第4週	集団面接演習Ⅲ	面接試験の実際(面接の種類、面接官のタイプ)について学ぶ 面接知識を学び、集団面接の目的や採用ポイントを理解する 面接マナーを学び、日常生活上で身に着けることを意識できる
第5週	集団面接演習Ⅳ	入室～退室までの面接の流れを実践できるようになる 話はじめ～応答中の態度、注意点を、他学生を見て客観的意見を養う 面接中の視線の置き方や質疑応答での注意事項を知る
第6週	グループディスカッション	グループディスカッションとは何かを知る チェックポイントとディスカッション対策を理解する 担当役割を理解し、自分自身がどの担当に向いているかを知ることが目的とする
第7週	グループディスカッション	過去問題を参考にディスカッションを実践 自分の強みや弱点を知りまとめる ディスカッション担当役割の特徴を知り実際の面接で発揮できることを目的とする
第8週	実技試験Ⅰ(期末)	グループディスカッションのまとめと実践(過去出題例を基に行う) ポイントを確認し面接の完成度を高める 実技試験の振り返りを行い、自分自身の課題を見直し、実際の面接直前に備える
第9週	質疑応答対策	アンサー作りのポイントやまとめ方を確認し、自分をアピールする方法を知る 質疑応答の答え方やポイントを確認し面接の完成度を高める 実際によく聞かれる質問内容を知り、応答練習を重ねる
第10週	質疑応答対策	集団・個人面接のまとめと実践(過去出題例を基に行う) ポイントを確認し面接の完成度を高める 全授業の見直しやポイントを確認し、本番の面接に備える
第11週	実技試験Ⅱ(期末)	試験中は他己評価することで採用側の目線に立ち自己の面接に役立てる力をつける 自己・他己評価表の提出
第12週	総まとめ・振り返り	就職活動計画や課題の見直しをして現状を発表(面談も含める) 自己・他己評価表を振り返る、実技試験評価やフィードバックを確認する 実際の面接に備えて、自身の課題を作り、面接に備えることが出来る

後期シラバス

2016年度 後期									
対象学年	1	年		対象クラス		ブライダル科		Hクラス	
科目名	就職活動講座			担当講師	安部 紀美江				
到達目標									
<ul style="list-style-type: none"> ・就職活動の重要性を認識させると同時に基本的な所作を体得させる。 ・就職試験の為の具体的方法を習得させ、合格をめざす。 									
使用テキスト									
<ul style="list-style-type: none"> ・「NEW SUCCESS 勝つための就職ガイド」 ・就職ノート ・オリジナルレジュメ 									
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。									
<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの作成内容と授業態度・・・50% ・作成提出物による評価・・・50% 									
	テーマ			授業内容					
第1週	オリエンテーション			<ul style="list-style-type: none"> ・前期を振り返り、自己PRの再確認をする。 ・後期シラバス説明 ・前期での学習を活かし、実習体験を使った自己PRを作成する。 					
第2週	自己PR作成			<ul style="list-style-type: none"> ・前週に引き続き、実習体験を使った自己PRの完成品を作成する。 					
第3週	志望動機の作り方			<ul style="list-style-type: none"> ・あるブライダル業者をモデルケースとして、パンフレットや資料を駆使して志望動機の作り方を学ぶ。 ・志望動機作成に必要な文言や自己PRとの関連性について考えていく。 ・モデルケースの志望動機を作ってみる。 					
第4週	志望動機の作り方			<ul style="list-style-type: none"> ・前週に引き続き、モデルケースの志望動機を完成させる。 ・個人の進捗状況に応じて履歴書用と面接用との使い分けをした志望動機を作成する。 ・個人別の添削で個々人が持つ問題点がわかるようになる。 					
第5週	志望動機の作り方			<ul style="list-style-type: none"> ・あるホテルをモデルケースとして、パンフレットや資料を駆使して志望動機の作り方を学ぶ。 ・志望動機作成に必要な文言や自己PRとの関連性について考えていく。 ・モデルケースの志望動機を作ってみる。 					
第6週	企業研究			<ul style="list-style-type: none"> ・企業研究の重要性と企業研究シートの作成方法を学ぶ。 ・情報収集の必要性とその収集方法ができるようになる。 ・企業開催セミナー・説明会に参加する意味と就活への活用方法をわかるようになる。 					
第7週	企業研究(ブライダル業界)			<ul style="list-style-type: none"> ・エントリーシートとは何かを理解し、就活にとっての第一歩であることを認識できるようになる。 ・エントリーシートの効果的な作成方法を学び、どう活用するかを考える。 ・過去のエントリーシートを使って、実際にエントリーシートを書いてみる。 					
第8週	企業研究(ブライダル業界)			<ul style="list-style-type: none"> ・前週に引き続き、エントリーシートを完成させる。 ・個人別の添削で個々人が持つ問題点がわかるようになる。 					
第9週	企業研究(ホテル業界)			<ul style="list-style-type: none"> ・エントリーシートとは何かを理解し、就活にとっての第一歩であることを認識できるようになる。 ・エントリーシートの効果的な作成方法を学び、どう活用するかを考える。 ・過去のエントリーシートを使って、実際にエントリーシートを書いてみる。 					
第10週	企業研究(ホテル業界)			<ul style="list-style-type: none"> ・前週に引き続き、エントリーシートを完成させる。 ・個人別の添削で個々人が持つ問題点がわかるようになる。 					
第11週	面接対策			<ul style="list-style-type: none"> ・面接の形式の種類や実施される時点と注意点を学び、本番に向けた心構えができるようになる。 ・面接の受け答えチェックポイントを知り、自らの面接に活かせるようになる。 					
第12週	面接対策			<ul style="list-style-type: none"> ・よくある面接質問を繰り返し練習することで、本番での受け答え内容を準備して自信をもって臨めるようになることを目的とする。また、個人別の添削で個々人が持つ問題点がわかるようになる。 ・内定後にしなければいけないことを学び、入社までの処し方がわかるようになる。 					

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	1年	対象クラス	ブライダル科	Hクラス
科目名	ブライズビューティー		担当講師	金礪 暁子
到達目標 ウエディングプランナーとして必要な知識を学ぶ				
使用テキスト プリント配布 第3週と第7週はタオルやダッカーを使用するため各自で確認して持参すること				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	自分を知ること・相手を知ること学ぶ 目標をもつことの大切さやこの授業を通してどうなりたいかを考える
第2週	ビジネスメイク	ビジネスマナー・ビジネスメイク 皮膚構造と化粧品の必要性 肌トラブルの原因とお手入れ方法
第3週	正しい化粧品の使い方	化粧品の基本を体験を通して学びブライダルプランナーとしての知識を深める ※ダッカール・鏡・タオルを使用します
第4週	ファンデーションの基本	ファンデーションの大切さ・ファンデーションの大切さ アイメイクの基本と色の持つ特性や印象を学ぶ
第5週	ブライダルメイク	ドレスの形に合わせたメイクや個性の活かし方 メイクの基本を学ぶ
第6週	カクテル・和装メイク	カクテルドレスに合わせた色の選び方 和装メイクについて チークやリップが与える印象
第7週	ブライダルエステ	ブライダルエステの目的や必要性を学ぶ ※タオルを使用します
第8週	ブライダルメイクの練習	ブライダルメイクを相モデルで練習する 体験から学んだことをディスカッションする
第9週	ロールプレイング①	グループに分かれてブライダルプランを作成する
第10週	ロールプレイング②	グループ毎に発表(1グループ10分程度)
第11週	接客とは	接客の原点・心構え 選ばれるプランナーになるために
第12週	総まとめ	これまでの授業を通して学んだことや活かしていきたいことなどをグループでディスカッションし発表する

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	2年	対象クラス	ブライダル科	1クラス
科目名	ABC検定対策		担当講師	船藏 大志
到達目標 ・ブライダル業界の仕組み・成り立ちを復習し、検定対策をする ・アシスタント・ブライダル・コーディネーター検定(ABC検定)の趣旨を理解する ・ABC検定への合格				
使用テキスト ・ABC検定テキスト ・オリジナルテキスト				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点20点 + 期末テスト80点				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	・2016年度後期授業内容の解説(シラバスの説明) ・ABC検定概要の理解 ・ブライダル業界内から出題範囲の把握
第2週	結婚の定義・言い伝え	・日本、海外における「結婚の定義・概念」の理解(法令・制度) ・日本、海外における「結婚に関する言い伝え」の理解 ・上記に関する過去問題出題
第3週	歴史・お見合い・結納	・「結婚式の歴史」について理解 ・「お見合い」「結納」についての理解 ・上記に関する過去問題出題
第4週	挙式	・現在の日本において行われる「挙式」の目的・概要について理解 ・挙式別の進行内容やアイテムの理解 ・上記に関する過去問題の出題
第5週	披露宴	・挙式後に行われる「披露宴」の目的・概要について理解 ・披露宴時、お客様に提供するサービスや演出の理解 ・上記に関する過去問題の出題
第6週	ブライダルコンテンツ①	・挙式・披露宴で新郎新婦がお召しになる「衣裳」や「装花」について理解 ・「婚約指輪」「結婚指輪」の違いと、指輪の種類について理解 ・上記に関する過去問題の出題
第7週	ブライダルコンテンツ②	・招待状や席次表をはじめとする「ペーパーアイテム」の種類について理解 ・新郎新婦がゲストへ贈るギフト「引き出物」の種類について理解 ・上記に関する過去問題の出題
第8週	ブライダルコンテンツ③	・①②以外のコンテンツ「司会」「音響」「写真」「ブライダルエステ」についての理解 ・「業界の仕組み」「近年の動向」について把握 ・上記に関する過去問題の出題
第9週	過去問題の出題①	・8週までの授業を踏まえた、過去問題の出題(回答目標70点) ・今授業テスト範囲の把握
第10週	過去問題の出題②	・9週までの授業を踏まえた、過去問題の出題(回答目標70点) ・今授業テスト範囲の把握
第11週	過去問題の出題③	・今授業テストの返却・回答 ・10週までの授業を踏まえた、過去問題の出題(回答目標80点)
第12週	過去問題④	・11週までの授業を踏まえた、過去問題の出題(回答目標80点)

後期シラバス

2016年度 後期				
対象学年	2年	対象クラス	ブライダル科	1クラス
科目名	プランニング		担当講師	田中 香利
到達目標 ・ブライダル業界の集客戦略の取得 (ブライダルフェア企画・プラン作成・ゼクシ誌面作成)				
使用テキスト ・リアルウェディングアカデミー(RWA A-B) ・ブライダル広告媒体ゼクシィ ・ハサミ・のり等 (制作コンテンツ保存用USBメモリー各自持参・プリントアウト後ファイリング用クリアファイル持参)				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 授業態度30% + 期末試験70%				

	テーマ	授業内容
第1週	ブライダル広告戦略とは	■前期振り返り ■ブライダル広告戦略 とは
第2週	ゼクシィ媒体効果	■ゼクシィ媒体・広告効果 ■広告宣伝費用とその効果
第3週	みんなのウェディング ウェディングパーク WEB効果	■みんなウェディングWEBからの集客効果 ■ウェディングパークWEBからの集客効果
第4週	ゼクシィ広告を作成①	■ゼクシィ広告掲載の時期 ■広告年間スケジュール ■年間広告宣伝費用予算
第5週	ゼクシィ広告を作成②	■掲載用トップタイトル選定 ・集客目的・集客時期
第6週	ゼクシィ広告を作成③	■掲載用画像選定 ・メインビジュアル ・衣食住別ビジュアル
第7週	ゼクシィ広告を作成④	■掲載用プラン選定／画像選定
第8週	ゼクシィ広告を作成⑤	■掲載用フェア選定／画像選定 ・フェア日程 ・フェア詳細
第9週	ゼクシィ広告を作成⑥	■掲載用特典選定／画像選定 ・来館特典
第10週	ゼクシィ広告を作成⑦	■掲載用特典選定／画像選定 ・成約特典
第11週	ゼクシィ広告まとめ①	■まとめ グループ毎に発表
第12週	ゼクシィ広告まとめ②	■まとめ グループ毎に発表

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	2年	対象クラス	ブライダル科	1クラス
科目名	セレモニープロデュースⅠ	担当講師	船藏 大志	
到達目標 ・人前式のプロデュースを通して、各セクションの具体的な役割・プランニング方法を理解する。 ・チームでプロジェクトを成功させるために、自分の役割を考え行動する手段を理解する。 ・ブライダル業界の業態について理解する。 (セレモニープロデュースⅡ授業合同)				
使用テキスト ・オリジナルテキスト				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点20点 + 期末テスト80点				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・2016年度前期後半授業の振り返り・反省を行います。 ・2016年度後期授業内容の解説を行います。(シラバス・演習内容の説明) ・人前式という挙式形式について理解します。
第2週	人前式進行の作成①	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマに沿った人前式の進行内容を考えます。 ・進行内容に沿って、必要な物・役割を考えます。
第3週	人前式進行の作成③	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマに沿った人前式の進行内容を考えます。 ・進行内容に沿って、必要な物・役割を考えます。
第4週	行動計画書作成	<ul style="list-style-type: none"> ・演習準備を進めるため、行動計画書を作成します。 ・行動計画を、全員で共有します。
第5週	人前式リハーサル①	<ul style="list-style-type: none"> ・作成した進行内容に沿って、各自の動きを確認します。 ・各自の動きを、全員で共有します。
第6週	人前式リハーサル②	<ul style="list-style-type: none"> ・作成した進行内容に沿って、各自の動きを確認します。 ・各自の動きを、全員で共有します。
第7週	人前式リハーサル③	<ul style="list-style-type: none"> ・作成した進行内容に沿って、各自の動きを確認します。 ・各自の動きを、全員で共有します。
第8週	人前式リハーサル④	<ul style="list-style-type: none"> ・作成した進行内容に沿って、各自の動きを確認します。 ・各自の動きを、全員で共有します。
第9週	人前式リハーサル⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・作成した進行内容に沿って、各自の動きを確認します。 ・各自の動きを、全員で共有します。
第10週	進行内容最終確認① 後期テスト対策	<ul style="list-style-type: none"> ・人前式当日に向けて、全員が自分の役割を理解できているか確認を行います。 ・人前式当日に向けて、必要な物が全て揃っているか確認を行います。 ・テストの出題範囲について確認します。
第11週	演習振り返り① 後期テストの解説	<ul style="list-style-type: none"> ・テストの回答・解説を行います。 ・2016年度後期授業の振り返り・反省を行います。
第12週	演習振り返り③	<ul style="list-style-type: none"> ・演習で使用したものの片付けを行います。 ・2016年度後期授業の振り返り・反省を行います。

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	2年	対象クラス	ブライダル科	1クラス
科目名	セレモニープロデュースⅡ	担当講師	船藏 大志	
到達目標 ・人前式のプロデュースを通して、各セクションの具体的な役割・プランニング方法を理解する。 ・チームでプロジェクトを成功させるために、自分の役割を考え行動する手段を理解する。 ・ブライダル業界の業態について理解する。 (セレモニープロデュースⅠ授業合同)				
使用テキスト ・オリジナルテキスト				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点20点 + 演習準備の進捗状況80点				

	テーマ	授業内容
第1週	人前式テーマの作成	<ul style="list-style-type: none"> 人前式の基本的な進行内容について理解します。 人前式にテーマを設定し、共有します。 テーマに沿って進行内容を考えます。
第2週	人前式進行の作成②	<ul style="list-style-type: none"> テーマに沿った人前式の進行内容を考えます。 進行内容に沿って、必要な物・役割を考えます。
第3週	進行内容の完成	<ul style="list-style-type: none"> 進行内容を完成させます。 進行内容に沿って、必要な物・役割を考えます。
第4週	空間演出制作作業①	<ul style="list-style-type: none"> テーマに基づいて、人前式時に使用する装飾品を製作します。 制作物を全員で共有します。
第5週	空間演出制作作業②	<ul style="list-style-type: none"> テーマに基づいて、人前式時に使用する装飾品を製作します。 制作物を全員で共有します。
第6週	空間演出制作作業③	<ul style="list-style-type: none"> テーマに基づいて、人前式時に使用する装飾品を製作します。 制作物を全員で共有します。
第7週	空間演出制作作業④	<ul style="list-style-type: none"> テーマに基づいて、人前式時に使用する装飾品を製作します。 制作物を全員で共有します。
第8週	空間演出制作作業⑤	<ul style="list-style-type: none"> テーマに基づいて、人前式時に使用する装飾品を製作します。 制作物を全員で共有します。
第9週	人前式リハーサル⑥	<ul style="list-style-type: none"> 作成した進行内容に沿って、各自の動きを確認します。 各自の動きを、全員で共有します。
第10週	進行内容最終確認②	<ul style="list-style-type: none"> 人前式当日に向けて、全員が自分の役割を理解できているか確認を行います。 人前式当日に向けて、必要な物が全て揃っているか確認を行います。
第11週	演習振り返り②	<ul style="list-style-type: none"> 演習で使ったものの片付けを行います。 2016年度後期授業の振り返り・反省を行います。
第12週	これからのブライダル業界	<ul style="list-style-type: none"> 今度のブライダル業界についての授業を行います。 2016年度今授業の総括を行います。

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	2 年	対象クラス	ブライダル科	I クラス
科目名	トレンド研究		担当講師	小川 智子
到達目標 ブライダルプランナーとしての視点から、トレンドを理解し将来的な流行を見据える能力の向上を目指す。				
使用テキスト プリント他				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 発表の内容と授業態度 … 50% 提出物による評価 … 50%				

	テーマ	授業内容
第1週 9/28	トレンドとは	分野, 業界ごとのトレンドの仕組みを理解する
第2週 10/5	トレンドの歴史	ファッションを中心にトレンドの歴史について理解を深める
第3週 10/12	シネマの中のトレンド	各時代のトレンドを生んだ映画についての知識を深める
第4週 10/19	食品のトレンド①	食品業界の種類と特徴を知る グループワーク
第5週 10/26	食品のトレンド②	発表
第6週 11/2	ファッションのトレンド①	ファッション業界の種類と特徴を知る グループワーク
第7週 11/9	ファッションのトレンド②	発表
第8週 11/16	雑貨, 宝飾のトレンド①	雑貨, 宝飾の種類と特徴を知る グループワーク
第9週 11/30	雑貨, 宝飾のトレンド②	発表
第10週 12/7	クリスマスのトレンド	クリスマスのトレンドについて知識を深める
第11週 1/18	2017年のトレンド予想①	ファッション, 食品, 雑貨その他のトレンド予想をトータルでまとめる グループワーク
第12週 1/25	2017年のトレンド予想②	発表

後期シラバス

2016年度 後期				
対象学年	2年	対象クラス	ブライダル科	選択クラス
科目名	HRSセミナーⅡ(実技)		担当講師	田才 亜紀子
到達目標 ホテルレストランにおける基本的なサービス方法・ルール・事故対処方法・食事のマナーを学び HRS 3級実技試験合格を目指す				
使用テキスト 103教室備品 プリント適時				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末試験90% 併せて平常点10%を加味して評価する				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・後期授業進め方説明 ・28年度実技試験想定シナリオ説明 サービスのポイント復習 ・事故パターン、対処方法説明
第2週	HRSにむけて	<ul style="list-style-type: none"> ・課題内容の動作を確実に身につける ・時間計測しながら、8分以内で一連の流れを行う ・最終チェック、弱点を洗い出し、克服
第3週	HRSにむけて	<ul style="list-style-type: none"> ・課題内容の動作を確実に身につける ・時間計測しながら、8分以内で一連の流れを行う ・最終チェック、弱点を洗い出し、克服
第4週	HRSにむけて	<ul style="list-style-type: none"> ・課題内容の動作を確実に身につける ・時間計測しながら、8分以内で一連の流れを行う ・最終チェック、弱点を洗い出し、克服
第5週	HRS振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・HRS試験を終えての各自振り返り ・本年度試験内容の聞き取り調査
第6週	期末試験にむけて	<ul style="list-style-type: none"> ・HRS実技試験の内容で期末試験 ・範囲・課題発表 ・期末試験に向けての練習
第7週	期末試験①	<ul style="list-style-type: none"> ・H28年度HRS実技試験の内容をもとに授業内で実技試験を行う
第8週	期末試験②	<ul style="list-style-type: none"> ・H28年度HRS実技試験の内容をもとに授業内で実技試験を行う ・期末試験内容フィードバック
第9週	料飲研究①	<ul style="list-style-type: none"> ・ターゲット決定 ・ターゲットにあわせたレストラン・商品の企画
第10週	料飲研究②	<ul style="list-style-type: none"> ・テーブルコーディネート作成 ・HPレイアウト、内容の決定
第11週	料飲研究③	<ul style="list-style-type: none"> ・作成したHPを基に、プレゼンテーション ・優秀作品決定
第12週	振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間の授業の振り返り、就職にむけて

トラベル科 鉄道科

トラベル・鉄道

学年	科目名	クラス	ページ
1	国内観光地理	K	60
1	海外観光地理	K	61
1	カウンター販売	K	62
1	アクセス	K	63
1	添乗業務	K	64
1	ツアープランニング	K	65
1	海外実務	K	66
1	旅行業英語	K	67
1	面接対策	K	68
1	就職活動講座	K	69
1	面接対策	K	70
2	国内観光地理	L	71
2	海外観光地理	L	72
2	ワールドカルチャー	L	73
2	インバウンド概論	L	74

鉄道

学年	科目名	クラス	ページ
1	鉄道概論	M	75
1	鉄道基礎	M	76
1	鉄道係員	M	77
1	鉄道サービス（パーサー）	M選択	78
1	鉄道車両Ⅰ（電車）	M選択	79
1	鉄道車両Ⅱ（気道車）	M選択	80
1	鉄道駅実務	M選択	81
1	時刻表	M	82
1	鉄道業界研究	M	83
1	サービス介助士	M	84
1	国内観光地理	M	85
1	就職活動講座	M	86
1	就職筆記対策Ⅰ	M	87
1	就職筆記対策Ⅱ	M	88
1	就職筆記対策Ⅲ	M	89
1	ペン字	M	90
2	鉄道概論Ⅳ	N	91
2	鉄道実務	N	92
2	鉄道業界就業前教育	N	93
2	鉄道旅行プランニング	N	94
2	手話	N	95

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	1年	対象クラス	トラベル科	Kクラス
科目名	国内観光地理		担当講師	挽田 雅子
到達目標				
<p>国内の観光地・見どころを都道府県ごとに詳しく学びます。 観光箇所の名称・所在地・プロフィール・温泉・祭り・名産品などの観光資源全般の知識を増やします。 観光地の由来や名所の成り立ちなどを写真や動画を参考に習得します。</p>				
使用テキスト				
4国内観光資源 国内観光地理サブノート 旅に出たくなる地図・日本				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
期末試験(80%) 平常点(授業態度10% 小テスト10%)				

	テーマ	授業内容
第1週	長野県・岐阜県	長野県の高原・湖・観光地を調べる 岐阜県の山・温泉について学ぶ 国立公園の範囲と含まれる観光地を学習する
第2週	静岡県・愛知県・三重県	伊豆半島の観光スポットについて学ぶ 愛知県の城・渓谷について学習する 三重県の半島・海岸・伊勢神宮について知識を深める
第3週	滋賀県・京都府・大阪府	琵琶湖・比叡山などの観光スポットを調べる 京都の寺社や年中行事について詳しく学ぶ 丹後半島の観光地を学習する
第4週	兵庫県・奈良県・和歌山県	日本海側から瀬戸内海側まで兵庫県の観光地をみる 神社仏閣、霊場、参詣道について詳しく学習する 和歌山県の観光スポットを調べる
第5週	鳥取県・島根県・岡山県	山陰海岸の観光地を学ぶ 出雲・松江について知識を深める 岡山県の観光スポットについて学ぶ
第6週	広島県・山口県・徳島県	宮島・原爆ドームなどの世界遺産について知識を深める 城下町・秋芳洞・青海島などの自然景観を学習する 鳴門の渦潮、阿波踊りなどの観光資源を知る
第7週	香川県・愛媛県・高知県	瀬戸内海の島々・金刀比羅宮などの観光資源を学習する 松山・石鎚山・佐田岬など愛媛の観光地の知識を深める 高知県の観光スポットについて学ぶ
第8週	地理検定対策	地理検定過去問題に取り組む 全国の温泉地を確認する 全国の山・渓谷・岬・滝・観光スポットを覚える
第9週	福岡県・佐賀県・長崎県	福岡県・佐賀県・長崎県の観光スポットについて学ぶ 観光地の歴史的由来について学習する 半島・峠・山などの地理を知る
第10週	熊本県・大分県・宮崎県	熊本県・大分県・宮崎県の温泉・山・島・半島を確認する 国立公園の地域範囲とそこに含まれる観光地を確認する 歴史的建造物や年中行事の知識を身につける
第11週	鹿児島県・沖縄県	鹿児島県の観光スポットについて学ぶ 沖縄本島について、地理や歴史を学習する 宮古諸島・八重島諸島の観光地を調べる
第12週	国内地理総復習	期末テストのフィードバック 国内地理の全体問題を解いて、知識の再確認をする 観光地理に必要な歴史の知識を増やす

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	1年	対象クラス	トラベル科	Kクラス
科目名	海外観光地理		担当講師	藤田 祐子
<p>到達目標 海外旅行のパンフレットに登場する各国の観光地をゆっくりと詳しく見ていく。 海外の観光地、食べ物、お土産品 などをお客様に案内でき、自分も楽しめるように知識を習得する。 海外旅行は、範囲が広いですが、各国の文化、歴史、などを興味をもって学んでまいりましょう。</p>				
<p>使用テキスト プリント 海外観光資源 旅に出たくなる地図(世界)</p>				
<p>成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末試験+平常点</p>				

	テーマ	授業内容
第1週	中国①	国土が広く、歴史も深い中国について、観光地を中心に学習して行きます。 中国への国際線は日本各地から出ています。広い国土ですが、地域別にみていきましょう。 国の概要から始め、地図の全体を把握します。東北地区から順番に見てみましょう。
第2週	中国②	首都北京の観光地を順番に見て行きます。 天津、大同、曲阜、洛陽、青島、大連、長春と順番に北からみていきます。 大都市上海の見どころを見ていきます。最後には映像も加えてみてみましょう。
第3週	中国③ / 研究発表 班分け	成都、石林、西安、シルクロード、と南と西域を学習していきます。 中国四大料理についても見てみましょう。 後半の授業で行う、班ごとの研究発表の班分けとテーマ決めも行います。
第4週	台湾	日本人に人気で行きやすい、台湾 について学習します。 ポピュラーな2泊3日で行ける台北のツアーから、台湾全土をめぐる旅行もありますので、それぞれの土地の観光地をみていきます。
第5週	韓国①	お隣の国韓国、福岡からもジェットフォイルやフェリーで釜山まですぐです。飛行機でもソウルまで1時ちょっと。1泊でも楽しめる海外旅行先です。 韓国の国の概要から始め、首都ソウルから観光地、楽しみ方、をみていきます。
第6週	韓国②	地方都市 釜山、慶州、済州島などを学習して行きます。 映像も交え、日本人にとっての韓国旅行の様々な楽しみ方をみてみましょう。
第7週	研究発表	1班 香港・マカオ 2班 フィリピン・セブ島 3班 シンガポール
第8週	研究発表	4班 デンマーク、スウェーデン 5班 スイス 6班 ドイツ
第9週	タイ	タイは観光立国のひとつ。仏教国タイの魅力を学習します。 国の概要から始め、地図の全体を把握します。首都バンコクから始め、チェンマイなどの北の地域まで またタイにはリゾートもたくさんありますので、いろんなタイの過ごし方を見ましょう。
第10週	期末テスト前まとめ	前期テスト前のまとめプリントを行います。 今までの復習と、学んだ知識の確認を行います。
第11週	インドネシア	インドネシアの最大の観光地は、バリ島です。日本人にも人気のバリ島を中心にみていきます。 アジアリゾートとして有名なバリ島は、魅力あふれるところです。インドネシアにありながら、イスラム教ではなくバリヒンズー教の文化が根付いています。魅力をみていきましょう。
第12週	ベトナム	この数年、日本からの直行便も増え、経済成長も著しいベトナム。日本人も多く観光に訪れるようになりました。ホーチミン、ハノイ、という大都市を中心に、ベトナムの観光の魅力を探っていきます。 これから先も、ベトナムのツアーは増えていくと思われます。

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	1年	対象クラス	トラベル科	Kクラス
科目名	カウンター販売	担当講師	草野 智子	
到達目標 カウンター販売の業務内容を理解する。 各旅行社の様々なパンフレットに触れ、見方がわかるようになる。 JR/航空時刻表に関する基礎知識を理解する。 カウンター販売に必要な言い回し(表現)を使えるようになる。				
使用テキスト 国内旅行カウンター販売 時刻表(JR/航空)				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末試験80%・小テスト20%				

	テーマ	授業内容
第1週	授業の進め方の概要 JR基本知識	授業内容の説明・自己紹介・評価について案内 JRきっぷの種類・乗車券・特急券・大人と子ども・乗り継ぎ割引について理解する
第2週	JR時刻表	時刻表の解説・練習問題を解き、時刻表が引けるようになる
第3週	JR時刻表	特別企画乗車券・払い戻し・事故などの取り扱い方法を学ぶ 練習問題を解き、時刻表が引けるようになる
第4週	航空時刻表・国内旅行取 消料計算	航空時刻表の見方(練習問題)・航空一般知識(大人・子ども 航空券の種類・3レター) 国内旅行パンフレット取消料計算方法・申し込み金についてを学ぶ
第5週	その他(国内旅行全般・ 宿泊・フェリー・私鉄)	その他、国内旅行に必要な部屋の眺望やバス・フェリー・レンタカー等の概要を学ぶ
第6週	国内パンフレットの見方	主要旅行会社のパンフレットを練習問題を解きながら見方がわかるようになる (JAL/ANA/日本旅行)
第7週	国内パンフレットの見方	主要旅行会社のパンフレットを練習問題を解きながら見方がわかるようになる (JTB/JR九州旅行/西鉄旅行)
第8週	旅行カウンター店舗作り	パンフレット展示の役割や重要性・様々な飾りつけ・POPについて学ぶ グループに分かれて、POP作成計画をする
第9週	飾り付け	見た人の印象に残るようにPOP作成・パンフレット入れ替え作業実践
第10週	飾りつけ・飾りつけNO1 投票・期末テスト対策	前回の続き 飾りつけNO①を投票して決定しよう★ 期末テスト対策
第11週	カウンター販売マナー・実 践	カウンター販売におけるマナーや、聴取項目を学ぶ 実際にロールプレイングで実践してみよう
第12週	カウンター販売実践	前回の続き まとめ

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	1年	対象クラス	トラベル科	K クラス
科目名	アクセス		担当講師	横瀬 敦子
到達目標 国内線の予約基礎に加え、国内線個人運賃の運賃計算や発券などの応用操作を習得する。 アクセス検定・国内3級受検にむけ、練習問題を多くこなし国内3級の全員取得を目指す(11月実施)。				
使用テキスト AXESS国内予約発券業務の基礎・国内早見表 その他、練習問題や検定過去問題				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点(30% 授業態度や小テストの結果・提出物を含む) 期末試験(70パーセント) アクセス検定・国内3級の可否も評価の対象とする。				

	テーマ	授業内容
第1週	分割	前期の復習(基本PNRの作成を行う) 分割手順を学ぶ(1部旅客の変更取消操作を行う)。 上記、分割を含む複雑な入力操作を理解し処理能力を高める。
第2週	運賃・料金	個人割引運賃の運賃規則を学ぶ(FCR入力で手数料などを調べる)。 個人割引運賃のシーズンリティーを学ぶ(FCS入力で通常期・繁忙期・閑散期 運賃の違いを確認する)
第3週	検定対策①	アクセス検定・国内3級受検にあたっての注意事項を説明する。 合格するための操作手順を学ぶ。 検定過去問題に取り組む(※授業外の課題有)。
第4週	検定対策②	国内3級・筆記対策 検定過去問題に取り組む(各自、弱点克服のための課題に取り組む)。 ※授業外の課題有(添削PNR返却有)
第5週	検定対策③	検定過去問題に取り組む(各自、弱点克服のための課題に取り組む)。 ※授業外の課題有(添削PNR返却有)
第6週	検定対策④	検定過去問題に取り組む(各自、弱点克服のための課題に取り組む)。 ※授業外の課題有(添削PNR返却有)
第7週	検定対策⑤	検定過去問題に取り組む(各自、弱点克服のための課題に取り組む)。 ※過去問題終了後、自己採点を行う
第8週	割引運賃の予約①	運賃付空席照会の入力と画面確認を行う。入力と画面の確認を行う 運賃付空席照会からの予約操作(ウルトラ・スーパー先得・先得割引)
第9週	割引運賃の予約②	運賃付空席照会からの予約操作(特便割引1/3/7/21) その他の割引運賃について(身体障害者割引・介護婦省割引・シャトル往復割引 乗継割引7/28・スカイメイト)
第10週	運賃計算と自動発券	株主優待割引運賃の概要を学び予約操作を行う PNR完了後、運賃計算(FQ操作)～自動発券(ED操作)まで行う 空港情報について(天気・発着情報)学ぶ。
第11週	発券リンク	発券ファイル表示について 手入力による発券リンクを行う。
第12週	期末テスト	総まとめ(PNR操作・予約～運賃確認～発券まで) 期末テスト(前期からの予約～割引運賃の概要と予約や発券まで)

後期シラバス

2016年度		後期	
対象学年	1年	対象クラス	トラベル科 Kクラス
科目名	添乗業務	担当講師	長 英 二
到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・海外添乗業務の基礎知識の習得 ・講師の添乗体験談を通して添乗業務の厳しさとやりがいを知る 			
使用テキスト			
<ul style="list-style-type: none"> ・「ツアーコンダクター入門(JHRS)」 ・プリント(授業内で配布) ・蛍光ペン(濃淡2色)+赤ペン 			
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			
・期末試験80%+平常点(出欠・授業態度・提出物)20%			

	テーマ	授業内容
第1週	海外添乗基礎知識①	①手配先:国内旅行と大きく異なる点を理解する ②宿泊:業務上必要な知識及び用語を学ぶ ③航空:業務上必要な知識及び国内と異なる仕組みを学ぶ
第2週	海外添乗基礎知識②	①鉄道:主要国の鉄道の利用方法の違いを学ぶ ②貸切バス:現地での重要な移動手段であることを理解する ③トランスファーと現地コーディネーター
第3週	海外添乗基礎知識③	①観光:国内と海外でのガイドの在り方について知る ②食事:観光と並んで旅行の楽しみである食事には拘りが必要 ③チップ:国内では経験できない習慣を外国人の生活の観点から読み解く
第4週	海外添乗基礎知識④	①ポーター:空港・駅・ホテルなどで荷物を運搬する人を上手に操る方法を学ぶ ②時差:旅行業にとって必須の知識です。暗記と計算でマスターしましょう! ③出入国手続・外国語:海外旅行には必須の知識。
第5週	海外添乗準備	①手配(最終)確認:「確認」の重要性と以後の仕事の進めやすさを知る ②ドキュメントリスト・ルーミングリスト:基本リストの活用方法を学ぶ ③その他の持参物:あれば便利なもの
第6週	海外添乗業務実践①	①日本発～航空機で移動:目的地での行動に備えて機内でどう過ごすか? ②目的地入国:添乗員が最初に気を遣う場所。国や人で対応が異なる不思議 ③市内への移動(トランスファー):バスの中ですべきこととは何か?
第7週	海外添乗業務実践②	①観光:観光地(見学箇所)での添乗員の仕事を考える ②昼食:飲物のオーダー等お手伝いすることが多い ③宿泊(チェックイン):様々なトラブルを想定し対処する方法を学ぶ
第8週	海外添乗業務実践③	①夕食:外出することでリスクは高まる。安全にホテルに帰るにはどうする? ②朝食:「えっ!有料だったの...?」とならないために知っておこう ③自由行動:事前の情報提供が、添乗員の業務削減に役立つ事を知る
第9週	海外添乗業務実践④	①宿泊(チェックアウト):ツボを押えておけば慌てなくても大丈夫 ②外国での移動:以外にやることが多いので段取りの良し悪しが命運を分ける ③日本帰国・終了報告:忘れないうちに報告書に残すことが大切
第10週	事故・トラブルへの対応	①海外でのトラブル処理:トラブル処理の経験が頼れる添乗員を作る ②旅行保険と付帯商品:お客様の為であり、会社の利益にもなる高収益商品 ③個人情報保護法:お客様の秘密を守る事も添乗員の役目である事を理解する
第11週	航空会社・空港・鉄道	①オンラインキャリアとオフラインキャリア:最低限知っておくべき知識 ②OAG(国際航空時刻表)の見方:解読法は基礎知識として知っておくこと ③トーマスクック(鉄道時刻表)の見方:解読法は基礎知識として知っておくこと
第12週	旅行業界用語 ITINERARYの解読	①旅行業界用語:必要な用語を押えておく ②本物の「ITINERARY」を使ってツアーの行程と手配内容を確認する :最低限知っておくべき日程表や手配書の読み取り方を学ぶ

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	1年	対象クラス	トラベル科	K クラス
科目名	ツアープランニング		担当講師	草野 智子
到達目標				
<p>様々なモデルケースでの旅行プランを作成できるようになる。 プレゼン方法・パワーポイントでのプランニングが出来るようになる。 国内・海外(個人・団体)旅行の見積もり、企画書の基本を学び作成できるようになる。</p>				
使用テキスト				
ツアープランニングノート 時刻表				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
提出物 100%(※期末テストは行いません。)				
課題を期間内に作成し、その内容によって評価します。				

	テーマ	授業内容
第1週	授業の進め方概要・国内行程表作成方法解説	授業の進め方・評価方法について案内 ツアープランニングとは何か。実際に現場ではどのような仕事をしているのか学ぶ 国内行程表のプランニング方法を練習問題を解きながら学ぶ・資料の使い方を学ぶ
第2週	①JRを利用した旅行	2大テーマパーク(関西・関東方面)でJRを使いプランニングしよう
第3週	②飛行機を利用した旅行	リゾート(沖縄または、北海道)方面で国内ツアーパンフレットをベースにプランニングしよう
第4週	海外行程作成方法解説・③海外旅行(ハネムーン)	海外行程表のプランニング方法を練習問題を解きながら学ぶ 海外ツアーパンフレットをベースに、ハネムーンに行くならどこがいいか考えプランニングしよう
第5週	③の続き・グループ決め	③を完成させよう バス旅行のグループ分け
第6週	団体バス旅行	団体旅行のプランニング方法を学ぶ(所要時間の計算方法等) グループに分かれて、ツアープランニング実習で行く目的地を決めよう(九州内)
第7週	団体バス旅行	パワーポイントを使って予算・行程を立てプレゼン資料を作成しよう 予算内での見積もり表を作成しよう
第8週	団体バス旅行	前回の続き
第9週	団体バス旅行	プレゼン用の役割分担や、言い回しを考えよう
第10週	団体バスプレゼン・NO1投票	それぞれ考えたコースをグループごとにプレゼンしよう NO1を投票し、旅行に行くコースを決めよう
第11週	④海外旅行	卒業旅行に行くならどこに行きたいか考え、プランニングしよう
第12週	前回の続き	前回の続き・まとめ

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	1年	対象クラス	トラベル科	K クラス
科目名	海外実務		担当講師	藤田 祐子
到達目標				
<p>海外旅行の渡航手続きは、法律の知識が必要となります。案内を間違えると、ツアーの催行に影響したり、お客様にご迷惑をかけることとなりかねません。</p> <p>海外旅行の手続きに必要な知識を習得し、お客様にスムーズに案内できるように学習します。</p> <p>2月の現場実習でも必要となる業界の知識も含めて学習します。</p>				
使用テキスト				
<p>出入国法令と実務、 海外旅行実務 (「テーマ」の項目に持参するテキストを書いています)</p>				
成績評価方法				
<p>※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。</p> <p>期末試験+平常点</p>				

	テーマ	授業内容
第1週	旅券法令① テ「出入国法令」	旅券の種類 発給申請 について学びます。 海外旅行の手続きの最初は、有効な旅券を持っているかどうかです。有効期限が切れていたり、持っていないお客様に案内するために必要な知識を習得します。
第2週	旅券法令② テ「出入国法令」	旅券の発行と交付 記載事項 増補 紛失の届け出 について学びます。 旅券の発行と交付や記載事項について、法律に基づき学びます。 旅券が果たす重要な役割を、法律を交えて意識して理解します。
第3週	通関手続き テ「出入国法令」	出入国の旅具通関 免税範囲 輸入禁止品規制品 について学びます。 旅行者については、携帯して持ち出し持ち込みする物に関して、特別な法律があります。 海外旅行の際、持ち物の輸出入に関する知識は必須です。
第4週	検疫 テ「出入国法令」	検疫法令 動植物検疫 について学びます。 旅行先で病気に感染するということも考えられます。そのため、人の体本体の感染、持ち込む動植物の感染、についての法律を学びます。
第5週	出入国手続き テ「出入国法令」	日本の出入国 VISA 出入国手続きの流れ を学びます。 日本の出国手続き、入国手続き、の流れを学びます。また、海外の国に入国するにあたって必要となる査証(VISA)の知識も大変重要です。
第6週	出入国手続き テ「出入国法令」	外国の出入国手続き について学びます。 日本を出た場合、渡航した先の国での入国審査、出国審査について学びます。 国によって法律が違いますので、その調べ方などを学んでいきます。
第7週	航空時刻表 テ「海外旅行実務」	3レター 2レター OAGの見方について学びます。 国際線の航空機について必要な知識を学びます。まずは、都市コード空港コードの3レター、航空会社の2レターは必須です。小テストも行います。
第8週	時差計算 テ「海外旅行実務」	国際線の航空機の時刻表であるOAGの見方を学びます。 英語と数字の羅列に見えますが、その見方の基本は大切です。また、飛行時間を割り出す為に必要な時差についても学びます。
第9週	海外のホテル知識 テ「海外旅行実務」	海外のホテルについての知識を学びます。 海外の宿泊と言えばホテルです。ホテルの用語、ホテルの客室予約に必要な知識、ホテルの設備などについて学んでいきます。
第10週	予備日	進度の調整をして予備日とします。
第11週	期末テスト振り返り	期末テストの振り返りを行います。 理解できていない個所を把握し、理解するようにしてください。
第12週	復習とまとめ	海外旅行のカウンターで働けるような知識を習得しましょう。

後期シラバス

2016年度		後期	
対象学年	1年	対象クラス	トラベル 科 K クラス
科目名	旅行業英語	担当講師	挽田 雅子
到達目標 海外旅行の添乗業務をする際に必要な英語を、実際の旅行の流れに沿って学び、海外添乗業務を遂行できる力を身につける。 海外添乗の基本的業務に必要な英語力と添乗で出会うさまざまなケースでの言い回しを会話パターンとして身につける。 旅行業務に必要な英語を学び、情報・資料・手配書などを読み取れるようになる。			
使用テキスト ツアーコンダクターの英語			
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末試験80% 平常点20%			

	テーマ	授業内容
第1週	第1章 機内で(1)	スケジュールの説明、評価方法の説明 添乗英語の特徴と英語が必要な場面を知る 離陸前の機内アナウンスを理解する
第2週	第1章 機内で(2)	前回の復習テスト 飲み物の注文、食事の注文をする 枕と毛布を頼む
第3週	第1章 機内で(3)	前回の復習テスト 時差を聞く、薬を頼む 着陸前・着陸後の機内アナウンスを理解する
第4週	第2章 空港到着(1)	前回の復習テスト 空港到着時の添乗員の仕事を知る 入国手続き、税関手続き、航空機の乗り継ぎの英語表現を学ぶ
第5週	第2章 空港到着(2)	前回の復習テスト 空港から市内へ出発時の添乗員の仕事を知る ポーターの手配、空港での両替の英語表現を学ぶ
第6週	第3章 ホテル1(1)	前回の復習テスト ホテル到着時の添乗員の仕事を知る ポーターへの荷物の引き渡し、チェックイン、夕食の手配の英語表現を学ぶ
第7週	第3章 ホテル1(2)	前回の復習テスト チェックインの直後に起こりうるトラブルについて理解する 部屋の苦情を述べる英語表現を学ぶ
第8週	第4章 ホテル2(1)	前回の復習テスト 朝食のメニュー・語彙を知る 国際電話やルームサービスを利用するための表現を学ぶ
第9週	第4章 ホテル2(2)	前回の復習テスト 洗濯物やモーニングコールを頼む際の英語表現を学ぶ 貴重品を預けるとき英語表現を学ぶ
第10週	第5章 自由行動の案内1(1)	前回の復習テスト 自由行動中の業務の基本を理解する 情報を得るための英語表現を学ぶ
第11週	第5章 自由行動の案内1(2)	前回の復習テスト ショーやゴルフの情報を読み取る ホテルから情報を得るための表現を学ぶ
第12週	まとめと総復習	期末テストの解答と解説 前期授業のまとめ 観光英検の問題を解いて、旅行業英語の語彙を増やす

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	1年	対象クラス	トラベル科	Kクラス
科目名	面接対策		担当講師	山田 邦幸
到達目標 * 面接対策の重要性を認識させる * 面接の基本を身につける * 過去のデータからより効果的な対策を立てる * 自分の熱意を伝える方法を見つける				
使用テキスト * 勝つための就職ガイド(NEW SUCCESS)・就職ノート * プリント(その都度配布・毎回過去の分も含めてファイルに綴じて持参すること)				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 * 面接実技・提出物・授業態度・出席率により評価を行う(スーツ着用・規定通り着用すること・身だしなみ)				
	テーマ	授業内容		
第1週	オリエンテーション	* 授業の進め方・評価方法について・講師自己紹介 * 就職活動について(求人環境等) * 就職室・就職閲覧室について		
第2週	面接とは・自己分析	* 前期授業の振り返り * 面接の重要性 * 自分自身を知る(長所・短所/過去と現在の自分)・他者から見た自分自身とは		
第3週	自己PR作成	* 前期授業の振り返り * 自己分析の結果から自己PRできるものを抽出 * 220字以内で自己PRを文章にする		
第4週	志望動機作成	* 前期授業の振り返り・旅行業界企業リスト * 志望企業をリストアップして、ある程度志望企業をイメージする * 220字以内で志望動機を文章にする		
第5週	履歴書作成・面接対策	* 履歴書の書き方を再確認 * 実際に履歴書を作成する * 面接のポイント(企業が求める人物像・個人面接と集団面接の違い・対策等)		
第6週	グループディスカッション・面接対策	* グループディスカッションとは(企業の意図) * グループディスカッションの注意点・練習 * 面接のポイント(企業が求める人物像・個人面接と集団面接の違い・対策等)		
第7週	面接練習	* 面接のポイント(企業が求める人物像・個人面接と集団面接の違い・対策等) * 面接練習実践		
第8週	面接練習	* 面接のポイント(企業が求める人物像・個人面接と集団面接の違い・対策等) * 面接練習実践		
第9週	模擬面接に向けて	* 面接試験でよくある質問(模擬面接・実際の企業受験=レジュメ等) * 面接試験での受け答え方法		
第10週	模擬面接を振り返る	* 模擬面接での結果とフィードバック * 模擬面接での反省点・改善点を振り返る		
第11週	就職強化セミナーに向けて(面接)	* 就職強化セミナーに向けての心構え * 就職強化セミナーに向けての具体的な準備(3ヶ月後の就職試験に備えるためにも) * 面接練習実践		
第12週	就職強化セミナーを振り返る まとめ	* 就職強化セミナーでの結果とフィードバック・反省点と改善点を考える * 面接対策授業の振り返り・春休みの過ごし方・実習について * 就職活動直前対策		

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	1年	対象クラス	トラベル科	Kクラス
科目名	就職活動講座		担当講師	藤田 祐子
到達目標				
<p>1年後期の後半からいよいよ本格的な就活が始まります。3月にはエントリーも開始され、面接なども始まります。現実に即し、どう就職活動を進めるか、また自己PRや志望動機を固めていくことを目標とします。12月の就職模擬面接、1月の就職セミナーの大事な就職行事に備えることも行います。しっかりと着実に、自分の就活準備を進めて、3月の就活をスムーズにスタートできるようにしましょう。</p>				
使用テキスト				
「就職ノート」「勝つための就職ガイド SUCCESS」 自分で準備した就活用のクリアポケットファイルやノート				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
提出物、授業態度により評価を行う				

	テーマ	授業内容
第1週	前期の振り返り	前期の振り返りをします。 後期における就職活動として進める手順や目標を確認します。 後期の重要な就職の行事を説明し、何を身につけて行くかの目標を決めます。
第2週	企業研究	前期におこなった企業研究をさらに進め、業種、職種別に、自分の希望定め、企業先生を進めて行きます。12月の模擬面接に向け、第一希望～第三希望の企業を、選定し、企業研究を発展させます。
第3週	志望動機の作り方	第一希望の企業に向けての、志望動機の作り方を学習します。 志望動機で書く内容、そのために必要な資料、を定めます。 ある程度何を書くかを箇条書きします。
第4週	志望動機の下書き	志望動機の文章を書き始めます。担任が添削し、指導します。 文章の構成を十分に練って書き始めてください。
第5週	志望動機の完成	志望動機の文章を、清書します。 余裕がある人は、長いバージョン、短いバージョンを分けて作成してみましょう。 エントリーシートによって長さを変えられるように対処しておきましょう。
第6週	書類作成	エントリーシートの下書き用の用紙を配布します。エントリーシートの下書きを準備しておきます。 資格取得年月日を把握するための用紙を配布します。自宅で、合格証などを確認して、正式な資格の資格取得年月日、を事前に調べるようにします。
第7週	就職模擬面接用エントリーシート	就職模擬面接用エントリーシートの書き方を説明します。 履歴書やエントリーシートに書く、資格取得などのデータを正しく把握し準備しておきます。 第一希望～第三希望の企業をリストアップします。
第8週	模擬面接対策	就職模擬面接の対策として、入退室の仕方、お辞儀の仕方の再チェックをします。 基本的な第一希望企業への志望動機、自己PRを練習します。 学生同士でもチェック合って、他の人の良いところ、改善点を観察し、自分も振り返りましょう。
第9週	就職模擬面接振り返り	12月2日に実施された就職模擬面接の評価表をもとに、個人フィードバックを行います。 まだ一歩ですので、反省点を振り返り、1月の就職強化セミナーで、ステップアップできるように準備を始めましょう。
第10週	履歴書記入	企業実習のための履歴書の書き方を学びます。 下書き用の用紙に「就職ノート」の書き方例を見ながら、実際に記入していきます。 正しい書き方を学び、清書用を準備していきます。
第11週	就職活動の手順説明/企業実習の注意、電話のかけ方、お礼状の書き方	春休み中のエントリー、就職活動の学内の書類提出や手続きについて、就活のルール、などを理解しておきます。また、2月の企業実習にむけて、事前電話のかけ方、お礼状の書き方、を学んでいきましょう。
第12週	就職強化セミナー振り返り	1月15～16日の就職強化セミナーの振り返りをします。12月の模擬面接に続き、2回目の模擬面接、グループディスカッションが、自分でどう感じたか、面接官の評価などをフィードバックします。 3月からの本番に活かせるよう、しっかりと検討し、改善しましょう。

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	1年	対象クラス	トラベル科	Kクラス
科目名	面接対策		担当講師	山田 邦幸
<p>到達目標</p> <p>* 主たる企業の求人スケジュールに沿った授業運営を行い、企業が求める面接及びコミュニケーション能力を養成することで内定を勝ち取る</p> <p>* 内定学生は就業までに自己研鑽を行い、社会人として自覚を持つよう指導。(課題提示)</p>				
<p>使用テキスト</p> <p>* 勝つための就職ガイドSUCCESS</p> <p>* 就職ノート・プリント(その都度配布・毎回過去の分を含めてファイルに綴じて持参すること。)</p>				
<p>成績評価方法 * 単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。</p> <p>* 面接実技・提出物・授業態度・出席率・身だしなみにより評価。(スーツ着用・規定通り着用すること。)</p>				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	* 授業の進め方・評価方法について * 就職活動について(求人環境・企業リスト・企業研究等)
第2週	受験対策	* 最終模擬面接に向けての用意 * 就職活動について(学校の規則・手続き等)
第3週	受験対策	* 最終模擬面接の振り返り * 面接練習①(集団または個人・受験報告書&レジュメをもとに・企業受験直前対策) * 企業研究・求人状況等
第4週	受験対策	* 面接練習②(集団または個人・受験報告書&レジュメをもとに・企業受験直前対策) * 企業研究・求人状況等 * 内定者は就業に向けての準備(業界研究等)
第5週	受験対策	* 面接練習③(集団または個人・受験報告書&レジュメをもとに・企業受験直前対策) * 企業研究・求人状況等 * 内定者は就業に向けての準備(業界研究等)
第6週	受験対策	* グループディスカッション練習(受験報告書&レジュメをもとに・企業受験直前対策) * 企業研究・求人状況等 * 内定率50%以上目標 * 内定者は就業に向けての準備(業界研究等)
第7週	受験対策	* 集団面接練習(受験報告書&レジュメをもとに・企業受験直前対策) * 企業研究・求人状況等 * 内定者は就業に向けての準備(業界研究等)
第8週	受験対策(模擬面接)	* 個人面接① * 面接試験待機者は作文及び筆記試験(または課題) * 内定者は就業に向けての準備(業界研究等)
第9週	受験対策(模擬面接)	* 個人面接② * 面接試験待機者は作文及び筆記試験(または課題) * 内定者は就業に向けての準備(業界研究等)
第10週	受験対策(模擬面接)	* 個人面接③ * 面接試験待機者は作文及び筆記試験(または課題) * 内定率70%以上目標 * 内定者は就業に向けての準備(業界研究等)
第11週	受験対策(模擬面接)	* 個人面接④ * 面接試験待機者は作文及び筆記試験(または課題) * 内定者は就業に向けての準備(業界研究等)
第12週	まとめ	* 前期のまとめ * 未内定者指導(内定率80%以上目標) * 内定者は就業に向けての準備(業界研究等)

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	2年	対象クラス	トラベル科	L クラス
科目名	国内観光地理		担当講師	挽田 雅子
到達目標 各県の観光地の見どころを詳しく学ぶ 旅行業界で必要とされる知識を身につけ、パンフレット等に記載されている企画商品などの内容を旅行通のお客様にコンサルティングでようになる。また、お客様のご希望を承って旅程を作成できるようになる。				
使用テキスト 国内観光地理				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末試験80% 平常点(授業態度等)20%				

	テーマ	授業内容
第1週	山陰ブロック	スケジュールの説明、評価方法の説明 丹後半島の観光知識を学ぶ 山陰海岸国立公園について地域範囲と含まれる観光地を知る
第2週	山陰ブロック	鳥取県の観光資源を白地図に記入する 鳥取砂丘・三仏寺投入堂を知る 鳥取県の温泉を調べる
第3週	山陰ブロック	島根県の観光資源を白地図に記入する 出雲・松江の観光知識を学ぶ 隠岐の観光スポットを調べる
第4週	京都ブロック	京都府の観光資源を白地図に記入する 京都の観光モデルコースを研究する 嵐山・嵯峨野を学ぶ
第5週	京都ブロック	京都の神社仏閣を詳しく学ぶ 京の伝統文化・年中行事について知る 世界遺産の学習
第6週	奈良・大和路ブロック	奈良県の観光資源を白地図に記入する 奈良の観光モデルコースを研究する 奈良の神社仏閣を詳しく学ぶ
第7週	滋賀・若狭・三重ブロック	滋賀県・三重県の観光資源を白地図に記入する 近江八景を知る 伊勢・志摩の観光ポイントを調べる
第8週	和歌山ブロック	和歌山県の観光資源を白地図に記入する 熊野・南紀の観光スポットについて学ぶ 和歌山県の温泉を調べる
第9週	大阪・神戸ブロック	大阪中心部のJR/地下鉄の路線を知る 大阪の観光資源について学ぶ 神戸の観光地を調べる
第10週	後期範囲の復習	山陰ブロック、京都・奈良・大和路ブロック、滋賀・若狭・三重・和歌山ブロック、 大阪・神戸ブロックの観光資源を確認する 地理・歴史の復習をする
第11週	関西全域	工芸品を調べる 祭・年中行事を知る 郷土料理の知識を深める
第12週	観光地理まとめ	期末試験問題の解説 西日本の観光地についてまとめる 広域モデルコースを研究する

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	2年	対象クラス	トラベル科	Lクラス
科目名	海外観光地理		担当講師	藤田 祐子
<p>到達目標 前期に引き続き、国ごとにじっくりと観光地や文化を学んでいきます。 映像なども交え、楽しく学んでいきましょう。少しでも海外旅行の楽しさを自分の感じ、お客様にもお伝えできるよう いろんな角度からみていきましょう。</p>				
<p>使用テキスト プリント 旅に出たくなる地図世界編 海外観光資源</p>				
<p>成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末試験+平常点</p>				

	テーマ	授業内容
第1週	カナダ	アメリカ大陸の北に位置する国 カナダ。メープルの葉が国旗のカナダは、自然豊かな国。自然を中心とした観光資源を、じっくりとみていきます。映像も入れて、カナダの大自然を感じましょう。
第2週	カナダ／アメリカ合衆国	カナダ東部の観光を紹介します。 アメリカ合衆国に入ります。世界の大国アメリカ、新しい国ならではの観光資源をみていきます。文化、大自然、エキサイティングな都市、など見どころは満載です。
第3週	アメリカ合衆国	アメリカ西海岸のロサンゼルス、サンフランシスコから学び、中部の各都市の特徴、そして東部のニューヨーク、ワシントンDCとみていきます。 刺激的な各地を、アメリカ文化への理解も交えてみていきましょう。
第4週	フロリダ半島・西インド諸島	アメリカのフロリダ半島から、西インド諸島にかけてをみていきます。 西インド諸島は、多くの島があり、それぞれの文化を持つ国々で構成されています。 カリブ海の美しい海と、独特の文化をみていきましょう。
第5週	メキシコ・南米	中南米を見ていきます。南北アメリカ大陸を結ぶ地にあるメキシコ。マヤ文明、アステカ文明の遺跡群も見所です。魅力あふれるメキシコの文化、歴史を観光地を見ながら学んでいきます。
第6週	イタリア	イタリアは日本人にも人気のヨーロッパの観光国。世界中から観光客が訪れる国です。 ローマ帝国という歴史の一大帝国を作った国。数々の歴史的遺跡もさることながら、各地の魅力、美味しいイタリア料理もみていきましょう。
第7週	イタリア	ローマだけでも数多くの見どころがあります。コロッセオ、バチカン市国、フォロロマーノ、トレビの泉などなど。その他、ミラノ、フェレンツェ、ベネチア、など主要な観光都市の魅力を映像も交えながら見ていきましょう。
第8週	フランス	フランスの文化を楽しみながら学んでいきます。首都パリにもたくさん有名な観光地があります。エッフェル塔、凱旋門、ルーブル美術館、などなど。芸術の都・花の都パリをはじめ、ベルサイユ、モンサンミッシェル、南仏の町々、など魅力いっぱいのフランスを見ていきます。
第9週	フランス	パリ郊外のイルドフランスを始め、フランスにはその他に地域圏があります。その地方地方の独特の文化があります。地方によって違う見どころや、地域性も含めて、魅力をみていきます。映像も楽しみながらフランスを理解しましょう。
第10週	期末試験対策まとめ	期末試験前の復習をプリントを使って行います。学んだ知識を現場で活かせるようにしっかりと記憶していきましょう。
第11週	期末試験の振り返り	期末試験の振り返りと復習をします。学んだ知識を確実にしていきます。
第12週	スペイン	スペインは地域性が強い国です。地域によって歴史や文化の魅力があります。最後は、自由研究で、自分でスペインの各地の魅力やツアーとしての面白味を発見していきましょう。

後期シラバス

2016年度後期

対象学年	2年	対象クラス	トラベル科	Lクラス
科目名	ワールドカルチャー		担当講師	丸山 時男
到達目標 世界の異文化の探究、観光資源の探求、画像や体験談を見聞きしながら幅広い知識の習得				
使用テキスト プリント、インターネット、DVD等の活用				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末試験60点+課題・平常点40点				

	テーマ	授業内容
第1週	世界遺産探究	新世界遺産(自然・文化)とそのゲートウェイの探究 アジア、ヨーロッパ、南北アメリカ、オセアニア、中東・アフリカの主要国 総合旅行業務取扱管理者試験対策に繋げる。
第2週	主要国のランドマーク	世界各国の国を象徴するシンボリックなモニュメント、建造物、目印となる特徴的な自然を含む。 総合旅行業務取扱管理者試験対策に繋げる
第3週	フランス探究	フランスの日常と習慣 メトロの利用方、交通ルール、チップ、トイレ、タクシーの選び方など
第4週	インド探究	ブッタの足跡を追う。 仏教の成立、隆盛、伝播、宗派と仏教芸術の探究 インドの今を追う
第5週	中国探究	中国文化・習慣 中国料理の種類と特色
第6週	北欧探究	幸福度世界一デンマークの研究 教育、医療、年金、所得税、消費税、平均寿命、結婚、離婚率、生活、男女間の格差など、日本と比較する。 インターネットでもチェックする。
第7週	南欧探究	スペインの生活習慣 祭りと闘牛、フラメンコの歴史、料理、など探究。
第8週	ローマの休日	ローマのあれこれ
第9週	秘境探検	映像で観る。 灼熱の砂漠サハラ砂漠(アルジェリア)、密林を縫う大河アマゾン(ブラジル)、動物の楽園ガラパゴス(エクアドル) 地球の屋根ヒマラヤ(ネパール)、原始の森ブルーマウンテンズ(オーストラリア)他
第10週	イスラムの世界	イスラムの世界を知る。 文化と暮らし、食事とマナー
第11週	世界のあれこれ	ワイン、道路事情、チップ、通貨、料理など
第12週	日米の文化比較	文化・習慣の比較、農耕民族と狩猟民族の違い

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	2年	対象クラス	トラベル科	L クラス
科目名	インバウンド概論		担当講師	挽田 雅子
到達目標				
<p>インバウンドの意義を理解し、訪日外国人旅行の現況と課題を把握する。 さらに、インバウンド振興を進めるための知識を身につける。 また、訪日旅行者一人一人に向き合う心構えを学ぶ、。</p>				
使用テキスト				
プリント配布				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末試験(80%) 平常点(20%)				

	テーマ	授業内容
第1週	インバウンドとは？	スケジュールの説明、評価方法の説明 観光立国推進法について学ぶ インバウンドの振興が果たす役割を考える
第2週	訪日外国人旅行市場	訪日外国人旅行者数の推移を確認する 訪日外国人旅行者の動向について知る 国別の旅行者数と動向を詳しく見る
第3週	観光資源の現況	日本に対する印象を知る 外国人旅行者から見た日本の観光資源を学ぶ 満足度・不満度の調査を見て課題を考える
第4週	アジア・マーケット	アジア発訪日客の増加について調べその背景を考える 韓国・中国マーケットの特性を学ぶ 東南アジアマーケットの特性を学ぶ
第5週	外国人旅行者誘致上の課題	日本の滞在コストについて考える 受け入れ態勢について知る 日本訪問手続の改善について学ぶ
第6週	関連業界の現況と課題	宿泊施設の外国人旅行者受入れ状態を学ぶ 運輸業の現況と課題を知る 通訳ガイド業の概要について理解する
第7週	インバウンド実務	基礎知識を身につける 業務の流れを知る 手配の際の注意事項をチェックする
第8週	九州のインバウンドの動向	アジア比率が高い九州について学ぶ インバウンド増加への取り組みを見る FIT対応を考える
第9週	インバウンドに取り組む企業	インバウンドに取り組む企業について知る 旅行業界の取り組みを学ぶ 流通業の取り組みを学ぶ
第10週	外客接遇の基礎	基本的な考え方を身につける 必要な知識と能力について考える 食習慣・生活習慣の違いを理解する
第11週	日本を知る	日本文化を理解するために自分の知識を確認する 外国人旅行者の疑問を知る 文化交流の担い手としての意識を持つ
第12週	期末試験の振り返り	期末試験の解答と解説 後期のまとめと復習 おすすめの旅程を考える

後期シラバス

2016年度		後期	
対象学年	1年	対象クラス	鉄道科
科目名	鉄道概論	担当講師	Mクラス 花生 義一
到達目標 鉄道に関わる用語、合図、標識、車両を知る 気動車概要把握を行い安全運行に関わる内容を学ぶ			
使用テキスト わかりやすい鉄道技術(1、2、3) 講師作成プリント			
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点20%、期末テスト80%			

	テーマ	授業内容
第1週	鉄道用語	1.カリキュラムの説明 2.主な鉄道用語概要を行い授業が柔軟に進めるよう周知する 3.用語の意義を説明することにより、より深みのある授業にする
第2週	鉄道の合図①	1.合図の重要性 ・何故、鉄道事業に合図が必要であるかを把握することによって、合図に対する知識を身に付ける ・常に安全側の意識を高める知識を身に付ける
第3週	鉄道の合図②	1.合図の種類 ・鉄道合図の種類及び役目を周知し、実際に合図を多種把握する ・合図のによる作業を把握し、実技を実施することで身に付ける
第4週	鉄道の標識①	1.標識の概要 ・鉄道標識の意義を知ることによって標識に対する意識を深める ・鉄道の安全を維持するための標識であることを意識付けする
第5週	鉄道の標識②	1.標識の種類 ・標識の種類と役割を知り、標識の重要性を知る
第6週	鉄道の標識③	1.鉄道車両概要 ・鉄道車両に対する省令を知ることにより、規定内容を同時に知る ・標識に対する習熟度確認により授業内容の把握を確認する
第7週	鉄道車両紹介①	1.鉄道車両概要 ・鉄道車両に対する省令を知ることにより、規定内容を同時に知る ・鉄道車両に対する各鉄道会社の着目点を知る
第8週	鉄道車両紹介②	1.鉄道車両概要 ・全国の鉄道車両を学び運用目的を知る ・軌道の違い等に対する車両の構造を知る
第9週	鉄道車両紹介③	1.鉄道車両概要 ・新幹線の車両を知り在来線専用車両との違いを知る ・新幹線の構造の違いによる最高速度等を学ぶ
第10週	鉄道車両①	1.期末試験対策 ・習熟度を元に内容把握を行い、内容を深く身に付けさせる ・鉄道車両の特徴を深く知ることにより、安全に対する車両構造を習得する
第11週	鉄道車両②	1.気動車と電車の違い ・気動車及び電車の特徴を知り、利便性を把握する ・気動車の特徴を知り、何故気動車が鉄道事業に必要なかを把握する
第12週	総まとめ	1.総まとめ、全体質疑 ・2年生の授業に向けた、方向性を把握する

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	1年	対象クラス	鉄道科	Mクラス
科目名	鉄道基礎		担当講師	田島 義章
到達目標				
鉄道の総合的な専門知識を習得すると共に、安全に対する意識を向上させる。				
使用テキスト				
分かりやすい鉄道技術 [土木編・電気編・運転編]				
講師作成プリント				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
平常点20%、期末テスト80%				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	後期授業内容・進め方・成績評価方法を具体的に説明する。 前期授業の振り返りをおこなう。 運転安全規範の一般準則を理解する。
第2週	鉄道設備「線路」	線路の設備を知る。 曲線と勾配について学ぶ。 分岐器について学ぶ。
第3週	鉄道設備「電気」	信号保安設備を知る。 通信設備を知る。 変電設備を理解する。
第4週	鉄道車両	西鉄の車両を知る。 車両の検査の種類について学ぶ。 出庫点検の意義および点検事項を理解する。
第5週	運転保安装置	踏切保安装置について学ぶ。 踏切緩急選別を知る。 列車無線の機能および取扱いを理解する。
第6週	合図	列車出発に関する合図を学ぶ。 推進運転合図・パンタグラフ降下合図を知る。 入換合図を理解する。
第7週	標識	列車の標識を知る。 駅構内および駅間に設置された標識について学ぶ。 列車標識・列車識別標識・列車種別標識の違いを理解する。
第8週	自動列車停止装置	ATSの設備と運転上の注意について学ぶ。 地上装置と車上装置について理解する。 ATS故障時の取扱いを知る。
第9週	運転理論	列車抵抗とは何か知る。 列車の走行とブレーキについて学ぶ。 経済運転を考える。
第10週	鉄道営業	乗車券の種類を知る。 企画乗車券について学ぶ。 フェアトリップシステムを理解する。
第11週	指令所	運転指令・電力指令・線路指令の役割を知る。 運転指令の業務内容を知る。 運転整理について考える。
第12週	総まとめ	期末試験のフィードバックをする。 後期授業の振り返り、全体質疑をおこなう。

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	1年	対象クラス	鉄道科	Mクラス
科目名	鉄道係員	担当講師	花生 義一	
到達目標 鉄道運行に関わる係員、司令員、ダイヤについて 鉄道事例研究一般				
使用テキスト わかりやすい鉄道技術(1、2、3) 講師作成プリント				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点20%、期末テスト80%				

	テーマ	授業内容
第1週	鉄道乗務員①	1.前期の復習 ・鉄道係員の役目及び仕事内容の復習を行い、各係員の作業把握を行う
第2週	鉄道乗務員②	1.乗務員の放送一般 ・乗務員のお客さまに対する案内放送の意義と相対的な放送内容の習得を行い実施する ・各場面でのお客さま対応能力を身に付け、基本的な放送を身に付ける
第3週	鉄道運行に関わる係員	1.司令について学ぶ ・各指令の種類と役割を学び、指令の重要性を知る ・鉄道運行の安全確保に対しに指令の役割が生かされているかを学ぶ
第4週	鉄道ダイヤに関わる係員①	1.ダイヤグラム作成に関わる係員を学ぶ ・鉄道ダイヤ作成時の注意点(お客さまの利用しやすいダイヤ)とダイヤグラムの関係を学び、時刻表がどのような工程で出来上がるかを学ぶ
第5週	鉄道ダイヤに関わる係員②	1.ダイヤグラムを把握する ・ダイヤグラムを見方を学び、実際にダイヤグラムの作成を行い、ダイヤの知識を深める ・各駅のダイヤがどのように抗されるかを学び、駅作業の重要性を学ぶ
第6週	事故事例研究①	1.コンプライアンスに関わる事例 ・過去の鉄道事故事例を基に、事故内容と乗務員の取り扱いを把握する(世間に与えた影響等を学ぶ) ・省令変更はこうして行われた意味を把握する(規定改正及び事故対策等を学ぶ)
第7週	事故事例研究②	1.信号に関わる事例 ・過去の鉄道事故事例を基に、事故の内容把握と乗務員の取り扱い説明(乗務員の職責使命を学ぶ) ・省令変更はこうして行われた意味を把握する(規定改正及び事故対策等を学ぶ)
第8週	事故事例研究③	1.ATSIに関わる事例 ・過去の鉄道事故事例を基に、事故の内容把握と乗務員の取り扱い説明(保安装置の重要性を学ぶ) ・省令変更はこうして行われた意味を把握する(規定改正及び事故対策等を学ぶ)
第9週	事故事例研究④	1.停車に関わる事例 ・過去の鉄道事故事例を基に、事故の内容把握と乗務員の取り扱い説明(重大事故に繋がる事故周知) ・規定改正及び乗務員取扱い変更、各企業の取り扱いに対する相違点説明
第10週	保安装置(ATIS)	1.習熟度確認 ・期末試験対策として、知悉度調査による学生把握度を確認し、期末試験に対する姿勢を見出す ・ATISの仕組みについて説明を行い、乗務員の取り扱いを把握する
第11週	PRC制御	1.期末試験のフィードバック ・全体の知識を確認し、不認識部分を再周知して鉄道係員に対する認識を更に行う ・PRC制御の重要性と、従事する各係員の取り扱いを説明する
第12週	後期のまとめ	1.総まとめ、全体質疑 ・2年生に向けた鉄道に関わる知識を確認し、授業内容に反映する

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	1年	対象クラス	鉄道科	M選択クラス
科目名	鉄道サービス(パーサー)		担当講師	重松・松尾
到達目標 お客さま対応における基礎や心構えを学ぶ 列車内でのサービスに必要な接客スキルやコミュニケーションを身に付ける				
使用テキスト プリント等				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ※期末試験70%、平常点30%				
	テーマ	授業内容		
第1週	鉄道の仕事を知る	鉄道の仕事の職種・それぞれの役割を学ぶ JR九州サービス改善の取り組み 列車・客室乗務員の紹介		
第2週	基礎知識	接遇の基本(基本的な心構え、一期一会の精神、自己管理) ホスピタリティマインド(おもてなしの5Mindを学び、接遇者としての心構えを知る)		
第3週	接遇マナーⅠ	お客さま心理 (お客さまの気持ちになって対応するため、どのような期待を持っていらっしゃるかを考える) 接遇5原則、笑顔(表情のトレーニングを行い、自然な笑顔を身に付ける)		
第4週	接遇マナーⅡ	挨拶(腹式呼吸・発声練習) 身だしなみ(社会人としての身だしなみとは何かを学ぶ) 身のこなし(立ち方、座り方などの実践を行い、美しい立ち居振る舞いを身に付ける)		
第5週	接遇マナーⅢ	言葉遣い (言葉遣いの3要素、敬語、クッション言葉、テスト)		
第6週	接遇マナーⅣ	基本所作(視線、話し方、立ち位置、距離感などを知り、心地良い空間創りを学ぶ) お客さまのご案内(ビジネスマナーなどを学び、お客さま対応に役立てる)		
第7週	車内サービス実務1	ワゴンサービス (目的や役割、気を付けるポイントを知る。また、ワゴンセッティングの考え方を学び、サービスの実践を行う)		
第8週	車内サービス実務2	車内アナウンス (お客さまに好まれるアナウンスや留意点を知る。また、実践を通して、自分の声質や音量を客観的に学ぶ)		
第9週	コミュニケーション1	1分間スピーチ (与えられたテーマに沿って人前で話す、話題選びや話しやすさのポイントを知る) 乗換え案内(ご案内を通して、表情や言葉遣いを意識した対応を学ぶ)		
第10週	コミュニケーション2	コミュニケーションゲーム(グループワーク) ・ゲーム学習を通してコミュニケーションの必要性やチームワークの大切さを知る ・感想、まとめ		
第11週	コミュニケーション3	期末テストの振り返り 九州旅行モデルコース製作(グループワーク) ・JR九州のD&S列車を使った旅行プランを各グループごとに作成、発表		
第12週	まとめ	九州旅行モデルコース製作のつづき まとめ		

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	1年	対象クラス	鉄道科	M選択クラス
科目名	鉄道車両 I (電車)		担当講師	花生 義一
到達目標				
<p>鉄道車両(電車)システムの基礎を学び、技術的な専門知識を身につける 電車線路の基礎を学び、運行所必要知識を学ぶ 鉄道車両に関する法的知識を習得する</p>				
使用テキスト				
<p>わかりやすい鉄道技術(1、2、3) 講師作成資料</p>				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
<p>学期末試験 60% 平常点(小テスト) 40%</p>				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> 電車線路の仕組みを知り、運行に対しての必要条件を学ぶ 変電所のシステムを学び給電システムを知る 電車線路の給電要領を学ぶ
第2週	き電装置	<ul style="list-style-type: none"> き電の種類を知り、各分類を学ぶ 電車の走行に必要なシステムを学び運行状況を知る 各機器名を知り、役目を学ぶ
第3週	電化の歴史	<ul style="list-style-type: none"> 電化の歴史を学ぶことにより電車の歴史を知る 電化に必要な条件を学び何故電車が必要であるか理解する 電化に必要な機器を学び電車の中身を理解する
第4週	集電装置	<ul style="list-style-type: none"> 集電装置の役割・機能、及び電車線との関係について理解する 集電装置の種類、構造・特徴、及び部品名称について学ぶ 満たすべき要件、電流容量・集電性能・パンタグラフの追従性について学ぶ
第5週	電気車の台車	<ul style="list-style-type: none"> 台車の基本的な構造・役割・機能について理解する 駆動装置・動力伝達装置の方式、及びその仕組みについて学ぶ 曲線走行時の輪軸の操舵機能、及び走行安全性について理解する
第6週	電気車の運転台	<ul style="list-style-type: none"> 電車が走行するために必要な運転機器を学ぶ 各機器の必要条件と役割を学ぶ 直流電車と交流電車の運転台の違いを学習する
第7週	直流電動機の回転原理 速度とトルク制御	<ul style="list-style-type: none"> 直流電動機の構造、及び磁気・電気回路を学び回転のしくみを理解する オームの法則を理解し、回転(速度)及びトルク制御について学ぶ 直流電動機の特徴について学ぶ
第8週	直流電気車の制御システム	<ul style="list-style-type: none"> 直流電気車の制御方式と主回路システムについての知識を習得する 抵抗制御方式、インバータ制御方式による制御システムを理解する 直流電気車の制御専門用語、及び半導体など新技術について学ぶ
第9週	交流電気車の制御システム	<ul style="list-style-type: none"> 交流電気車の主回路構成、及び制御システムについて学ぶ PWMコンバータの制御方式、及び電圧制御と電流制御を理解する 交流電気車の専門用語、及び電子機器について学ぶ
第10週	電気車に適用される法律	<ul style="list-style-type: none"> 期末試験対策 車両に適用される法律・規則について理解する
第11週	電気車の電気回路	<ul style="list-style-type: none"> 期末試験に対するフィードバックを行う 振り返りと電気回路を学ぶことにより電車が走行して停止するまでの必要な電気回路を理解する
第12週	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 電車に対する知識の向上度を振り返り、周知濃度を高める 質疑応答による電車に対する知識向上を図る

後期シラバス

2016年度	後期			
対象学年	1年	対象クラス	鉄道科	M選択クラス
科目名	鉄道車両Ⅱ(気動車)		担当講師	花生 義一
到達目標				
気動車の概要を学ぶ 気動車の各機器の特徴と役目を知り、車両に対する知識を高める 気動車と電車の特徴を学ぶ				
使用テキスト				
わかりやすい鉄道技術(1、2、3) 講師作成プリント				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点20%、期末テスト80%				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明を行う 2.気動車の歴史を知り、活用目的と利点を学ぶ 3.気動車と電車の違いを知る
第2週	気動車の種類	1各鉄道会社の気動車列車を知り、車種別使用目的を学ぶ 2.気動車の車種別内容を学び車両構造及び車体の分類を学ぶ 3.車体表記を知り、構造条件を学ぶ
第3週	気動車の車両構造①	1.各車両機器説明を行う 2.床下機器配置の説明を行い走行等に必要車両機器を知る 3.気動車の車内機器、外回り機器等を学び、各機器の役割を知る
第4週	気動車の車両構造②	1.運転台の説明を行い、運転に必要な重要機器類を知る 2.連結器の内容を学ぶ 3.台車の構造を学び、快適さを維持するために必要な条件を学ぶ
第5週	気動車の車両構造③	1.ブレーキ装置の基本を学び、列車の安全走行に必要な条件を学ぶ 2.列車が停止するためには、どのような仕組みであるかを学ぶ 3.ブレーキ弁の構造を学び、自動ブレーキの概要を知る
第6週	動力源	1.ディーゼル機関とガソリン機関の違いを学ぶ 2.ディーゼル機関の使用目的を知り、機関の中身を学ぶ 3.ディーゼル機関の中身を学び、各必要部品の役割を知る
第7週	ディーゼル機関①	1.ディーゼル機関の作動原理を知る 2.ディーゼル機関のストロークを知る 3.燃料噴射に関わる機器と原理を知り、機関の起動する条件を学ぶ
第8週	動力伝達装置	1.動力伝達装置の原理を学ぶ 2.動力伝達に関わる各装置の役割を知る 3.液体変速機の原理を知り、動力伝達の手順を学ぶ
第9週	運転機器	1.運転台の主幹制御器の中身を知り、列車を動かす方法を学ぶ 2.ブレーキ弁の性能と取り扱い方を学ぶ 3.ブレーキ弁ハンドル位置を学びブレーキ作用を知る
第10週	各ブレーキ装置	1.各種保安ブレーキを知り、必要性を学ぶ 2.ブレーキ制御装置の各役割と使用目的を学ぶ 3.期末試験対策
第11週	車両保安装置	1.期末試験のフィードバックを行う 2.車両保安装置を知り、設置目的を学ぶ 3.車種別の車両保安装置を知る
第12週	後期のまとめ	総まとめ、全体質疑

後期シラバス

2016年度		後期	
対象学年	1年	対象クラス	鉄道 科 M選択 クラス
科目名	鉄道駅実務	担当講師	西 政明
到達目標 ・交通全般及び鉄道に関する基礎知識を学ぶ。 ・鉄道業務全般及び駅業務の役割と内容を理解する。 ・駅業務の実態と従事員としての基本スキルを習得する。			
使用テキスト なし			
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点(20%)＋期末試験(80%)			

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション 鉄道一般	・シラバス説明(スケジュール、進め方、評価方法等) ・自己分析 ・交通関連トピックスの解説
第2週	鉄道経営の現状 I	・JRの経緯と経営概況 ・交通関連トピックスの解説 ・コミュニケーションワーク
第3週	鉄道経営の現状 II	・私鉄の経営概況と特徴 ・交通関連トピックスの解説 ・コミュニケーションワーク
第4週	鉄道会社の運営	・鉄道会社の標準的な組織、業務運営体制等 ・交通関連トピックスの解説 ・コミュニケーションワーク
第5週	鉄道の役割・機能	・鉄道の成り立ちと交通上の特性(役割、機能等) ・交通関連トピックスの解説 ・コミュニケーションワーク
第6週	駅業務 I	・駅の業務運営のしくみと仕事概要 ・交通関連トピックスの解説 ・コミュニケーションワーク
第7週	駅業務 II	・鉄道関連業務と付帯業務の概要 ・交通関連トピックスの解説 ・コミュニケーションワーク
第8週	鉄道駅の現状と課題	・駅運営の変遷と今後の役割 ・交通関連トピックスの解説 ・コミュニケーションワーク
第9週	駅社員の適性とキャリアパス	・鉄道会社の社員運用の実態と特徴 ・交通関連トピックスの解説 ・コミュニケーションワーク
第10週	事例研究 I	・駅運営会社の実態と今後の課題 ・交通関連トピックスの解説 ・コミュニケーションワーク
第11週	事例研究 II	・JR駅見学
第12週	まとめ	・JR駅見学の振り返り ・期末試験の振り返り ・質疑

後期シラバス

2016年度 後期			
対象学年	1年	対象クラス	鉄道科 Mクラス
科目名	時刻表	担当講師	花生 義一
到達目標			
JR時刻表を使用して各種旅行プラン計画			
使用テキスト			
・JR時刻表、講師作成資料を使用			
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			
1. 期末試験 80%			
2. 平常点 20%			

	テーマ	授業内容
第1週	時刻表の早見法まとめ	1.1年時の復習により時刻表の便利な使い方を再周知する 2.1年時の復習により各ページの役割と内容再周知
第2週	便利な切符	1.全国各社発売の各種切符を学び、特徴を把握する ・切符の取り扱いを把握する
第3週	プラン作成①	1.見積書作成時の注意点 ・各種記号の把握によりお客さまに対し確認しやすいものを作る ・その他、見積及び契約時の注意点把握(必要最低限に把握する事項等)
第4週	プラン作成②	1.新幹線プラン(国内) ・各班ごとにプランを決め、他の班との頼み側と受け側に別れプランニング作業を行う ・行程見積もり作業を行うことによりお客さまのニーズに合ったプランを計画する
第5週	プラン作成③	1.在来線プラン(国内) ・各班ごとにプランを決め、他の班との頼み側と受け側に別れプランニング作業を行う ・行程見積もり作業を行うことによりお客さまのニーズに合ったプランを計画する
第6週	プラン作成④	1.航空機プラン(国内) ・各班ごとにプランを決め、他の班との頼み側と受け側に別れプランニング作業を行う ・行程見積もり作業を行うことによりお客さまのニーズに合ったプランを計画する
第7週	プラン作成⑤	1.船舶プラン(国内) ・各班ごとにプランを決め、他の班との頼み側と受け側に別れプランニング作業を行う ・行程見積もり作業を行うことによりお客さまのニーズに合ったプランを計画する
第8週	プラン作成⑥	1.バスプラン(国内) ・各班ごとにプランを決め、他の班との頼み側と受け側に別れプランニング作業を行う ・行程見積もり作業を行うことによりお客さまのニーズに合ったプランを計画する
第9週	プラン作成⑦	1.プラン総合(国内) ・プランニング作業の総評及び反省によるスキルアップを図る ・習熟度確認(時刻表を実際に使用して各種問題を解いていく作業)
第10週	プラン作成⑧	1.期末試験の対策 ・習熟度確認により、再確認を行い強弱点を判明する ・時刻表の中身を捜す訓練を行いより早く時刻表を見る力を付ける
第11週	プラン作成⑨	1.期末試験のフィードバック ・時刻表授業に対する意見交換を行う ・青春18きっぷ実施に伴うチーム割と目的を各班決め、2年時の実施に備える
第12週	総合まとめ	1.後期のまとめ ・2年に繋ぐ知識を身に付けるための講義により、鉄道係員の意識を高める

後期シラバス

2016年度		後期	
対象学年	1年	対象クラス	鉄道科 Mクラス
科目名	鉄道業界研究	担当講師	三石 佳代子
到達目標 鉄道業界への就職を目的とし、私鉄を中心とした業界研究を行う。 各鉄道会社の実態と経営戦略、企業理念、最新トピックスを学ぶことで 志望企業の求める人材像を理解し、学生生活でその人材像に近づくことを目標とし志望動機にも活かす。			
使用テキスト ・JR・私鉄・運輸2016 ・講師作成プリント			
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点＋小テストで50%、期末テストで50%			

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション 鉄道会社の組織について	前期振り返り 後期説明 鉄道会社の組織図、鉄道業界でのキャリアパス、福利厚生・休日などについて
第2週	JR西日本	実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える
第3週	JR東日本	実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える
第4週	東京メトロについて	実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える 小テスト1
第5週	東急、東武、西武	実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える
第6週	京急、京王、京成	実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える
第7週	小田急、相鉄、名鉄	実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える
第8週	阪急(阪神)について	実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える 小テスト2
第9週	近鉄、京阪、南海	実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える
第10週	期末テスト対策	これまでに学習した内容を総復習する
第11週	期末テスト振り返り・ 第三セクター、 地下鉄、その他鉄道	期末テストを振り返ることで業界知識を身に付け、志望企業の選定に活かす 主にIBCに過去求人を出した実績のある会社を研究し、 求人が来たら応募できる準備をする
第12週	後期の振り返り	一年間の鉄道業界研究の振り返りとまとめ 実習で企業研究する際のポイント 春休みにできる企業研究を考える

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	1年	対象クラス	鉄道科	Mクラス
科目名	サービス介助士		担当講師	高田 訓代
到達目標 超高齢社会を迎える我が国の現状を知り、社会の中で共に生きている高齢者や障がい者への気づきを得ること。 ①お客さまの立場に立って考え行動するための「ホスピタリティマインド」への気づき ②障がい者や高齢者への思い込みや偏見を捨て去るための「ノーマライゼーション」の考え方を理解する。 ③お客様に安全で安心のできる「介助」を提供できるよう介助の知識を身につける。 ④サービス介助士の資格取得。				
使用テキスト サービス介助士・准サービス介助士資格取得講座テキスト				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 授業態度、提出物、テスト				

	テーマ	授業内容
第1週 9/26	科目ガイダンス 障害者差別解消法とは	サービス介助論で何を学ぶのか、「サービス介助士の活躍」の映像から必要性を理解する 超高齢社会の現状を知るとともに、サービス介助士の必要性を考える 障害者差別解消法とは
第2週 10/3	ホスピタリティ・マインド	ホスピタリティの語源を知り、ホスピタリティとは何かを理解する ホスピタリティを感じた体験について、ディスカッションをするとともに、ホスピタリティマインドを理解する 事前課題の取り組み
第3週 10/17	ノーマライゼーション	ノーマライゼーションの意味とノーマライゼーションとは何かを理解する 障害の種類についての理解を深める 事前課題の取り組み
第4週 10/24	高齢者の理解と介助	高齢者の身体的特徴やかかりやすい病気・特徴的な病気について理解を深める 高齢者の機能低下に対する介助方法について学ぶ 事前課題の取り組み
第5週 10/31	ジェロントロジー	ジェロントロジーとは 将来について考えてみよう(2年後、10年後、そして何歳まで生きるのか) 事前課題の取り組み
第6週 11/7	接遇	サービス介助士としての接遇、どんなひとにも伝わる接遇を理解する 事前課題の取り組み
第7週 11/14	障がい者への理解と介助	車いす使用者への理解を深めるとともに、介助方法について学ぶ 車椅子の種類、操作上の注意点について理解を深める 事前課題の取り組み
第8週 11/21	障がい者への理解と介助	視覚障がい者の概要を知り、見えないことの不便さを理解する 視覚障がい者の誘導方法について理解する 点字について学ぶ 事前課題の取り組み
第9週 11/28	障害者への理解と介助	聴覚障がい者の概要を知り、聞こえないことの不便さを理解する 聴覚障がい者とのコミュニケーション方法について学ぶ
第10週 12/5	障がい者の自立支援	身体障がい者補助犬(盲導犬・聴導犬・介助犬)について知り、身体障害者補助犬法を理解する バリアフリー・ユニバーサルデザインについて
第11週 1/16	実技教習を終了して	実技教習の感想 サービス介助士の学びをどのように活かすかを考える 期末試験の返却と解答解説
第12週 1/23	まとめ	誰もが暮らしやすい社会のために、私たちができることは何かを考える 共生社会の実現のために必要なことを考える

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	1年	対象クラス	鉄道科	Mクラス
科目名	国内観光地理		担当講師	挽田 雅子
到達目標				
<p>国内の観光地・見どころを都道府県ごとに詳しく学びます。 観光箇所の名称・所在地・プロフィール・温泉・祭り・名産品などの観光資源全般の知識を増やします。 観光地の由来や名所の成り立ちなどを写真や動画を参考に習得します。</p>				
使用テキスト				
4国内観光資源 国内観光地理サブノート 旅に出たくなる地図・日本				
成績評価方法				
※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末試験(80%) 平常点(授業態度10% 小テスト10%)				

	テーマ	授業内容
第1週	長野県・岐阜県	長野県の高原・湖・観光地を調べる 岐阜県の山・温泉について学ぶ 国立公園の範囲と含まれる観光地を学習する
第2週	静岡県・愛知県・三重県	伊豆半島の観光スポットについて学ぶ 愛知県の城・渓谷について学習する 三重県の半島・海岸・伊勢神宮について知識を深める
第3週	滋賀県・京都府・大阪府	琵琶湖・比叡山などの観光スポットを調べる 京都の寺社や年中行事について詳しく学ぶ 丹後半島の観光地を学習する
第4週	兵庫県・奈良県・和歌山県	日本海側から瀬戸内海側まで兵庫県の観光地をみる 神社仏閣、霊場、参詣道について詳しく学習する 和歌山県の観光スポットを調べる
第5週	鳥取県・島根県・岡山県	山陰海岸の観光地を学ぶ 出雲・松江について知識を深める 岡山県の観光スポットについて学ぶ
第6週	広島県・山口県・徳島県	宮島・原爆ドームなどの世界遺産について知識を深める 城下町・秋芳洞・青海島などの自然景観を学習する 鳴門の渦潮、阿波踊りなどの観光資源を知る
第7週	香川県・愛媛県・高知県	瀬戸内海の島々・金刀比羅宮などの観光資源を学習する 松山・石鎚山・佐田岬など愛媛の観光地の知識を深める 高知県の観光スポットについて学ぶ
第8週	地理検定対策	地理検定過去問題に取り組む 全国の温泉地を確認する 全国の山・渓谷・岬・滝・観光スポットを覚える
第9週	福岡県・佐賀県・長崎県	福岡県・佐賀県・長崎県の観光スポットについて学ぶ 観光地の歴史的由来について学習する 半島・峠・山などの地理を知る
第10週	熊本県・大分県・宮崎県	熊本県・大分県・宮崎県の温泉・山・島・半島を確認する 国立公園の地域範囲とそこに含まれる観光地を確認する 歴史的建造物や年中行事の知識を身につける
第11週	鹿児島県・沖縄県	鹿児島県の観光スポットについて学ぶ 沖縄本島について、地理や歴史を学習する 宮古諸島・八重島諸島の観光地を調べる
第12週	国内地理総復習	期末テストのフィードバック 国内地理の全体問題を解いて、知識の再確認をする 観光地理に必要な歴史の知識を増やす

後期シラバス

2016年度		後期	
対象学年	1年	対象クラス	鉄道科 Mクラス
科目名	就職活動講座	担当講師	三石 佳代子
到達目標 専門学校に在学し、鉄道を学んでいるという特異性を理解し、鉄道業界に特化した就職活動を行える力を養成する。 鉄道業界に絡めた自己PRや志望動機を考え、鉄道業界に内定を得ることを目的とする。 一学年終了時には自信をもって自分の強みを相手に伝えることができるような人物となることを目指す。			
使用テキスト ・「SUCCESS 勝つための就職ガイド」・就職ノート			
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 提出物・忘れ物・授業態度・就職活動に対する熱意・小テストにより総合的に評価を行う			

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	前期振り返り 後期説明 夏休みの活動から自分の成長を振り返る
第2週	ナビサイト登録	リクナビ・マイナビに登録する インターネットでの企業の検索法 ナビサイトの便利ツールを就活に活かす
第3週	求人情報の収集方法	情報の収集方法と活用 求人票の見方 就職室の利用方法、IBC就活ルールの再確認
第4週	履歴書作成	就職活動に活用するIBCの履歴書を作成する
第5週	自己PR作成	前期作成した自己PRを手直して完成
第6週	志望動機作成 (志望企業編)	前期作成した鉄道業界に対する志望動機に、 志望企業の要素をプラスして完成させる
第7週	模擬面接用 エントリーシート	模擬面接用エントリーシートの書き方を説明し作成する
第8週	学生時代に頑張ったこと のエピソード作成	夏休みの宿題「学生時代に頑張ったこと」のエピソードを手直して完成
第9週	志望動機作成 (実習編)	第7週で作成した鉄道業界に対する志望動機に、 実習に対する心構え、学びたいことなどをプラスして完成させる
第10週	模擬面接の振り返り	模擬面接での結果とフィードバック 反省点・改善点
第11週	エントリーシート作成	志望企業の過去のエントリーシートを参考にして、 エントリーシートの作成手順を確認する そして、実際のエントリーが始まったら、すぐにエントリーシートを作成できる力を養う
第12週	後期の振り返り	一年間の就職活動講座の振り返りとまとめ 実習の注意点 春休みの就職活動について

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	1年	対象クラス	鉄道科	Mクラス
科目名	就職筆記対策 I		担当講師	北村 正雄
到達目標 西日本鉄道(西鉄)、JR九州、JR九州みどりの窓口、JR西日本、JR東海などなど鉄道各社が採用している試験問題は以前はSCOAでしたが、最近ではSPI・GAB・CAB、さらにテストセンター、WEBテストも採用されています。採用試験問題の出題傾向に沿った講義、さらに各自治体の交通局(地下鉄、電車など)の公務員採用試験問題の解説講義により学生が希望する鉄道会社の就職試験に合格するのに必要な学力の修得を目標とします。 学力筆記試験に合格しないと、面接試験に進むことは出来ません。SPI非言語分野は数学とはかなり異なるので中学高校時代に数学が苦手な人も大丈夫、 推論・集合・暗号・命題・位置の問題は頭の体操と思って楽しく学びましょう。				
使用テキスト SPI非言語 テストセンターSCOA WEBテストの傾向に沿った講義JR九州、JR九州みどりの窓口、JR西日本の採用試験の過去問題を中心にオリジナル資料を適宜使用				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				

	テーマ	授業内容
第1週	推論①	推論は中学高校でも学習していない分野です。しかし西日本鉄道始め鉄道会社の採用試験には必ず出題される分野です。問題を見てその場で論理的思考をめぐらして解くので現場的思考を見るのに優れています。得意分野にしましょう。位置 順番
第2週	推論②	方向・平均点など推論は実際に解いてみないと問題自体の意味・解法が全く分かりません。ポイントは短時間で解答出来るか、コツを理解しましょう。WEBにのみ、出題されるのは簡単な連立方程式です。
第3週	損益算①	損益算は普通高校卒業の学生にとっては馴染みが薄く、難しく感じられますが基本からじっくり学習していきます。この分野はJR九州JR西日本みどりの窓口などでは頻出分野です。損益算の公式 定価 売価 原価 利益率の求め方
第4週	損益算②	損益算の応用問題SPI テストセンター WEB SCOAなどの問題の他、鉄道会社の採用試験過去問題を解くことで本試験の傾向を知ることができます。
第5週	命題	この分野は高校数学の学習分野です。命題を大前提に、逆・裏・対偶に関する ド・モルガンの法則を学習します。モルガンの法則を理解したのち三段論法につなげていきます
第6週	確率	確率は必ず出題されます。絶対に理解しておきましょう。確率については最大が1 公式は $0 < P < 1$ Probability 試験のポイントは(少なくとも)余事象の理解です。
第7週	順列	順列の基本的な考えは難しくありません。小中高校の時に理解できていない学生がほとんどです。もう一度じっくり考えてみると必ず理解できます。 公式 nPr $P = \text{permutation}$
第8週	組合せ	順列が理解できないと組合せは理解できません。順列ではABC ACB BAC BCA CAB CBAは別と考えます。組合せでは全て同じと考えます。 公式 nCr $C = \text{Combination}$
第9週	暗号	暗号はSPI SCOAでは重要性は高くありません。しかし情報処理分野では頻出です。文字をアルファベット・数字に置き換える。カナ・ひらがなの順番の入れ替えなど。
第10週	集合	集合分野は極めて重要な分野です。鉄道会社のほとんどで出題が予想されます。ベン図 の理解がポイントです。 いかにか短時間で解答できるか、そのためにはベン図を描けることがもとめられます。
第11週	展開・回転	展開は中学高校の軌跡とは異なります。前後または左右に回転した場合のサイコロの目の位置が出題されます。サイコロ問題の基本的考え。サイコロを前後に回転させても左右の面は変わらない。左右に回転させても前後の面は変わらない。
第12週	総合	公務員採用試験の知能分野(判断推理・数的推理)の採用試験過去問

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	1年	対象クラス	鉄道科	Mクラス
科目名	就職筆記対策Ⅱ		担当講師	北村 正雄
到達目標 筆記試験対策Ⅱは国語・英語(SPI・テストセンター言語分野SCOA言語分野Webテスト) 四字熟語 難読漢字 ことわざ中文・長文の要旨 並び替えの問題を中心に鉄道各社の採用試験問題の出題傾向に沿って、学習していきます。また各自治体の交通局(地下鉄、電車など)受験希望者のため公務員採用試験問題も学習します。学生が希望する鉄道会社の就職試験に合格するのに必要な学力の修得を目標とします。学力筆記試験に合格しないと面接試験に進めません。学生の夢の実現のため全力でサポートします。				
使用テキスト なし 鉄道会社が採用しているSPI・SCOAの問題を中心に、最近のWEBテストとJR西日本・JR九州みどりの窓口の採用試験過去問題				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				

	テーマ	授業内容
第1週	国語 1	SPI SCOA Web(長文の要旨 文章並び替え) 難しい漢字の読み書き ことわざ 四字熟語 同音異義語 同訓異義語
第2週	国語 2	SPI SCOA Web(長文の要旨 文章並び替え) 難しい漢字の読み書き ことわざ 四字熟語 同音異義語 同訓異義語
第3週	国語 3	WEBテスト 構造的把握 各文章の構造が同じグループ
第4週	国語 4	テストセンター ペーパーSPI 2語の関係性
第5週	国語 5	SPI SCOA Web(長文の要旨 文章並び替え) 難しい漢字の読み書き ことわざ 四字熟語 同音異義語 同訓異義語
第6週	国語 6	SPI SCOA Web(長文の要旨 文章並び替え) 難しい漢字の読み書き ことわざ 四字熟語 同音異義語 同訓異義語
第7週	英語 1	テストセンター ペーパーSPI 英語 同義語 対義語単語の意味
第8週	英語 2	JR九州JR西日本みどりの窓口、南国交通などの英語問題 英語のことわざ(一石二鳥 覆水盆にかえらず 早起きは三文の得 郷に入れば郷に従えなど) 類似英語(似ている 追いつく など)
第9週	国語 7	日本文学史・江戸時代(松尾芭蕉 上田秋成 近松門左衛門 井原西鶴ほか) 日本文学史・明治時代以降(二葉亭四迷 森鷗外 樋口一葉 芥川龍之介 島崎藤村ほか)
第10週	国語 8	西洋文学史(アメリカ ヘミングウェイ スタインベック Oヘンリー パールバック) (イギリス シェイクスピア グリーン キャロル ディケンズ) (フランス ロシア カミュ スタンダール ユーゴー ジイド ゴーゴリ トルストイ ドストエフスキー)
第11週	国語 9	SPI SCOA Web(長文の要旨 文章並び替え) 難しい漢字の読み書き ことわざ 四字熟語 同音異義語 同訓異義語
第12週	総合	公務員採用試験の過去問(古典を含む)

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	1年	対象クラス	鉄道科	Mクラス
科目名	就職筆記対策Ⅲ		担当講師	北村 正雄
到達目標 筆記試験対策Ⅲでは、経済、政治、世界地理、日本地理、日本史、世界史、などの社会を中心に時事問題、電気(単位)、生物、地学の分野を、西日本鉄道(西鉄)、JR各社、特にJRやJR九州みどりの窓口など鉄道各社の採用試験問題の出題傾向に沿って、学習していきます。また各自治体の交通局(地下鉄、電車など)受験希望者のため公務員採用試験問題も学習します。学生が希望する鉄道会社の就職試験に合格するのに必要な学力の修得を目標とします。学力筆記試験に合格しないと面接試験に進めません。学生の夢の実現のため全力でサポートします。				
使用テキスト なし				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				

	テーマ	授業内容
第1週	社会保障	日本の社会保障の仕組みと特色 少子高齢社会と社会保障 高齢化社会・高齢者社会・超高齢社会と担税者と消費税 高齢社会と税 日本の税制 租税の種類 直間比率
第2週	世界地理 1	世界地理 (世界各国の首都とその国の使用通貨の呼称 産業) アジア (中国 韓国 東南アジア 南沙諸島西沙諸島問題ほか)
第3週	世界地理 2	世界地理 (世界各国の首都とその国の使用通貨の呼称 産業) ヨーロッパ イギリスのEU離脱後のヨーロッパ アフリカ
第4週	経済 理科 3	金融政策と日本銀行のお仕事 日銀のゼロ金利政策 マネーサプライ SCOA対策 遺伝 人体 光度 照度 電圧 抵抗 天体 IPS細胞他
第5週	経済 4	貨幣の種類 金本位制と管理通貨制度 国際収支 貿易
第6週	経済 5	景気変動 インフレーション・デフレーション・スタグフレーション
第7週	政治 1	天皇制と憲法問題 天皇の生前退位 立法権と国会
第8週	政治 2	行政権と内閣
第9週	政治 3	司法権と裁判所 地方自治と地方分権 地方の時代
第10週	経済 6	資本主義社会と社会主義社会 企業の種類 株式 合名 合資 合同(LLC) 新しい会社法 需要曲線と供給曲線
第11週	経済 7	大企業による市場支配の種類 独占の形態 鉄道・電気などの運賃料金・料金決定と認可 環境問題(オゾン層の破壊 酸性雨 生物多様性)
第12週	社会総合	公務員採用試験の社会分野の過去問

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	1年	対象クラス	鉄道科	Mクラス
科目名	ペン字		担当講師	安藤 清子
到達目標 美しく読みやすい履歴書の配字とバランスを学ぶ				
使用テキスト オリジナルテキスト ボールペン・下敷きなど				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 提出物・小テスト(まとめ)・授業態度				

	テーマ	授業内容	
第1週	履歴書を書く ①	履歴書とは・・・ ・筆記具の種類 ・姿勢、執筆(持ち方)(1) ・平仮名の特徴	偏と旁① (漢字の部分の名称)
第2週	履歴書を書く ②	・姿勢、執筆(持ち方)(2) ・平仮名(あ～ん)の書き方と特徴 平仮名での書き取り練習	偏と旁② (漢字の部分の名称)
第3週	履歴書を書く ③	・片仮名(ア～ン)の書き方と特徴 ・片仮名の書き取り練習	偏と旁③ (漢字の部分の名称)
第4週	履歴書を書く ④	・平仮名、片仮名のまとめ 数字の書き方	偏と旁④ まとめ
第5週	履歴書を書く ⑤	・楷書の特徴(自分の名前) ・名前の字の組み合わせ方(配字とバランス)	筆順①
第6週	履歴書を書く ⑥	・横書きの特徴とポイント ～漢字仮名まじり文～の書き方ー1	筆順②
第7週	履歴書を書く ⑦	・横書きの特徴とポイント ～漢字仮名まじり文～の書き方ー2	筆順③
第8週	履歴書を書く ⑧	・履歴書のレイアウトを考える ・文字の大小、余白を考える	
第9週	履歴書を書く ⑨	・履歴書を書く 氏名 まとめ① 住所 学歴・資格など	提出①
第10週	履歴書を書く ⑩	・履歴書を書く 志望動機・自己PRのレイアウトとまとめ方	提出②
第11週	履歴書を書く ⑪	・履歴書を書く まとめ② 志望動機 自己PR	提出③
第12週	履歴書を書く ⑫	まとめ(第1週～第10週) テスト(実技・理論)	偏と旁(テキスト) 漢字の部分の名称

後期シラバス

2016年度	後期		
対象学年	2年	対象クラス	鉄道科
科目名	鉄道概論IV	担当講師	Nクラス 花生 義一
到達目標 ダイアグラムと車両運用表を使用した運用対応能力を身に付ける 乗務員の行路作成により、乗務員勤務に対する知識を植え付ける			
使用テキスト 「鉄道の仕組み」新星出版社書籍、講師作成プリント、個人作成ダイアグラム使用			
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点20%、期末テスト80%			

	テーマ	授業内容
第1週	ダイアグラム作成作業	1.作業用記号を行路ごと列車に記入する 2.乗務員の動きを把握するための説明を行い、各自が乗務員の作業を把握する
第2週	ダイアグラム作成作業	1.ダイアグラムから乗務員の行路を各自作成準備を行う 2.ダイアグラムと乗務員時刻表及び行路表の照合を行い、よりダイヤに詳しく説明を行う 3.乗務員の作業を把握することにより知識を深める
第3週	乗務員行路表作成作業①	1.ダイアグラムから乗務員の行路を各自作成する ・乗務員の作業を書き込み、1日の動きを把握することにより乗務員の仕事を把握できる ・行路作成時の注意点を周知する
第4週	乗務員行路表作成作業②	1.各自作成した乗務員行路を発表する 2.グループ割を行い、作成した行路表と乗務員時刻表を照合して間違いを正す ・注意点の確認を班ごとに行い発表準備を行う
第5週	乗務員勤務①	1.各班ごと乗務員行路表の発表を行う ・班ごとの解説を行うことで乗務員の勤務に対する知識が認識できる ・行路作成上の注意点を学ぶことによりより深い知識を得られる
第6週	乗務員勤務②	1.各班ごと行路内容計算を行い乗務員勤務を把握する ・行路内容により、班ごとに振分を行い全員が力を合わせ勤務形態を決める ・乗務員職場の雰囲気を経験し、乗務員に対する意識を実感させる
第7週	運用手配実践①	1.各班ごと行路を決め、乗務員手配及び車両手配の応用を学ぶ ・気象異常時に対する乗務員手配を各班ごとを考え発表を行うことにより、各作業内容を把握する
第8週	運用手配実践②	1.各班ごと行路を決め、乗務員手配及び車両手配の応用を学ぶ ・列車遅延に対する乗務員手配と車両手配を考え発表を行う
第9週	運用手配実践③	1.各班ごと行路を決め、乗務員手配及び車両手配の応用を行う ・車両故障に対する乗務員手配と車両手配を考え発表を行う
第10週	運用手配実践④	1.各班ごと行路を決め、乗務員手配及び車両手配の応用を行う ・乗務員疾病に対する乗務員手配を考え発表を行う 2.期末試験対策
第11週	運用手配実践⑤	1.各班ごと行路を決め、乗務員手配及び車両手配の応用を行う ・イベント等による車両増結に伴う乗務員手配及び車両手配を考え発表を行う 2.期末試験フィードバックを行い習熟度を深める
第12週	後期のまとめ	総まとめ、全体質疑と反省を行う

後期シラバス

2016年度 後期				
対象学年	2年	対象クラス	鉄道科	Nクラス
科目名	鉄道実務		担当講師	花生 義一
到達目標				
鉄道運行に伴う、各職種別の異常時取扱いを学びます 異常時対応能力及びお客さま対応能力向上を目指します				
使用テキスト				
「鉄道の仕組み」新星出版社書籍、講師作成プリント、電気配線図				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点20%、期末テスト80%				

	テーマ	授業内容
第1週	鉄道用語説明	1.鉄道運行に必要な用語を学び異常時対応能力を養う 2.用語の役目(必用に応じた使用方説明) 3.防救連に対する重要性の説明を行い対応の基礎を学ぶ
第2週	異常時	1.異常時に対する各役割 ・鉄道係員各職種における異常事対応の説明を行い理解度を深める 2.異常時の対応を実際に仮説を行い各自役柄設定により対応を行うことにより行動能力を植え付ける
第3週	列車遅延	1.列車遅延に対する各職種の対応方 ・各職種別ごとのお客さまに対する異常時対応の実践を行うことにより、お客さま対応能力の習得を行う
第4週	車両故障①	1.各職種の対応方(電車編) ・運転士は、電気配線図を用いて故障原因を解明し異常時対応能力を身に付ける ・運転士以外の職種においてもお客さま対応能力を身に付ける
第5週	車両故障②	1.各職種の対応方(気動車編) ・運転士は、電気配線図を用いて故障原因を解明し異常時対応能力を身に付ける ・運転士以外の職種においてもお客さま対応能力を身に付ける
第6週	保安装置故障①	1.各職種の対応方(出発信号機及び場内信号機) ・運転士及び車掌の対応及び輸送指令員との手続き対応を行い実践に迫った体験を行う ・乗務員以外の職種においてのお客さま対応能力を身に付け、異常時能力向上を目的とする
第7週	保安装置故障②	1.各職種の対応方(転てつ器及びATS) ・運転士及び車掌の対応及び輸送指令員との手続き対応を行い実践に迫った体験を行う ・お客さま対応能力及び保安装置について再周知を行う
第8週	急病人対応	1.各職種の対応方(車内にて急病人発生) ・運転士及び車掌の対応及び輸送指令員との手続き対応を行い実践に迫った体験を行う ・急病人に対する乗務員取扱いの周知を行う
第9週	踏切及び人身事故①	1.各職種の対応方を説明(鉄道人身傷害事故・踏切障害事故) ・運転士及び車掌の対応及び輸送指令員との手続き対応を行い実践に迫った体験を行う ・運転士以外の職種においてもお客さま対応能力を身に付ける
第10週	踏切及び人身事故②	1.各職種の対応方復習と期末試験対策 ・各職別対応の復習とまとめを行い注意すべき点を把握させる ・期末試験の傾向と対策を行う
第11週	異常時対応全般説明	1.期末試験フードバック ・対応能力の判定及び習熟度確認を行う 2.鉄道実務の再周知を行い、より理解を深める
第12週	後期のまとめ	総まとめ、全体質疑を行い、2年間の感想と反省を行う

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	2年	対象クラス	鉄道 科	N クラス
科目名	鉄道業界就業前教育		担当講師	三石 佳代子
<p>到達目標 就職をしたら学生とは違って責任を持って行動することが求められる。 そのため、社会人になった際に学生と違う部分は何であるのかを、鉄道業界での事例を踏まえ学習する。 また、仕事の場面でどう行動するのかを考え、円滑に仕事を進めるために必要なことを知り、 ロールプレイングを交えながらビジネスコミュニケーション力を養う。</p>				
<p>使用テキスト ・講師作成プリント</p>				
<p>成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 授業態度・授業に対する熱意・出席率・小テストなどにより総合的に評価を行う</p>				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	学生と社会人との違い 鉄道業界の組織とは
第2週	会社の法律 ＝就業規則とは？	就業規則の記載事項について学ぶ 社会人として必ず守らないといけないルールを知る
第3週	できる新入社員と言われるためには	報連相の基本 スケジュールリングの大切さ これだけは押さえないビジネスマナー
第4週	給料の内訳を知る	社会保険・労働保険・税金の意味を知り、 使えるお金の範囲で生活をシュミレーションする
第5週	ビジネス自己分析	仕事をするときの自分の行動パターンを推測する 自分の行動パターン知ったうえで、上司・同僚・友人の行動パターンを学び どのように接したら円滑に仕事が進むかを考える
第6週	QC活動とは？	仕事の工夫の基本、トヨタの「カイゼン」を学ぶ 各鉄道会社のQC活動・業務研究を知る 鉄道会社間の交流
第7週	アフター5の過ごし方	懇親会のマナー 残業・休日出勤
第8週	社員旅行プランニング	職場で社員旅行の幹事になったことを想定して、 社員旅行のプランをグループで作成する
第9週	社員旅行プランニング 発表会	前週に作成した社員旅行のプランをグループ別に発表する 入社後の懇親会・社員旅行に活かす
第10週	メンタルヘルス	社会人に多いメンタル不調について学ぶ ストレスや悩みを抱え込まないためにはどうすればよいか検討する
第11週	アンガーマネジメント	怒りのしくみを知り、コントロールする術を学び、円滑な社会人生活を送ることを 目指す
第12週	まとめ	総まとめ、全体質疑

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	2年	対象クラス	鉄道科	Nクラス
科目名	鉄道旅行プランニング		担当講師	花生 義一
到達目標 時刻表とインターネットを使って日本各地への旅行を企画します。 グループで計画した鉄道の旅を実施します。				
使用テキスト :JR時刻表・国内観光資源(JHRS)・旅にでたくなる地図(日本)・国内観光地理サブノート(JHRS) 講師作成プリント				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 1. 提出物 80% 2. 平常点 20%				

	テーマ	授業内容
第1週	鉄道の旅①	JR時刻表を使った鉄道旅行作成 お客様の意向にあったプランニング作業を行う(窓口練習) 見積書作成時に必要な事項を学び、実施作業を行う
第2週	鉄道の旅②	JR時刻表を使った鉄道旅行作成 お客様の意向にあったプランニング作業を行う お客様の予算に似合ったプランニング作業を行う
第3週	定期観光バスの旅①	JR時刻表を使った定期観光バス旅行作成 駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで考える
第4週	定期観光バスの旅②	JR時刻表を使った定期観光バス旅行作成 駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行い発表する
第5週	船舶の旅①	JR時刻表を使った船舶旅行作成 駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで考える
第6週	船舶の旅②	JR時刻表を使った船舶旅行作成 駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行い発表する
第7週	航空の旅①	JR時刻表を使った航空旅行作成 駅業務の中で行う日本の観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで考える
第8週	航空の旅②	JR時刻表を使った航空旅行作成 駅業務の中で行う日本の観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行い発表する
第9週	各種切符の旅①	青春18きっぷで行く旅行作成 各班ごとに、行先行程を作成し、計画表を作成する 1日何キロ乗車可能かをよく考えて作成する作業
第10週	各種切符の旅②	青春18きっぷで行く旅行作成 各班ごとに、行先行程を作成し、計画表を作成する 1日何キロ乗車可能かをよく考えて作成する作業を行う
第11週	各種切符の旅③	青春18きっぷで行く旅行報告 報告書作成および発表用資料作成を行う
第12週	まとめ	プランニング評価 各班ごと旅行行程を発表、評価とフィードバックを行う

後期シラバス

2016年度		後期	
対象学年	2年	対象クラス	鉄道科
科目名	手話	担当講師	Nクラス 鶴田 由香
到達目標 日常会話のレベルアップと聴覚障害者のお客様に対しての具体的な対応法を学ぶ。 接客場面に応じての接客手話ができる 自分の伝えたい内容を手話で表現しろう者の手話を読み取って会話のやりとりができるレベルになる			
使用テキスト 新・手話教室 参考資料としてプリント(接客手話、聴覚障害者に関する資料)			
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 授業態度(手を動かす、伝える努力)+小テスト+期末テスト			

	テーマ	授業内容
第1週	第9講座	・自己紹介のまとめ・指文字復習 ・前期の復習をしましょう
第2週	第10講座	・1日のことを話しましょう ・時間を追っての表現
第3週	第11講座	・1ヶ月のことを話しましょう ・時の経過の表し方
第4週	第12講座 実技・講義	・1年の事を話しましょう ・年・月・季節に関する表現 ・聴覚障害者のお客様への具体的な対応法
第5週	総合練習	・主語をわかりやすく ・会話をレベルアップしよう!
第6週	第13-14講座	・「いつ」「いくら」「いくつ」を使って数に関する表現 ・旅行のことを話しましょう
第7週	第15-16講座	・病院での手話表現 ・学校での手話表現
第8週	第19-20講座	・表情豊かに(表情・強弱・速度) ・具合的表現(様子や形)
第9週	第21-22講座	・具合的表現(動き) ・その場に応じた具体的表現
第10週	第23-24講	・主語をわかりやすく(位置・方向) ・第三者の表現
第11週	手話の場面で読み取る	・聴覚障害者への理解を深める-第27講座の会話練習 ・手話の読み取り
第12週	まとめ	・後期のふりかえり ・手話のまとめ

エアライン科

エアポート科

エアライン・エアポート

学年	科目名	クラス	ページ
1	空港実務	0	96
1	航空業界研究	0	97
1	日本語表現	0V	98
1	アクセス	0	99
1	グラハン業務入門	0	100
1	キャビンサービス	0	101
1	空港英語	0	102
1	就職活動講座	0	103
1	ペン字	0V	104
1	ユニバーサルサービス	0V	105
2	観光地理	QRW	106
2	航空機概論	QRW	107
2	社会情勢研究	QRW	108

エアポート

学年	科目名	クラス	ページ
1	グランドハンドリング (運輸サービス)	V	109
1	グランドハンドリング搭載 I	V	110
1	グランドハンドリング搭載 II	V	111
1	アクセス	V	112
1	エアカーゴ概論	V	113
1	航空業界研究	V	114
1	フライトオペレーション	V	115
1	就職活動講座	V	116

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	1年	対象クラス	エアライン科	〇クラス
科目名	空港実務		担当講師	原田 歩
到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・国際線における基礎知識を習得する ・航空機の安全運航を担う者として、保安に対する心構えをする ・接客の基本を身に付ける 				
使用テキスト				
「ANAグランドスタッフ入門」イカロス出版				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
期末テスト 80% 平常点(小テスト含む)20%				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の目的、進め方、成績評価方法について ・グループ研究について ・前期の復習
第2週	海外の航空会社	<ul style="list-style-type: none"> ・海外の航空会社を知る ・各航空会社の特徴を学ぶ ・航空会社の2レターを覚える
第3週	国際線旅客運送①	<ul style="list-style-type: none"> ・パスポートについて学ぶ ・ビザについて学ぶ ・出入国書類に関する航空会社の責任について学ぶ
第4週	国際線旅客運送②	<ul style="list-style-type: none"> ・CIQの役割を理解する ・国際線における手続きを学ぶ ・国際線におけるお客様の流れを学ぶ
第5週	国際線旅客運送③	<ul style="list-style-type: none"> ・国際線における手荷物のルールを学ぶ ・危険物について復習する ・国際線の機内サービスを学ぶ
第6週	アライアンス	<ul style="list-style-type: none"> ・3つのアライアンスを学ぶ ・各アライアンスの加盟航空会社を学ぶ ・アライアンス加盟によるメリットを理解する
第7週	保安	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ同時多発テロ事件について学ぶ ・全日空機ハイジャック事件について学ぶ ・安全に対し、より一層理解を深める
第8週	海外旅行	<ul style="list-style-type: none"> ・海外旅行における基本知識を学ぶ ・トラブル回避のための注意点を学ぶ
第9週	接客の基本①	<ul style="list-style-type: none"> ・接客の5原則を具体的に学ぶ ・実践できるようになる
第10週	接客の基本②	<ul style="list-style-type: none"> ・接客の5原則を具体的に学ぶ ・実践できるようになる
第11週	アナウンス	<ul style="list-style-type: none"> ・空港や機内における様々な場面でのアナウンスを学ぶ ・寿アナウンスに挑戦する
第12週	グループ発表 まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ研究を発表する ・1年間の復習、補足

後期シラバス

2016年度		後期				
	1	年	対象クラス	エアライン科	0	クラス
科目名	航空業界研究		担当講師	瀧内 洋		
到達目標 空港の現場における仕事の内容を理解し、就職活動に役立つ知識を習得する。 面接の練習を希望に応じて行うほかエントリーシートの書き方についても指導するので、 今学期末に予想される大手各社の就職試験に対応できるようになること。 なお、面接練習、エントリーシートの書き方の指導は、希望者に対して随時行う。 企業研究を早めにスタートさせ、志望先を絞り込むこと。						
使用テキスト エアポートビジネス入門 JAL国内旅客取扱規程 JAL国際線の基本(入社教育教材)						
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末テスト80%、平常点(授業態度、小テスト等)20%						

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	前期の反省 後期の授業について 評価方法説明、小テスト
第2週	パイロットの仕事	パイロットの仕事、安全第一 飛行機の飛び方等 航空会社規程類の相互関係
第3週	キャビンアテンダントの仕事	航空機の座席配置 客室乗務員の仕事、保安要員としての役割
第4週	航務セクションの仕事	運航管理者、オペレーション・オフィサー 運航統制業務 発着管理業務とステーションコーディネーション
第5週	航空会社研究	日本の航空会社とその子会社 空港における業務の分担(委託会社と受託会社) 日本に乗り入れている外国航空会社
第6週	旅客取扱業務	国際線の旅客取扱 制限旅客 搭載書類、渡航書類
第7週	旅客取扱業務2	国内線の旅客取扱 イレギュラー対応 小テスト
第8週	空港の職場	旅客以外の空港の職場 案内、保安 グランドハンドリング
第9週	空港の職場2	給油、機内食 貨物、搭載管理 整備
第10週	総まとめ	自分に適した職種再確認 自己PRと志望動機 確認テスト
第11週	旅客取扱の詳細1	運送約款に基づく旅客取扱の基本再確認 期末テスト反省
第12週	旅客取扱の詳細2	JAL国際線の基本(入社教育教材)に基づき詳細説明

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	1年	対象クラス	エアライン科・エアポート科	OVクラス
科目名	日本語表現		担当講師	久保田 博子
到達目標				
日本語を見直し、美しい日本語を理解する 基礎言語力を伸ばし、日本語表現をブラッシュアップする 日本語検定3級合格レベルに達する 就職試験に備え、文章力をつける				
使用テキスト				
『ステップアップ 日本語講座 上級』東京書籍 ※日本語検定 11月11日(金) ★エアライン科・必須受験★				
成績評価方法				
※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末試験:80% 平常点(授業態度、提出物など):20%				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	後期授業の目的、進め方、成績評価方法について、理解する 夏期休暇中の課題を確認する 前期の復習をする
第2週	日本語検定過去問題①	過去問題(平成23年第1回)解答 間違った問題を見直し、正しく理解し直す
第3週	日本語検定過去問題②	過去問題(平成23年第2回)解答 間違った問題を見直し、正しく理解し直す
第4週	日本語検定過去問題③	過去問題(平成24年第2回)解答 間違った問題を見直し、正しく理解し直す
第5週	日本語検定過去問題④	過去問題(平成25年第2回)解答 間違った問題を見直し、正しく理解し直す
第6週	日本語検定過去問題⑤	過去問題(平成26年第2回)解答 間違った問題を見直し、正しく理解し直す
第7週	日本語検定過去問題⑥	過去問題(平成27年第2回)解答 間違った問題を見直し、正しく理解し直す
第8週	日本語検定復習 表現の基本①	平成28年第2回検定問題を自己採点し、正しく理解し直す 文章作成の基本を学び、書類作成および面接にふさわしい表現を身につける
第9週	表現の基本②	表記上のルールを学ぶ 就職活動に不適切な表現を学ぶ
第10週	表現の基本③	履歴書・エントリーシートを添削し、推敲する(I)
第11週	表現の基本④ フィードバック	履歴書・エントリーシートを添削し、推敲する(II) 後期試験のフィードバック
第12週	応募書類の送付 Eメール活用法 まとめ	送付状・Eメールの書き方の基本を学ぶ 前・後期まとめ

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	1年	対象クラス	エアライン科	〇 クラス
科目名	アクセス		担当講師	横瀬 敦子
到達目標 国内線の予約基本操作に加え、運賃計算・発券などの応用操作を習得する。 1年を通し、実務に役立つ専門用語も学ぶ。 また、アクセス検定・国内2級(2月実施)の合格を目指す。				
使用テキスト AXESS国内予約発券業務の基礎・国内早見表 その他、検定過去問題や練習問題を使用				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点(30% 授業態度や小テストの結果・提出物を含む) 期末試験(70パーセント) アクセス検定・国内2級の合否も評価の対象とする。				

	テーマ	授業内容
第1週	分割①	前期の復習(簡単な予約記録の作成) 作成済みPNRの1部旅客の旅程取消や変更を行う(分割入力)。 分割の入力手順を学ぶ。
第2週	分割②	PNR分割を練習問題を使用し行う。 上記、分割を含む複雑な入力操作について理解し、処理能力を高める。
第3週	運賃・料金①	国内線個人運賃の運賃規則を学ぶ(FCD・FCR入力)。 予約受付期限・取消手数料・発券期限など
第4週	運賃・料金②	国内線個人運賃のシーズンリティーを調べる(FCS入力)。 通常期に加え、繁忙期(ピーク)や閑散期(オフ)の運賃の違いを学ぶ。
第5週	割引運賃の予約①	運賃付空席照会の入力と画面の確認を行う。 国内線・各割引運賃の予約クラスを確認する(JAL下期運賃表使用)。 運賃付空席照会からの予約操作(ウルトラ先得)を行う
第6週	割引運賃の予約②	運賃付空席照会からの予約操作(スーパー先得、先得割引)を行う 運賃付空席照会からの予約操作(特便割引1/3/7/21)
第7週	割引運賃の予約③	株主優待割引運賃の予約を行う その他・割引運賃の予約(身体障害者割引・介護婦省割引・シャトル往復割引 乗継割引7/28・スカイメイト)
第8週	自動発券・運賃計算	PNRの完了～自動運賃計算(FQ入力)～自動発券(ED入力)まで 入力方法を学ぶ。 国内線Eチケットの概要を学ぶ。
第9週	発券リンク	発券情報ファイルの表示について学ぶ。 手入力による発券リンクを行う。 アクセス検定2級準備(検定過去問題でPNR作成を行う・後期まとめも兼ねて)
第10週	検定対策①	アクセス検定・国内2級受検にあたっての注意事項 検定過去問題に取り組む(各自、弱点克服のための課題に取り組む)。 ※授業外の課題有(PNR添削返却有)
第11週	検定対策②	筆記対策を行う 検定過去問題に取り組む(各自、弱点克服のための課題に取り組む) ※授業外の課題有(PNR添削返却有)
第12週	期末テスト	検定過去問題に取り組む(各自、弱点克服のための課題に取り組む) アクセス総まとめ(予約作成から運賃計算と自動発券まで) 期末テスト(前期からの全内容・国内線の予約～運賃・発券まで)

後期シラバス

2016年度	後期			
対象学年	1年	対象クラス	エアライン科	0クラス
科目名	グラハン業務入門	担当講師	吉原 正彦	
到達目標				
グラウンドハンドリングの役割とその内容を理解し、航空輸送全般の基礎知識の習得を目的とする。 グラウンドハンドリング業務とグラウンドスタッフ業務の接点業務について理解させる。				
使用テキスト				
エアライン オペレーション入門(ANA総合研究所) プリント パワーポイント				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
平常点 20%				
期末試験 80%				

	テーマ	授業内容
第1週	グラウンドハンドリング概要	授業内容(授業の進め方、評価方法)を具体的に説明する グラウンドハンドリングの歴史と意義について説明し学ぶ 「グラウンドハンドリングとは」(IATA・ICAO)について学ぶ
第2週	グラウンドハンドリング業務	グラウンドハンドリングの事業形態、業務内容について説明し学ぶ グラウンドハンドリング作業を東京国際空港のFLT例で説明し学ぶ 航空機地上支援機材の動きについて映像を見ながら説明し学ぶ
第3週	航空機誘導業務	マーシャリング・マーシャラの心得、地上誘導信号について学ぶ トーイング(仕事の内容・操作)、プッシュバックについて説明する ブレーキマン(主要作業・作業上の注意・資格要件)について説明する
第4週	ランプ・イン/アウト	ウォッチ作業(監視作業)・ウォッチマン(監視員)の心得・ウォッチマンの位置について学ぶ 安全知識(航空機からの視界・クリアランス・エンジンの注意)について学ぶ グラウンドハンドラーの危険地帯・エンジンへの注意・航空機優先について学ぶ
第5週	地上支援業務	地上支援業務とGSE(地上支援機材)について説明し学ぶ 地上支援業務(到着作業・出発作業)について学ぶ 旅客の降機・搭乗の準備、貨物・手荷物のハンドリングについて学ぶ
第6週	搭載・取り卸し関連業務	航空機の重量・機体の重心位置について学ぶ 手荷物・貨物および郵便物の集荷・分別・通関・引渡し作業と運搬作業について説明する 各輸送モードのコンテナの種類について学ぶ
第7週	搭載・取り卸し業務	概要、作業の基本的考え方、搭載物件の取り扱い、航空機における作業上の注意について説明する 搬出作業一般、ロードシートの見方、ボーイング777への搭載について学ぶ バルク搭載手順、貨物・郵便物・手荷物の搭載について学ぶ
第8週	搭載・取り卸し業務	到着便作業、作業の流れ・情報の収集・作業の準備について学ぶ 搭載監督者業務(到着便・出発便)について説明する 貨物専用機(フレーター)とはどんな飛行機か説明する
第9週	旅客乗降ドアの開閉操作 カーゴドアの開閉操作	旅客乗降ドアの名称、数、構造について学ぶ 旅客乗降ドアの開閉操作、機構、操作禁止のドアについて説明する カーゴ・ドア(貨物室)の開閉作業、その他サービスドアについて説明する
第10週	航空機地上支援機材	パッセンジャ・ボーディング・ブリッジ、パッセンジャ・ステップについて説明する ランプ・イン/アウト作業用GSE、カーゴ・ローダ、ベルト・ローダについて説明する 搭載/取り卸し業務用GSE、ドーリ/カートについて説明する
第11週	機体・客室サービス業務	機内クリーニング、客室用品の搭載取り卸しとセッティングについて学ぶ 機体電源供給作業、機内空調サービス、スタータ・エア供給作業について説明する 機体外部クリーニング、燃料搭載作業、機体の除雪・防水作業について説明し学ぶ
第12週	グラハン入門のまとめ	空港規則(制限区域内の車両安全)・空港内ランプ、誘導路などの標示、標識について学ぶ 飛行機の機種とメーカー及び日本と世界の主要航空会社について学ぶ 後期全体を振り返って復習する

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	1年	対象クラス	エアライン科	0クラス
科目名	キャビンサービス		担当講師	森田 房子
到達目標				
1. 客室乗務員になるための能力・知識を身につける 2. モックアップを使用し、緊急脱出訓練・サービス訓練・アナウンス訓練他を実習する。				
使用テキスト				
プリント・ビデオ				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 実技試験70%と平常点30%(授業態度・提出物)				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	授業の内容・進め方・評価方法について理解させる CAの業務について理解させる CA合格率の現状と対策について理解させる
第2週	第一印象	第一印象の重要性を知る 身だしなみ・お化粧・髪型の個別指導をする 笑顔・スーツの着こなしなどチェック
第3週	CAの業務内容	客室乗務員の一日の仕事の流れを知る ビデオ学習で再確認させる 講師のフライト体験談
第4週	脱出訓練	着陸に失敗時、旅客を機外に脱出させる訓練 どのドアが使えるか確認し、大きな声を出す パニックコントロール「JUMP & SIT」で脱出
第5週	機内業務	搭乗案内・優先搭乗者の援助を体験する 飲み物サービス他、旅客の要望に対応する訓練
第6週	機内業務	手荷物収納状況アナウンス、搭乗御礼アナウンス 離陸時のアナウンス タービュランスのアナウンス、着陸前10分アナウンス、御礼アナウンス訓練
第7週	機内業務	機内販売訓練 旅客の購買意欲を誘うディスプレイ方法や声掛けを学ぶ カードの受け渡し確認、丁寧な包装 御礼の態度の訓練
第8週	機内業務	着陸・スポットインまで、旅客を立たせないこと 御礼挨拶、忘れ物チェック、客室チーフへの報告
第9週	ホテル宿泊時について	シブを離れたとはいえ、仕事の延長線上にあることを理解 派手な服装や、大きい声での会話は慎むこと 常に会社を代表している意識を持つこと
第10週	CAの健康管理	時差・温度差の激しい環境であることを認識する 女性世界の間人間関係にどう対応していくか バランスの良い食事をとること ストレス発散法を見つけること
第11週	自己啓発	英語力UP・ワインソムリエ・日本酒ソムリエなど資格取得 英語以外の外国語に力を注ぐ
第12週	まとめ	全体の復習を行う まとめ

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	1年	対象クラス	エアライン科	0クラス
科目名	空港英語		担当講師	高木 美希
到達目標 航空業界(主に機内)で実際に使われる英語を学び、基本的な会話ができるようになる。 日本だけでなく、世界の航空会社についても学び、視野を広げる。 機内で使われる英会話や語彙を理解し、入社試験や英語の検定試験に備える。				
使用テキスト プリント・パワーポイント・DVD				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末テスト 80% 平常点20点				

	テーマ	授業内容	ミニテスト
第1週	オリエンテーション	前期の授業内容を復習する。 後期の授業概要と目的、成績評価について理解する。	
第2週	エアライン・都市	日本に就航している、代表的な外資系航空会社について学ぶ。 世界の主要都市について学ぶ。	
第3週	機内サービス	機内でのサービスの種類と流れを理解する。 機内でよく使われる英単語を学ぶ。	ミニテスト①
第4週	機内アナウンス	機内での英語アナウンスの種類を理解する。 アナウンス原稿を見ながら、実際に声に出して練習する。	ミニテスト②
第5週	機内アナウンス	アナウンス原稿を見ながら、音読練習する。 アナウンスの機械を通して、実際にアナウンスを体験する。	ミニテスト③
第6週	機内英語	機内での非常用設備の種類と位置を理解する。 救命胴衣を実際に着用し、デモンストレーションを経験する。	ミニテスト④
第7週	機内英語	デモンストレーションの復習と発表を行う。 実際に起こった事故について学ぶ。	ミニテスト⑤
第8週	機内英語	機内に搭載されている飲物、機内食の種類を理解する。 ドリンクサービスやミールサービスの流れを理解する。	ミニテスト⑥
第9週	機内英語	ドリンクサービスやミールサービス時の英会話について学ぶ。 実際に原稿を読みながら、会話の練習を行う。	ミニテスト⑦
第10週	機内英語	病名や症状を英語で表現できるようになる。 機内で起こりやすい症状について学ぶ。	ミニテスト⑧
第11週	期末試験返却	期末試験返却と解説。 ロールプレイでの会話や語彙を復習し、次週のロールプレイに備える。	
第12週	ロールプレイ	英語での接客ロールプレイを経験し、基本的な会話ができるようになる。 ロールプレイ経験を通し、良い接客について考え、発表する。	

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	1年	対象クラス	エアライン科	〇クラス
科目名	就職活動講座		担当講師	山田 邦幸
到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> * 就職活動の重要性を認識させる * 2年生からの就職活動を成果あるものとして行動できるように基本事項(書類等)の完成と応用力を身につける * 就職試験のための具体的方法を習得させ合格を目指す 				
使用テキスト				
<ul style="list-style-type: none"> * 勝つための就職ガイド(NEW SUCCESS)・就職ノート * プリント(その都度配布・毎回過去の分も含めてファイルに綴じて持参すること) 				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
* 提出物・授業態度・身だしなみ・出席率により評価				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> * 授業の進め方・評価方法について・講師自己紹介 * 前期授業の振り返り(就職活動＝航空業界・自己分析・身だしなみ等)と後期授業内容の説明 * 夏休み＆実習を振り返って・就職活動の流れ(入学～2年生前期)
第2週	志望動機・自己PRとエントリーシート・履歴書	<ul style="list-style-type: none"> * 基本的な志望動機・自己PRの書き方 * エントリーシート・履歴書の書き方 * 企業の実際のエントリーシートフォームについての説明
第3週	情報収集と企業研究	<ul style="list-style-type: none"> * 求人環境・航空業界企業リスト・情報収集の方法と活用の仕方 * 企業研究ノート作成方法 * 就職閲覧室・就職情報誌・企業のホームページの利用
第4週	情報収集と企業研究	<ul style="list-style-type: none"> * 志望企業のリストアップ(職種・業務内容・地区・雇用条件等を考えて) * 求人票の見方 * 資料請求の仕方
第5週	情報収集と企業研究	<ul style="list-style-type: none"> * 業界が求める人材・業界と自分の接点 * 企業訪問・OB＆OG訪問準備・アポイントメントの取り方 * 御礼状の書き方
第6週	自己PR作成	<ul style="list-style-type: none"> * 企業でどのように自分の強みを活かせるか？(入社して自分が貢献できること) * 自分の強みとは何か？(前期の自己PRを練り直す⇒入学して半年経過)・他者から見た自分自身と * 自己PRを220字以内で書いてみる(履歴書＝これまでに学校や実習で学んだことを含めて具体的に)
第7週	志望動機作成	<ul style="list-style-type: none"> * なぜその業界・職種を志望するのか文章にする * 志望動機での大切な要素(なぜその会社に入社したいのかを自分の言葉で表現する) * 志望動機を220字以内で書いてみる(履歴書＝企業研究することで第一企業の企業について)
第8週	エントリーシート作成(模擬面接用)	<ul style="list-style-type: none"> * 模擬面接用のエントリーシート作成 * 実際の企業のエントリーシートフォームに基づく作成も考える
第9週	模擬面接に向けて	<ul style="list-style-type: none"> * 面接試験でよくある質問(模擬面接・実際の企業受験＝レジュメ等) * 面接試験での受け答え方法
第10週	模擬面接を振り返る	<ul style="list-style-type: none"> * 模擬面接での結果とフィードバック * 模擬面接での反省点・改善点を振り返る
第11週	就職強化セミナーに向けて(面接・グループディスカッション)	<ul style="list-style-type: none"> * 就職強化セミナーに向けての心構え * 就職強化セミナーに向けての具体的な準備(3ヶ月後の就職試験に備えるためにも) * 面接・グループディスカッション(実施する企業の意図・注意点・練習)
第12週	就職強化セミナーを振り返る まとめ	<ul style="list-style-type: none"> * 就職強化セミナーでの結果とフィードバック・反省点と改善点を考える * 1年間の就職活動講座の振り返り・春休みの過ごし方 * 就職活動直前対策

後期シラバス

2016年度	後期			
対象学年	1年	対象クラス	エアライン・エアポート科	OVクラス
科目名	ペン字	担当講師	安藤 清子	
到達目標 美しく読みやすい履歴書の配字とバランスを学ぶ				
使用テキスト オリジナルテキスト ボールペン・下敷きなど				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 提出物・小テスト(まとめ)・授業態度				

	テーマ	授業内容	
第1週	履歴書を書く ①	履歴書とは・・・ ・筆記具の種類 ・姿勢、執筆(持ち方)(1) ・平仮名の特徴	偏と旁① (漢字の部分の名称)
第2週	履歴書を書く ②	・姿勢、執筆(持ち方)(2) ・平仮名(あ～ん)の書き方と特徴 平仮名での書き取り練習	偏と旁② (漢字の部分の名称)
第3週	履歴書を書く ③	・片仮名(ア～ン)の書き方と特徴 ・片仮名の書き取り練習	偏と旁③ (漢字の部分の名称)
第4週	履歴書を書く ④	・平仮名、片仮名のまとめ 数字の書き方	偏と旁④ まとめ
第5週	履歴書を書く ⑤	・楷書の特徴(自分の名前) ・名前の字の組み合わせ方(配字とバランス)	筆順①
第6週	履歴書を書く ⑥	・横書きの特徴とポイント ～漢字仮名まじり文～の書き方ー1	筆順②
第7週	履歴書を書く ⑦	・横書きの特徴とポイント ～漢字仮名まじり文～の書き方ー2	筆順③
第8週	履歴書を書く ⑧	・履歴書のレイアウトを考える ・文字の大小、余白を考える	
第9週	履歴書を書く ⑨	・履歴書を書く 氏名 まとめ① 住所 学歴・資格など 提出①	
第10週	履歴書を書く ⑩	・履歴書を書く 志望動機・自己PRのレイアウトとまとめ方 提出②	
第11週	履歴書を書く ⑪	・履歴書を書く まとめ② 志望動機 自己PR 提出③	
第12週	履歴書を書く ⑫	まとめ(第1週～第10週) テスト(実技・理論)	偏と旁(テキスト) 漢字の部分の名称

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	1年	対象クラス	エアライン・エアポート科	OVクラス
科目名	ユニバーサルサービス	担当講師	原田 歩	
到達目標				
1. 高齢者や障害者が不自由に感じていることに対し、理解を深める 2. 空港にいらっしゃる様々なお客様を理解し、対応できるようになる 3. 仕事だけでなく、日常生活でも気付き、実践できるようになる				
使用テキスト				
「接客・接遇のためのユニバーサルサービス基本テキスト」日本能率協会マネジメントセンター				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
期末テスト 80% 平常点 20%				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション 高齢者へのサービス①	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の目的、進め方、成績評価方法について ・実習や夏休み期間の気付きを共有する ・高齢者についての基本知識を学ぶ
第2週	高齢者へのサービス②	<ul style="list-style-type: none"> ・加齢に伴う心身の変化を学ぶ ・高齢者の方の日常生活の一部を体験し、理解を深める
第3週	高齢者へのサービス③	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢社会について考える ・私たちができることを考え、共有する
第4週	高齢者へのサービス④	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症についての基本知識を学ぶ ・高齢のお客様への接客を学ぶ
第5週	お客様に応じたサービス ①	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠中のお客様についての基本知識を学ぶ ・妊娠中のお客様が不便に感じていることを学ぶ
第6週	お客様に応じたサービス ②	<ul style="list-style-type: none"> ・小さなお子様連れのお客様が不便に感じていることを学ぶ ・店舗や施設でのサービスを共有する
第7週	お客様に応じたサービス ③	<ul style="list-style-type: none"> ・小さなお子様連れのお客様が、店舗や施設で快適に過ごすために必要なことを考え、共有する
第8週	お客様に応じたサービス ④	<ul style="list-style-type: none"> ・知的障害、発達障害、精神障害、言語障害についての基本知識、及び接客を学ぶ ・困難に感じていることを学ぶ
第9週	お客様に応じたサービス ⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・内部障害についての基本知識を学ぶ ・パニック障害やピーナッツアレルギーなどについて学ぶ
第10週	お客様に応じたサービス ⑥	<ul style="list-style-type: none"> ・空港のカウンターを想定し、あらゆるお客様を接客する ・それぞれに合った適切な対応を学ぶ
第11週	お客様に応じたサービス ⑦	<ul style="list-style-type: none"> ・空港のカウンターを想定し、あらゆるお客様を接客する ・それぞれに合った適切な対応を学ぶ
第12週	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間の復習、補足

後期シラバス

2016年度 後期				
対象学年	2年	対象クラス	エアライン・エアポート科	QRWクラス
科目名	観光地理		担当講師	金森 和彦
到達目標 * 主要都市の文化・風習など幅広い知識を身につける 現地での交通機関や特産品について学ぶ 世界と日本との繋がりを観光資源を通して理解する				
使用テキスト プリント(主要国の地図・写真) パワーポイント・演習帳				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする ・平常点 20% ・期末試験 80%				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション スイス	授業の進め方の説明 スイスアルプスと避暑地の説明
第2週	ドイツ	ドイツの観光名所である古城街道、エリカ街道、メルヘン街道について学ぶ 旧西ドイツ・東ドイツの文化の違いについて
第3週	インド	ムガル帝国の功績とシャージャハンが造った世界遺産タージマハールについて学ぶ 世界の屋根であるヒマラヤ山脈の山々の観光資源に関して深く学ぶ 主要都市と空港の交通機関について(デリー、アクラ、ムンバイ、ベナレスなど)
第4週	オーストリア & ハンガリー	ハプスブルク家の文化について マジャール人の開発した文化について
第5週	スペイン	主要都市と空港の交通機関について(マドリード、バルセロナなど) 海浜リゾート地の説明(マラガ、バルセロナについて)
第6週	トルコ	主要都市と空港の交通機関について(アンカラ、イスタンブール、イズミール、トロイなど) オリエンタル急行の果たした役割と東ローマ帝国の首都として栄えたイスタンブールの歴史
第7週	ブラジル	南アメリカ最大の国ブラジルの文化について 黒人文化の伝来について リゾート地、リオデジャネイロの観光について
第8週	オーストラリア	オセアニア大陸に生息するめずらしい生き物について 南部のリゾート地について エアーズロックについて
第9週	日本(西日本の主要都市 について)	関西、九州の主な観光資源について 西日本の食文化について
第10週	日本(東日本の主要都市 について)	関東、東北、北海道の主な観光資源について 東日本の世界遺産について
第11週	日本(九州の主要都市に ついて)	福岡を中心に主な観光資源について 九州の世界遺産について
第12週	まとめ	世界地図から位置関係を学ぶ

後期シラバス

2016年度				
対象学年	2年	対象クラス	エアポート・エアライン科	QRWクラス
科目名	航空機概論		担当講師	樽見 俊六
到達目標				
航空機の機体構造・運航システムを理解し実務において効率的なハンドリングに寄与することを目的とする				
使用テキスト				
プリント教材				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
期末試験80% + 平常点20%				

	テーマ	授業内容
第1週	コース紹介	後期カリキュラムの確認・成績評価方法・航空業界の動向 航空法による航空機とは
第2週	飛行機の機体構造	フェイル・セイフ設計 枠組み(骨組み)・モノコック構造・胴体
第3週	”	エルロン(補助翼)・水平尾翼・垂直尾翼・昇降舵・方向舵・垂直安定版
第4週	”	フラップ・フライト/グランドスポイラー・着陸装置・ブレーキシステム
第5週	”	アンテナシステム・いろいろな航空灯 / 座席・ドア
第6週	緊急・保安対策	非常用設備案内・安全のしおり・エスケープスライト / 救命ボート(筏) いろいろな航空保険
第7週	”	非常用装備品・酸素マスク・消火機器・医薬品・医療機器
第8週	ウェイトアンドバランス	Loading Plan と Weight and Balanceの関連・いろいろな機体重量 (なぜWeight and Balance が必要なのか)
第9週		気圧高度とは・飛行速度の計測について (巡航高度・速度について学ぶ)
第10週	防火システム	火災検知システム(火災・煙検知器)・消火システム(消火器・消化剤発射システム)
第11週	警報システム	期末テスト総復習 いろいろな警報システム
第12週	後期総復習	後期授業の復習と確認 Q and A

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	2年	対象クラス	エアライン科・エアポート科	QRWクラス
科目名	社会情勢研究		担当講師	久保田 博子
到達目標	<p>新聞を通じて社会情勢について理解する メディアリテラシーの能力を身につける 自分の意見をまとめ、表現する 客観的・論理的な考え方を身につける</p>			
使用テキスト	<p>※指示により新聞持参 ※電子辞書持参</p>			
成績評価方法	<p>※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 提出物、授業内プレゼンテーション、授業態度等で評価する</p>			

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	授業の目的、進め方、評価方法について 新聞の基礎知識を学ぶ 新聞文章の特徴をつかむ
第2週	新聞を読む①	新聞を効率的に読むために、新聞構成を理解する 新聞独特の文体に着目する 事実の記述と意見の記述を識別する
第3週	新聞を読む②	新聞記事をもとに一分間スピーチの準備 「私のトップニュース」
第4週	私のトップニュース	「私のトップニュース」 一分間スピーチ 質問、意見交換
第5週	新聞を読む③	社説を分析する 難解語句を抜き出し、意味を調べる 背景となる社会情勢を調べ、要旨をまとめる
第6週	社説	まとめた社説を発表 質問、意見交換
第7週	新聞を読む④	コラムを分析する 難解語句を抜き出し、意味を調べる コラムの構成を分析し、要旨をまとめる
第8週	コラム	まとめたコラムを発表 質問、意見交換
第9週	新聞を読む⑤	新聞広告を分析する どのような年齢層の人をターゲットにした広告か考える 面白い表現や気になる表現を抜き出し、理由を分析する
第10週	新聞広告	自分独自の広告文を書く 発表、意見交換
第11週	新聞を読む⑥	新聞記事の中から気になる記事を見つける ディスカッションの準備をする
第12週	ディスカッション まとめ	相手の話を理解し自分の意見を述べるようにする

後期シラバス

2016年度	後期			
対象学年	1年	対象クラス	エアポート科	Vクラス
科目名	グランドハンドリング(運輸サービス)		担当講師	佐竹 恵一
到達目標 機側作業以外のグランドハンドリング業務の知識を習得し、航空業界の視野を広げ理解することを目的とする。 旅客・手荷物・客室ハンドリング、業務の基礎知識を身につける。 グランドハンドリング業務全般に精通した、マルチな人材になることを目的とする。				
使用テキスト プリント配布およびPower Point				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末試験・・・80% / 平常点(出席・聴講態度・小テストの総合評価)・・・20%				

	テーマ	授業内容
第1週	旅客ハンドリング (到着業務)	到着MEET業務について 受託手荷物返却業務について 到着ロビーにおけるアナウンス業務について
第2週	旅客ハンドリング (手荷物事故)	未着手荷物について 未引取り手荷物について 破損手荷物について
第3週	手荷物ハンドリング	ソーティング作業の概要について 手荷物の積み付け業務について 手荷物のブレイクダウン業務について
第4週	特別旅客	4-LETTER CODEについて お手伝いを必要とする旅客の概要について
第5週	特別旅客	車椅子・ストレッチャーの使用方法について 車椅子・ストレッチャーを使用時のロールプレイ
第6週	客室清掃	機内クリーニング作業の概要について 機内用品について 機内遺失物について
第7週	客室清掃	モックアップを利用時の客室清掃ロールプレイ
第8週	運送系危険物1	危険物教育の必要性について 危険物規則の概要について 危険物の分類について
第9週	運送系危険物2	危険物の小テスト
第10週	後期まとめ(総括)	後期復習(重点) 期末試験に向けて
第11週	後期試験の振り返り	期末テストの返却 期末テストの回答・解説
第12週	まとめ	前期・後期の総復習 これからの航空業界について これからのグランドハンドリング業界について

後期シラバス

2016年度	後期		
対象学年	1年	対象クラス	エアポート科 Vクラス
科目名	グランドハンドリング搭載 I	担当講師	吉原 正彦
到達目標			
航空機の安全運航を第一に定時制、快適性など航空機運航の基本要件を満たすための質の高い知識が要求されるグランドハンドリング業務に必要な関連知識の習得を目的とする。			
使用テキスト			
航空機のグランドハンドリング(日本航空技術協会) パワーポイント			
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			
平常点 20%			
期末試験 80%			

	テーマ	授業内容
第1週	旅客乗降ドアの開閉機能	航空機、機種ごとの旅客乗降ドアの名称、数について学ぶ 航空機、機種ごとの旅客乗降ドアの内部構造、機構とモード切り替え機能について学ぶ 航空機、旅客乗降ドアL1/R1～L4/R4ドアとL5/R5ドアの機構の違いについて説明する
第2週	カーゴ・ドアの開閉機能	航空機、機種(旅客機)ごとの貨物室の位置とカーゴ・ドアの大きさ、機構について学ぶ 貨物専用機、貨物室の位置とカーゴ・ドアの大きさ、機構について学ぶ カーゴ・ドアの機能、等について映像を見ながら説明する
第3週	パッセンジャ・ボーディングブリッジ機能 パッセンジャ・ステップ機能	パッセンジャ・ボーディング・ブリッジの機能、操作方法について学ぶ パッセンジャ・ステップの種類、機能、操作方法について学ぶ パッセンジャ・ボーディング・ブリッジの機能、等について映像を見ながら説明する
第4週	機体サービス作業	航空機、機体外部クリーニングの種類、作業域、作業方法について学ぶ 機種ごとのラバトリー数、タンクの大きさ、サービスパネルの位置について学ぶ 機種ごとのウォータータンクの大きさ、サービスパネルの位置について学ぶ
第5週	機体サービス作業	機内空調サービス(低圧空気)の供給作業について概要を説明する 機体電源供給作業の操作方法、サービスパネルの位置について学ぶ スタータ・エア(高温高圧空気)供給作業について概要を説明する
第6週	客室サービス作業	機内クリーニングの種類、作業者の訓練・資格について学ぶ 客室用品の搭載取り卸しとセッティングについて概要を説明する 客室用品の補充・受け入れ作業について概要を説明する
第7週	燃料搭載作業	航空燃料とは！(航空ガソリンとジェット燃料の違い)について学ぶ 搭載量(燃料オーダ)、給油方式(フューエラー方式・ハイドランド方式)について学ぶ 燃料搭載作業手順(フューエラー方式・ハイドランド方式)について説明する
第8週	機体の除雪・防氷作業	防除雪氷液の種類、性能について学ぶ ホールドオーバータイムの意味、変化する要因、ガイドラインに示された気象条件について学ぶ フロー・オフ特性、防除雪氷機材について説明する
第9週	航空機地上支援機材	カーゴ・ローダの種類・資格・作業安全上の注意事項について学ぶ 搭降載業務用GSEの車両・ドーリ・カートの種類・資格・作業安全上の注意事項について学ぶ 機体サービス作業用GSE・客室サービス作業用GSEの種類、特性について学ぶ
第10週	ヘリコプタ/小型飛行機のグランドハンドリング業務	ヘリコプタのグランドハンドリング業務の概要について学ぶ 小型飛行機のグランドハンドリング業務の概要について学ぶ
第11週	安全管理・品質管理	安全管理一般(ヒューマンエラーの防止等)・機体付近の安全について学ぶ 高所作業の安全(転落による危険防止・作業に係わる高所作業車の操作資格)について学ぶ 品質管理一般・作業の安全と品質・品質管理の効用とコストについて学ぶ
第12週	資料編 (グラハン関連情報)	ULDの種類とタイプおよびIATA IDコードについて資料を基に説明する グランドハンドリング・サービス・ポイントの寸法及び位置について学ぶ 空港規則(制限区域内の車両安全)・空港内ランプ、誘導路などの標示、標識について学ぶ

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	1年	対象クラス	エアポート科	Vクラス
科目名	グランドハンドリング搭載Ⅱ	担当講師	吉原 正彦	
到達目標				
航空関連業務に興味を持たせ、航空業界就職後に活用できる基礎的知識の習得を目的とする。 航空業界に携わる幅広い分野の業務内容を理解することを目的とする。				
使用テキスト プリント パワーポイント				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
平均点 20%				
期末試験 80%				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	後期授業内容(授業の進め方・成績評価方法)を具体的に説明する 前期授業内容(航空業界の基礎的知識)のまとめを説明し再度学ぶ 昨今の航空情勢・航空業界の動向について理解する
第2週	航空保安対策	航空法・航空法施行規則・空港管理規定について説明する 空港における警戒態勢の強化について学ぶ 空港セキュリティの現状を理解する
第3週	空港管理規則	空港規則(制限区域内の車両安全)と用語の定義について学ぶ 空港制限区域立入承認証、制限区域の範囲、立入区域について学ぶ 空港制限区域安全管理規定について説明する
第4週	IATA危険物	危険物の定義・危険物の取扱体制について学ぶ 法令及び諸規則の概要を理解する 危険物の分類について学ぶ
第5週	IATA危険物	航空輸送禁止の危険物について学ぶ 放射性物質のマーキング及びラベリングについて学ぶ 旅客機で輸送される危険物貨物、貨物専用機で輸送される危険物貨物について学ぶ
第6週	運航の管理と運航管理者	運航管理を行う組織体制(OCG・STC)について学ぶ 運航管理者の業務(飛行実施計画の作成と承認)について学ぶ オペレーション(安全・定時・快適・お客様のニーズを反映させた航空機の運航)の実施を学ぶ
第7週	管制業務	管制官の仕事(航空交通の整理・運航情報の提供・緊急事態発生時、等)について説明する 管制官とパイロットの交信内容について理解させる 管制間隔、空域の有効利用について学ぶ
第8週	運航に影響する気象現象	ジェット旅客機が飛行する大気層(対流圏・成層圏)について学ぶ 大気中の気象現象について説明する 乱気流・乱気流・気団と前線・雷について学ぶ
第9週	旅客運送業務	受託手荷物・機内持込み手荷物の確認について学ぶ 特殊手荷物(車椅子・危険物・ペット・長尺物、等)の取り扱いについて学ぶ 旅客運送(旅客運送約款)、運送の拒否および制限について説明する
第10週	CAの保安業務	保安業務全般について説明する 離着陸時の安全確保(安全性チェック)について学ぶ 航行時の安全確保・安全阻害行為、等について学ぶ
第11週	緊急時の対策	緊急事態(緊急着陸水・火災・減圧、等)について説明する 非常用装備品(酸素マスク・ライフベスト・酸素ボトル、等)の搭載について学ぶ 医薬・医療品(聴診器・血圧計、等)の搭載について学ぶ
第12週	保安検査とCIQ	保安検査の目的について学ぶ CIQ(税関・出入国審査・検疫)の基礎について理解する 出入国審査とグランドスタッフの連携、税関と航空会社について学ぶ

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	1年	対象クラス	エアポート科	V クラス
科目名	アクセス		担当講師	横瀬 敦子
到達目標 国内線の予約基礎に加え、国内線個人運賃の運賃計算や発券などの応用操作を習得する。 アクセス検定・国内3級受検にむけ、練習問題を多くこなし国内3級の全員取得を目指す(11月実施)。				
使用テキスト AXESS国内予約発券業務の基礎・国内早見表 その他、練習問題や検定過去問題				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点(30% 授業態度や小テストの結果・提出物を含む) 期末試験(70パーセント) アクセス検定・国内3級の可否も評価の対象とする。				

	テーマ	授業内容
第1週	分割	前期の復習(基本PNRの作成を行う) 分割手順を学ぶ(1部旅客の変更取消操作を行う)。 上記、分割を含む複雑な入力操作を理解し処理能力を高める。
第2週	運賃・料金	個人割引運賃の運賃規則を学ぶ(FCR入力で手数料などを調べる)。 個人割引運賃のシーズンリティーを学ぶ(FCS入力で通常期・繁忙期・閑散期 運賃の違いを確認する)
第3週	検定対策①	アクセス検定・国内3級受検にあたっての注意事項を説明する。 合格するための操作手順を学ぶ。 検定過去問題に取り組む(※授業外の課題有)。
第4週	検定対策②	国内3級・筆記対策 検定過去問題に取り組む(各自、弱点克服のための課題に取り組む)。 ※授業外の課題有(添削PNR返却有)
第5週	検定対策③	検定過去問題に取り組む(各自、弱点克服のための課題に取り組む)。 ※授業外の課題有(添削PNR返却有)
第6週	検定対策④	検定過去問題に取り組む(各自、弱点克服のための課題に取り組む)。 ※授業外の課題有(添削PNR返却有)
第7週	検定対策⑤	検定過去問題に取り組む(各自、弱点克服のための課題に取り組む)。 ※過去問題終了後、自己採点を行う
第8週	割引運賃の予約①	運賃付空席照会の入力と画面確認を行う。入力と画面の確認を行う 運賃付空席照会からの予約操作(ウルトラ・スーパー先得・先得割引)
第9週	割引運賃の予約②	運賃付空席照会からの予約操作(特便割引1/3/7/21) その他の割引運賃について(身体障害者割引・介護婦省割引・シャトル往復割引 乗継割引7/28・スカイメイト)
第10週	運賃計算と自動発券	株主優待割引運賃の概要を学び予約操作を行う PNR完了後、運賃計算(FQ操作)～自動発券(ED操作)まで行う 空港情報について(天気・発着情報)学ぶ。
第11週	発券リンク	発券ファイル表示について 手入力による発券リンクを行う。
第12週	期末テスト	総まとめ(PNR操作・予約～運賃確認～発券まで) 期末テスト(前期からの予約～割引運賃の概要と予約や発券まで)

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	1年	対象クラス	エアポート科	Vクラス
科目名	エアカーゴ概論		担当講師	松下 良朗
到達目標 グローバル化する世界貿易の中で物流の軸となる航空貨物輸送を様々な角度から分析しグラウンドハンドリングの基礎となる航空貨物の受託から引き渡しまでを体系的に学び貨物輸送の流れを理解する				
使用テキスト 適宜 プリント 資料配布				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ※期末試験80% 平常点20%				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	コース概要説明・授業の進め方
第2週	航空機について学ぶ	航空機の種類・飛行機の原理 貨物室の耐空性 貨物専用機等 機種別搭載諸元を理解する ULD Unit Load Devicesの種類を学び貨物搭載の基礎を学ぶ DIM GUIDE コンツアーを ULD輪郭 適合性 ID コードを知る
第3週		BULK LOADING方式とULD LOADING 方式 WIDE BODY機/NALLOW BODY PAY LOADについて理解する 貨物室のSIZE(容積)と安全基準・積み付け基準を学ぶ
第4週	航空貨物基礎(DOM)	日本の空港について(路線・貨物需要)陸上輸送との違い 航空貨物で運ぶ意味を学ぶ 貨物受託/運送手続き/荷役作業/運送体系/特殊貨物を知る 航空貨物輸送の価格 スピード 貨物品目について学ぶ
第5週		貨物受託 (受託の可否 AVI DG DIP HUM PER WET)を学ぶ 3コード代理店コード AL コード 便名 航空貨物用語について 積み付け基準 搭載積み付け運送用具 固縛方法 計量方法を知る
第6週		運送 航空運送状 運賃算出 割引運賃 重量遞減制混載運賃 を理解する 容積重量 発送取扱い(CLM)を理解する
第7週		航空危険物輸送の概要を学ぶことで航空業界での危険物取扱いの知識を深める IAEA規則:UN COE:ICAO T/I :国内法規:国内法規:IATA DGR 航空法86or86.2/施行規則/爆発物等の輸送基準告示/放射性物質等の輸送の告示
第8週	危険物について	危険物規則(IATA DGR)の見かた(適用/制限/包装/包装基準/書類作成/取扱い 取扱いF/C:受託:受託要件: 特殊貨物 動物 危険物 貴重品の受託 について理解する
第9週	受託・発送・到着・引き渡し	航空機出発作業から到着作業の流れを知る
第10週		到着から貨物引き渡しまでを理解する
第11週	後期期末試験フィードバックおよび授業まとめ	期末試験解説及び出題問題を中心とした復習
第12週	後期期末試験フィードバックおよび授業まとめ	期末試験解説及び出題問題を中心とした復習

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	1年	対象クラス	エアポート科	Vクラス
科目名	航空業界研究		担当講師	吉原 正彦
到達目標				
航空業界の幅広い知識を習得し円滑で効率的なハンドリングを実務で果たすことを目標とする。 空港ではどのような業務が行われているかを理解する。				
使用テキスト				
エアポートビジネス入門 パワーポイント 必要に応じプリント配布				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
平常点 20%				
期末試験 80%				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	後期授業内容(授業の進め方・成績評価方法)を具体的に説明する 前期授業内容(航空業界と歴史)のまとめを説明し再度学ぶ 航空業界の今後の動向について資料を基に説明する
第2週	航空旅客業務の仕事	旅客業務の一般的な流れについて学ぶ 空港における旅客業務のポイントについて学ぶ ホスピタリティ産業としての基本的な心構えについて学ぶ
第3週	航空旅客業務の仕事	旅客送迎サービスに際して必要な心構えについて学ぶ 出発便と到着便の旅客送迎サービス業務の要点を流れに沿って学ぶ 旅客送迎サービスで遭遇するトラブル事例への対処方の要点を学ぶ
第4週	航空貨物業務の仕事	航空貨物業界の実績推移を把握し航空貨物輸送の特徴を学ぶ 航空貨物の業務について航空貨物業者と航空会社の分担、一般的な流れを学ぶ 航空貨物の搭載方式と荷役機器について、その概要を学ぶ
第5週	航空保安	保安対策基準の脅威レベル(I・II・III)について学ぶ 搭乗旅客および機内持ち込み手荷物に関わる保安対策基準について学ぶ 受託手荷物に関わる保安対策基準について学ぶ
第6週	運送約款	定義・約款の適用・途中降機・運賃及び経路について説明し学ぶ 航空券の発行と効力、有効期間、座席予約、運送の拒否および制限について学ぶ 航空券の種類・搭乗時に使う用語、フライトの方法等、について学ぶ
第7週	航空機運航情報	運航スケジュールの見方(ITV・DEP)について学ぶ 飛行機の登録番号「SHIP NUMBER」について学ぶ ULDの種類とタイプおよびIATA IDコードについて学ぶ
第8週	CIQ業務	制限区域内への立ち入りについて具体的に説明する CIQ(税関の検査・入国審査・検疫検査)について学ぶ 包括パス(外航機との交通・CIQ制限区域内)について学ぶ
第9週	CIQ業務・空港規則	包括パスの種類、CIQ構内等への立ち入り時の注意事項について学ぶ 税関パス点検体制について説明する 空港規則(制限区域内の車両安全)について学ぶ
第10週	航空業界用語	運航・航空機・整備・空港施設・取り扱い・人員関係用語について学ぶ 飛行機の座席、構造に関する用語・航空一般用語について学ぶ 航空業界用語について小テストを実施し理解する
第11週	航空連合・航空協定	航空連合(航空会社間の連合組織)について学ぶ 航空協定(二国間航空協定)、オープンスカイ協定について学ぶ ハブ空港(広域航空路線網の中心として機能する空港)について学ぶ
第12週	まとめ	後期全体を振り返って復習を行う

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	1年	対象クラス	エアポート科	Vクラス
科目名	フライト オペレーション		担当講師	樽見 俊六
到達目標				
航空機の運航に必要な知識を習得し運航管理の効率を向上しかつ安全・定時運航に寄与することを目標とする。				
使用テキスト				
プリント教材				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
期末試験(80%)＋平常点(20%)				

	テーマ	授業内容
第1週	コース紹介	前期カリキュラムの確認・授業の進め方・成績評価方法 航空業界の動向・オペレーション/管制業務の用語
第2週	航空局の業務概要	航空局の歴史と役割り・いろいろな空港施設について
第3週	運航管理	運航管理の業務概要(運航管理に関する用語とその意味)
第4週	離陸速度	離陸速度と離陸距離・加速停止距離・着陸距離
第5週	搭載燃料	航空機の運航に必要な搭載燃料と滞空時間の計算
第6週	運航に必要な計算の単位	距離・速さ・高さ・重さ・量を測る単位
第7週	航空気象	地球・気圧・天気とは
第8週	”	いろいろな気象現象(雨・霧・霞・前線とは)
第9週	”	視程と視程を遮るもの 異常気象現象(台風・ハリケーン・モンスーン・エルニーニョ現象等)
第10週	”	気象情報と気象図の見方
第11週	”	期末テスト総復習 航空機の運航に影響を及ぼす気象現象
第12週	前期総復習	後期授業内容の復習と確認(Q & A)

後期シラバス

2016年度 後期				
対象学年	1年	対象クラス	エアポート科	Vクラス
科目名	就職活動講座		担当講師	吉原 正彦
到達目標				
<p>企業研究など就職活動に必要なスキルを基本から学ぶ。 就職試験のための具体的な方法を習得させ合格を目指す。</p>				
使用テキスト				
<p>「SUCCESS 勝つための就職ガイド」 「就職ノート」 必要に応じプリントを配布</p>				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 提出物・授業態度等を基に評価する				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	後期授業内容(授業の進め方・成績評価方法)を具体的に説明する 前期授業内容(就職活動の重要性)のまとめを説明し再度学ぶ 「夏休みを振り返って」を題材に作文を作成させ文書力をつける
第2週	企業が求める人材とは	社会人基礎力を再確認させ正しい考え方を学ぶ 自分自身を知る、自分とは一体何なのか?何を求めているのか考え理解する 企業の考え方について理解する
第3週	企業研究	情報の収集方法と活用の仕方について理解する 企業研究シートの作り方について学ぶ 就職室、就職情報誌、インターネットの利用について学ぶ
第4週	企業研究	資料請求、求人票の見方、関心のある企業のリストアップについて学ぶ 企業訪問の準備、企業訪問前の注意点、アポイントメントの取り方について学ぶ お礼状の書き方(文章の基本)について学ぶ
第5週	自己PR作成	自己PRの定義、企業の判断材料を理解する 前期の自己PRを練り直し、自己分析で現状を考える 自己PR(300字)を書かせ理解する
第6週	志望動機作成	志望動機とは何か、意味を理解する 志望動機の考え方について学ぶ 志望動機の書き方について学ぶ
第7週	エントリーシート・履歴書の書き方	履歴書とエントリーシートの違いについて再度学び理解する エントリーシートの書き方、記入のポイントについて学ぶ 模擬面接に向けてのエントリーシートを作成し理解する
第8週	模擬面接に向けて	就職試験のマナー、面接試験の形式、面接試験の受け答え、等について学ぶ 面接でよくある質問事例について学ぶ 模擬面接前の自己チェックを行い理解する
第9週	模擬面接を振り返って	模擬面接での結果とフィードバックを行い理解する 模擬面接での反省点、改善点を振り返り理解する
第10週	グループディスカッション	グループディスカッションについて理解する グループディスカッションの進め方を学ぶ グループディスカッションの演習を行い理解する
第11週	志望動機・自己PR見直し	志望動機・自己PRを見直し400字でまとめ文書力をつける 業界とのミスマッチはないか、志望根拠の再確認を行い理解する
第12週	就職強化セミナーの振り返りとまとめ	就職強化セミナーの結果とフィードバックを行い理解する 1年間の就職活動を振り返り、再確認をする

夜間総合観光科

夜間総合観光科

学年	科目名	クラス	ページ
1	就職対策 (LHR)	Z	117
1	面接対策	Z	118
1	レストラン&バンケットサービス	Z1	119
1	ブライダルセールス (商品知識)	Z1	120
1	フロントサービス	Z1	121
1	観光地理	Z2	122
1	旅行実務	Z2	123
1	空港実務	Z2	124
2	観光産業概論	Y	125
2	コミュニケーションイングリッシュ	Y	126
2	接客英語	Y	127
2	就職対策 (LHR)	Y	128
2	業界商品知識 I	Y	129
2	業界商品知識 II	Y	130
2	セールス&プロモーション	Y	131
2	日本旅館のサービス	Y1	132
2	ブライダルプランニング	Y1	133
2	観光マーケティング	Y2	134
2	エアラインビジネス	Y2	135

後期シラバス

2016年度		後期	
対象学年	1年	対象クラス	夜間総合観光科
科目名	就職対策(LHR)	担当講師	松原 栄治
到達目標 就職活動を成果あるものとして行動できるように基本事項の完成と応用力を目指す			
使用テキスト 就職ノート、プリント、パワーポイント使用			
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点80% レポート・演習評価 20%			

	テーマ	授業内容
第1週	軸を考える	理想のサービス・企業・職種を選ぶ基準・キャリアビジョン 各自で自身の「軸」を発表 就職活動の進め方と入社試験種類と内容
第2週	履歴書の作成 I	履歴書の記入項目と書き方 ①文章のまとめ方②志望動機・自己PR以外の項目の書き方 身上書の作成
第3週	履歴書の作成 II	志望動機 & 自己PR作成
第4週	履歴書の作成 III	履歴書完成
第5週	エントリーシート I	希望業界別エントリーシート作成 実際のエントリーシートを使って各自作成を行う
第6週	論文対策	過去に出題されて演題 論文の書き方 演習
第7週	想定練習	想定質問(過去問題の質問応答を考える) ①志望と業界にいて ②サービス ③自己分析 ④職業観・職種観 ⑤キャリアビジョン ⑥時事問題 ⑦人物確認
第8週	就職模擬対策1	エントリーシート作成
第9週	就職模擬対策2	エントリーシートにもとづく質問 面接のポイントと受け方 想定質問の応対を考える
第10週	就職模擬振り返り	課題と問題点 実際に応えなかった質問への応答を考える ペア練習
第11週	就職強化セミナー対策	エントリーシートにもとづく質問 入室～面接～フィードバック ペア練習
第12週	就職強化セミナー振り返り	課題と問題点 2月以降の就職活動について 受験企業の選定と準備、就職行動計画の作成

後期シラバス

2016年度		後期	
対象学年	1 年	対象クラス	夜間総合観光科
科目名	面接対策	担当講師	松原 栄治
到達目標 入社試験におけるあらゆる面接に対応できる能力を磨く授業			
使用テキスト 就職ノート、プリント、パワーポイント使用			
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点80% レポート・演習評価 20%			

	テーマ	授業内容
第1週	面接の基本	面接の種類と面接のチェックポイント 面接の基本所作と練習 ①立ち方②歩き方③お辞儀④座り方&立ち上がり方⑤入退室⑥姿勢⑦表情訓練
第2週	コミュニケーションスキル	面接の基本所作と練習の復習 即答練習 自己紹介と自己PR
第3週	基本質問練習Ⅰ	志望理由 業界(職種)を選んだ理由 受験会社を選ぶ基準、業界・職種・企業のある地域を選んだ理由
第4週	基本質問練習Ⅱ	自己PRを尋ねる様々な質問の仕方、自分があるモノに例える練習 人間関係や性格・思考・価値観を確認する質問 気になるニュース(一般&業界編)
第5週	基本質問練習Ⅲ	業界別過去の面接質問練習
第6週	グループディスカッション1	グループディスカッションとは 練習
第7週	グループディスカッション2	練習
第8週	就職模擬試験対策1	エントリーシートに基づく面接練習(基本編) エントリーシート作成
第9週	就職模擬試験対策2	エントリーシートに基づく面接練習(応用編)
第10週	就職模擬振り返り	各自で課題とその改善を考える 面接改善練習
第11週	就職強化セミナー対策	エントリーシートに基づいた質問 入室～面接～フィードバック
第12週	後期のまとめ	就職強化セミナー面接改善練習 受験予定の企業研究と受験準備

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	1年	対象クラス	ホテル科	Z1 クラス
科目名	レストラン&バンケットサービス		担当講師	長野 美穂
到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・料飲サービスにおける基本動作を身につける ・レストランサービスの基礎知識を習得する 				
使用テキスト なし				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末試験80%、平常点20%で評価				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の目的と進め方、評価方法、期末試験についての説明 ・料飲とは ・身だしなみ、歩き方チェック
第2週	料飲部門の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・料飲部門の重要性 ・F&Bの基本的役目
第3週	西洋料理のサービス①	<ul style="list-style-type: none"> ・フランス料理の歴史 ・テーブルクロスの取扱い方
第4週	西洋料理のサービス②	<ul style="list-style-type: none"> ・フルコースの流れ ・テーブルクロスの取扱い方
第5週	西洋料理のサービス③	<ul style="list-style-type: none"> ・シルバーの取扱い方 ・フルコースのテーブルセッティング
第6週	中国料理のサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・四大中国料理 ・中国料理のサービス ・プレートサービス
第7週	C,G,Sの種類と取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・チャイナウェア・グラスウェア・シルバーウェアの種類について ・素材の違いと取扱いの注意点
第8週	朝食サービス①	<ul style="list-style-type: none"> ・朝食の種類 ・トレーサービス
第9週	朝食サービス②	<ul style="list-style-type: none"> ・ドリンクの種類 ・ドリンクのサービス
第10週	実技練習	<ul style="list-style-type: none"> ・期末試験に向けてトレーニング
第11週	期末試験	<ul style="list-style-type: none"> ・実技試験 ・制限時間内に課題ロールプレイングを行う
第12週	期末試験	<ul style="list-style-type: none"> ・実技試験 ・制限時間内に課題ロールプレイングを行う

後期シラバス

2016年度 後期				
対象学年	1年	対象クラス	夜間総合観光科	Z1クラス
科目名	ブライダルセールス(商品知識)		担当講師	船藏 大志
到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・結婚式の歴史について、文化・風習など幅広い知識を身につける。 ・ブライダル業界を広義に捉え、業態を把握する。 ・ブライダルプランナーの資質や具体的に必要なスキルについて理解し、業務内容やその付帯業務について把握する。 ・結婚式当日の流れを理解する。 				
使用テキスト				
・オリジナルテキスト				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
・平常点20点 + 期末テスト80点				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・2016年度後期授業内容の説明を行います(シラバスの説明)。 ・授業を進める上で、簡単なアンケートの協力をお願いします。 ・「結婚式」と、結婚式を支える「ウェディングプランナー」について、概要を理解します。
第2週	ブライダル業界とは	<ul style="list-style-type: none"> ・ブライダル業界を構成する4つの市場について理解します。 ・「ブライダルセレモニー市場」の具体的な役割について理解します。 ・ホテル、結婚式場の組織構成について理解します。
第3週	結婚式の歴史	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の結婚式の歴史について理解します。 ・日本国憲法第24条を基に作られた、結婚に関する法律について理解します。 ・日本人の結婚観について理解します。
第4週	ウェディングプランナーの資質	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェディングプランナーに必要な、「人間としての魅力」について理解します。 ・自分という人間をあらゆる面から可視化し、自己受容します。 ・簡単なプランニングを通じ、建設的な思考を身に付けます。
第5週	挙式・披露宴とは	<ul style="list-style-type: none"> ・挙式の種類(キリスト教式・神前式・仏前式・人前式)について理解します。 ・披露宴について理解します。 ・挙式のイメージを掴むため、実際の映像を視聴します。
第6週	結婚式当日の流れ①	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚式当日の動きを、新郎新婦目線で理解します。 ・人前式の流れについて理解します。
第7週	結婚式当日の流れ②	<ul style="list-style-type: none"> ・披露宴の流れを理解します。 (新郎新婦入場・媒酌人・主賓祝辞・謡曲三番・祝舞・詩吟・乾杯) ・福岡県の祝い事に行われる「博多祝いめでた」「博多手一本」について解説します。
第8週	結婚式当日の流れ③	<ul style="list-style-type: none"> ・披露宴の流れを理解します。 (友人スピーチ・ウェディングケーキ入刀・中座・再入場・テーブルラウンド 新婦手紙・花束贈呈・両家代表謝辞・新郎謝辞・新郎新婦退場・お見送り)
第9週	結婚式に携わる職業	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚式に携わる職業と役割について理解します。 ・ウェディングアイテム等の手配方法について解説します。
第10週	後期テスト対策	<ul style="list-style-type: none"> ・2016年度後期授業内容を整理します。 ・披露宴のプランニングを行います。
第11週	前期テストの解説	<ul style="list-style-type: none"> ・2016年度後期テストの回答・解説を行います。 ・2016年度後期授業を振り返り、自身の披露宴に対するイメージを可視化します。
第12週	プラン発表	<ul style="list-style-type: none"> ・10週目11週目の授業にて作成した、自身のイメージする「心に残るウェディング」のテーマと進行内容について発表を行います。

後期シラバス

2016年度 後期				
対象学年	1 年	対象クラス	夜間総合観光 科	Z1クラス
科目名	フロントサービス		担当講師	中牟田 登喜枝
到達目標 宿泊部門の基本、サービス方法の手順を実務知識として習得する ホテル用語を覚える 夏季企業実習に活かせる能力を身に付ける				
使用テキスト [宿泊業務の基礎]日本ホテル教育センター発行 宿泊実習室の備品 プリント				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点+期末試験=100点				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション 第2章宿泊部門 1.宿泊部門の使命と役割	成績の評価について、授業スケジュール説明 宿泊部門の3機能 商品特性、業務特性
第2週	2.宿泊部門の業務の流れ	宿泊部門スタッフの心得 宿泊業務のオペレーションサイクルを理解する
第3週	3.宿泊部門の組織体系と特徴	外資、一般都市型、宿泊特化型、リゾートホテルの組織図 今後求められるスタッフの能力と資質について意見交換してみる
第4週	第3章フロントサービス 1.フロントサービスとは 2.ドアマンの業務	フロントサービス業務の全体概要と特徴を理解する ドアマンの基本業務内容を理解する
第5週	2.ドアマンの業務	ドアマン ロールプレー
第6週	3.ベルマンの業務	ベルマンの業務手順と内容 ①接客サービス ②ロビー業務 ③荷物の扱い
第7週	3.ベルマンの業務	ベルマンの業務手順と内容 ④他部門ヘルプ ⑤その他
第8週	ベルマン～チェックイン編～	～最初の挨拶から客室へのご案内まで～ ロールプレー①
第9週	ベルマン～チェックイン編～	～最初の挨拶から客室へのご案内まで～ ロールプレー②
第10週	ベルマン～チェックアウト編～	～客室から見送りまで～ ロールプレー③
第11週	クローク業務	クローク業務手順 クローク業務における留意点
第12週	客室のタイプとレイアウト 客室設備、備品 後期授業のまとめ	基本的な客室タイプと客室設備や備品名を理解する 関連用語の復習

後期シラバス

2016年度 後期				
対象学年	1年	対象クラス	夜間総合観光科	Z2クラス
科目名	観光地理		担当講師	金森 和彦
到達目標 * 主要都市の文化・風習など幅広い知識を身につける 現地での交通機関や特産品について学ぶ 世界と日本との繋がりを観光資源を通して理解する				
使用テキスト プリント(主要国の地図・写真) パワーポイント・演習帳				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする ・平常点 20% ・期末試験 80%				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション スイス	授業の進め方の説明 スイスアルプスと避暑地の説明
第2週	ドイツ	ドイツの観光名所である古城街道、エリカ街道、メルヘン街道について学ぶ 旧西ドイツ・東ドイツの文化の違いについて
第3週	インド	ムガル帝国の功績とシャージャハンが造った世界遺産タージマハールについて学ぶ 世界の屋根であるヒマラヤ山脈の山々の観光資源に関して深く学ぶ 主要都市と空港の交通機関について(デリー、アクラ、ムンバイ、ベナレスなど)
第4週	オーストリア & ハンガリー	ハプスブルク家の文化について マジャール人の開発した文化について
第5週	スペイン	主要都市と空港の交通機関について(マドリード、バルセロナなど) 海浜リゾート地の説明(マラガ、バルセロナについて)
第6週	トルコ	主要都市と空港の交通機関について(アンカラ、イスタンブール、イズミール、トロイなど) オリエンタル急行の果たした役割と東ローマ帝国の首都として栄えたイスタンブールの歴史
第7週	ブラジル	南アメリカ最大の国ブラジルの文化について 黒人文化の伝来について リゾート地、リオデジャネイロの観光について
第8週	オーストラリア	オセアニア大陸に生息するめずらしい生き物について 南部のリゾート地について エアーズロックについて
第9週	日本(西日本の主要都市 について)	関西、九州の主な観光資源について 西日本の食文化について
第10週	日本(東日本の主要都市 について)	関東、東北、北海道の主な観光資源について 東日本の世界遺産について
第11週	日本(九州の主要都市に ついて)	福岡を中心に主な観光資源について 九州の世界遺産について
第12週	まとめ	世界地図から位置関係を学ぶ

後期シラバス

2016年度 後期				
対象学年	1年	対象クラス	夜間総合観光科	Z2 クラス
科目名	旅行実務		担当講師	草野 智子
到達目標 ・国内旅行の基本知識の習得を目指す(取消料・申し込み金・JR/航空・宿泊) ・国内旅行のプランニングの立て方を学習する(個人・団体 基本知識) ・カウンター販売(接客)時の注意点や、ヒアリング項目などを理解する。				
使用テキスト プリント、指定パンフレット JR/航空時刻表				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末試験80% ・ 平常点20%(提出物・小テスト等)				

	テーマ	授業内容
第1週	授業の進め方概要・JRについて	・自己紹介・授業の進め方(評価方法) ・JRの基本知識の習得(乗車券・特急券・払い戻し・割引きっぷ・年齢 等)
第2週	JR時刻表・基本①	・JR時刻表を練習問題を解きながら引けるようになる (上りと下り・地図のページで代表的な駅について確認・新幹線の時刻検索・乗り継ぎ等)
第3週	JR時刻表・基本②	・JR時刻表を練習問題を解きながら引けるようになる (前回の続きとピンクの重要項目ページの確認)
第4週	国内旅行基本(航空・宿泊・フェリー・バス・取消料・申し込み金)	・航空時刻表の見方(乗り換え時間や基本ルールなど)を確認・代表的な3レター ・宿泊・フェリー・バス・私鉄・駅弁・駅レンタカーについて基本知識の習得
第5週	国内旅行パンフレットの見方①	・各旅行社の代表的なパンフレットの見方がわかるようになる(練習問題) (JTB・日本旅行)
第6週	国内旅行パンフレットの見方②	・各旅行社の代表的なパンフレットの見方がわかるようになる(練習問題) (日本航空・全日空)
第7週	国内旅行パンフレットの見方③	・各旅行社の代表的なパンフレットの見方がわかるようになる(練習問題) (JR九州旅行・西鉄旅行)
第8週	国内旅行プランニング(個人)	・国内個人旅行の行程表の立て方を学習 ・練習問題で行程表に使用するマークやルールを確認 ・実際に203号室にあるパンフレットを使ってオリジナル行程表を作成
第9週	国内旅行プランニング(団体・九州バス旅行)	・団体旅行(バス)の行程表の立て方を学習 ・見積書の作成方法・団体旅行とは(IIT・保険など) ・高速道路地図を使用し日帰り行程表の作成
第10週	期末テスト対策	期末テストに出る範囲の復習(練習問題)
第11週	カウンター販売(電話応対)基本知識	・カウンター販売で必要な聴取項目の確認 ・言い回し(電話)の練習 ・店頭パンフレットの並べ方について解説
第12週	まとめ	旅行実務基本知識のおさらい(最も重要な取消料・JR時刻表などを復習)

後期シラバス

2016年度		後期	
対象学年	1年	対象クラス	夜間総合観光科
科目名	空港実務	担当講師	Z2クラス 原田 歩
到達目標			
1. 日本の航空会社や空港について理解する 2. 国内線における基本知識を習得する 3. グランドスタッフの業務内容、及び役割を理解する			
使用テキスト			
「ANAグランドスタッフ入門」イカロス出版			
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			
期末テスト80% 平常点(小テスト含む)20%			

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の目的、進め方、成績評価方法について ・空の安全について考える
第2週	日本の空港	<ul style="list-style-type: none"> ・日本地図をもとに空港の位置を学ぶ ・各空港の特徴を学ぶ ・空港の3レターを覚える
第3週	日本の航空会社	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の航空会社を知る ・各航空会社の特徴を学ぶ ・航空会社の3レター・2レターを覚える
第4週	空港施設①	<ul style="list-style-type: none"> ・九州の空港について学ぶ ・各空港の特色を学ぶ ・時刻表にて就航路線を学ぶ
第5週	空港施設②	<ul style="list-style-type: none"> ・東京国際空港、成田国際空港について学ぶ ・地方空港との違いを学ぶ ・時刻表にてサービスを学ぶ
第6週	GSの業務内容と役割	<ul style="list-style-type: none"> ・GSの勤務形態や業務内容を学ぶ ・GSの役割を理解する ・GSに求められる人材について考える
第7週	国内線旅客運送	<ul style="list-style-type: none"> ・国内線の手続きを学ぶ ・国内線におけるお客様の流れを学ぶ ・アナウンスに挑戦する
第8週	国内線航空券	<ul style="list-style-type: none"> ・航空券の見方とルールを学ぶ ・様々な搭乗媒体を知る ・スキップサービスについて学ぶ
第9週	国内線運賃	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な運賃とルールを学ぶ ・各社運賃を比較する ・ホームページにて空席照会をする
第10週	手荷物①	<ul style="list-style-type: none"> ・機内持込み手荷物のルールを学ぶ ・受託手荷物のルールを学ぶ ・危険物について学ぶ
第11週	手荷物②	<ul style="list-style-type: none"> ・手荷物タグの取扱い方法を学ぶ ・様々な種類の手荷物タグについて学ぶ ・様々な種類の収納ケースについて学ぶ
第12週	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・後期の復習、補足

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	2年	対象クラス	夜間総合観光科	Yクラス
科目名	観光産業概論		担当講師	松原 栄治
到達目標				
観光業界の現状と今後の課題を理解して、各企業の新たな取り組みや戦略から就業後、業務を通して付加価値を生み出す知識や発想を身につける。				
使用テキスト プリント、パワーポイント使用				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点20% 期末考査80%				

	テーマ	授業内容
第1週	選ばれるホテルの「朝食ブッフェ」	朝食のおいしいホテル2016 ホテルにおける朝食の価値。 付加価値を生み出す各ホテルの取り組み
第2週	収益強化手段としての朝食戦略	選ばれるホテルの朝食戦略。顧客経験値の高め方 他業種の朝食サービスの取り組み紹介 朝食改革と朝食のエンターテインメント性
第3週	ディナーの集客につなげる効果的手法	デザインで考えるホテルレストランリニューアル 新規顧客の誘致と新しいコンセプトづくり 美食礼賛 SPECIAL Dining紹介
第4週	ホテルのレストランを考える	ホテルのレストラン・施設の変遷 ホテルのレストランの課題と展望・街場の有名レストランとの対比 ホテルレストランへの提言
第5週	付加価値を生むホテルレストラン	次世代ニーズを開拓する進化系レストラン(ホテル阪急インターナショナル・ヒルトン東京他) ホテルの価値あるPB商品 ブランド強化と顧客誘致の施策
第6週	ホテルの「コーヒー戦略」	ホテルの価値と空間満足度を高めるコーヒー コーヒー市場の3つの波 各ホテルのコーヒー戦略
第7週	観光立国 日本Ⅰ	インバウンドの対応 外国人客への対応マニュアル プロトコール
第8週	観光立国 日本Ⅱ	外国の風習・習慣・文化・宗教を知る
第9週	観光立国 日本Ⅲ	外国人が好きな和食と食材 海外で求められる「和食」戦略 インバウンドのゲストが喜ぶサービス
第10週	観光立国 日本Ⅳ	地元の特産物の利用促進と商品化 各業界との関係を考える ミシュランガイド福岡・佐賀
第11週	食のトレンド	ネクストブレイクを探し出す 飲食業界のトレンドと国内外の人気メニュー
第12週	DISCOVER JAPAN	英語による日本紹介(JAPAN the official guide) 外国人の視点から見た日本の魅力と観光地 Travel Guide&Latest News

後期シラバス

2016年度		後期	
対象学年	2年	対象クラス	夜間総合観光 科 Y クラス
科目名	コミュニケーションイングリッシュ	担当講師	Geoffrey Wolfson
到達目標			
To make the students enjoy using English. To improve the students spoken English. To improve the students confidence in regards to English			
使用テキスト			
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 Class participation and attitude - 50% Oral test - 50%			

	テーマ	授業内容
第1週	Location + Present Continuous	Warm up, Self Introduction, Q&A, Vocabulary 12 Phrases: Where is _____? / What are you doing now? / etc
第2週	Past Tense + Price	Warm up, Self Introduction, Q&A, Vocabulary 13 Phrases: What did you do yesterday? / How much is _____? / etc
第3週	Future Tense 1	Warm up, Self Introduction, Q&A, Vocabulary 14 Phrases: What are you going to do tomorrow? / Is your friend going to _____? / etc
第4週	Future Tense 2 + Present Perfect Continuous	Warm up, Self Introduction, Q&A, Vocabulary 15 Phrases: What will you do later? / What have you been doing? / etc
第5週	Adjectives 1 + Occupation	Warm up, Self Introduction, Q&A, Vocabulary 16 Phrases: How would you describe yourself? / What does your father do? / etc
第6週	Symptoms + Comparative + Superlative	Warm up, Self Introduction, Q&A, Vocabulary 17 Phrases: What's the matter? / Which/Who is _____, ___ or ___? / etc
第7週	Advanced Personal Information 1	Warm up, Self Introduction, Q&A, Vocabulary 18 Phrases: Why did you enter this school? / What do you want to do after you graduate? / etc
第8週	Advanced Personal Information 2 + Polite Request	Warm up, Self Introduction, Q&A, Vocabulary 19 Phrases: What's your biggest strength? / What would you do if you won the lottery? / etc
第9週	Basic Personal Information 8	Warm up, Self Introduction, Q&A, Vocabulary 20 Phrases: What are you looking forward to? / Have you ever _____? / etc
第10週	Adjectives 2	Warm up, Self Introduction, Q&A, Vocabulary 21 Phrases: What is interesting? / Who is inspiring? / etc
第11週	Advanced Personal Information 3	Warm up, Self Introduction, Q&A, Vocabulary 22 Phrases: What's your best memory from your childhood? / What's your future dream? / etc
第12週	Oral test	Verbal Questions and Answers from Phrase List

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	2年	対象クラス	夜間総合観光科	Yクラス
科目名	接客英語	担当講師	松原 栄治	
到達目標 社会に出て、観光現場やグローバルシーンに対応できる英会話能力を磨く授業				
使用テキスト 「ホテルビジネス 基本編」 財団法人日本ホテル教育センター プリント、パワーポイント使用				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点20% 期末考査80%				

	テーマ	授業内容
第1週	基礎英語	基本動詞・前置詞の活用 接客英語の基本表現 数字の言い方、過去・現在完了形の理解
第2週	基本表現 I	挨拶表現、お願い お伺いと許可 Would・Could・Mayの使い方、Noと言わない基本表現
第3週	基本表現 II	お詫びと御断り 感謝と御礼
第4週	ホテル英会話	セクション別会話表現 (ドア・ベル・予約) 電話対応の仕方・道案内
第5週	ホテル英会話	セクション別会話表現 II フロント・クローク チェックイン・チェックアウト・両替・インフォメーション・両替
第6週	ホテル英会話	レストラン業務の英会話 Useful Phrases & Vocabulary レストラン用語・料理・素材・調理・メニュー
第7週	ホテル英会話	レストラン業務の英会話 II Dialogue Lesson サービスで使う基本表現
第8週	ホテル英会話	ルームサービス&バー&ラウンジの英会話 日本食の説明 Useful Phrases & Vocabulary
第9週	ホテル英会話	セクション別会話表現 III クローク、各セクションのまとめ Role Play Practice
第10週	表現練習	Listening Practice 発音練習
第11週	日常会話	意外と知らない日常表現 英語でGIRLS TALK ビジネス会話 基本編
第12週	英文読解	英字新聞にチャレンジ

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	2年	対象クラス	夜間総合観光科	Yクラス
科目名	就職対策(LHR)		担当講師	松原 栄治
到達目標	現在受験中の企業の合格に向けて試験対策を行う 内定者は入社にむけての準備を行う。			
使用テキスト	プリント、パワーポイント使用			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点30% レポート・演習評価 70%			

	テーマ	授業内容
第1週	受験指導	未内定者は履歴書・エントリーシート作成&面練習 内定者は課題作成
第2週	受験指導	未内定者は履歴書・エントリーシート作成&面練習 内定者は課題作成
第3週	入社前教育	ビジネススキル&業界教育
第4週	入社前教育	ビジネススキル&業界教育
第5週	入社前教育	ビジネススキル&業界教育
第6週	入社前教育	ビジネススキル&業界教育
第7週	入社前教育	ビジネススキル&業界教育
第8週	入社前教育	ビジネススキル&業界教育
第9週	入社前教育	ビジネススキル&業界教育
第10週	入社前教育	ビジネススキル&業界教育
第11週	入社前教育	ビジネススキル&業界教育
第12週	LHR	夜間総合観光科としての2年間を振り返って

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	2年	対象クラス	夜間総合観光科	Yクラス
科目名	業界商品知識 I	担当講師	松原 栄治	
到達目標				
ホテル・レストラン・バー・ラウンジ等で提供される飲料の知識を高める授業				
使用テキスト 「ホテルビジネス 基本編」財団法人日本ホテル教育センター プリント、パワーポイント使用				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点20% 期末考査80%				

	テーマ	授業内容
第1週	商品知識(飲料)	酒類Ⅰ 酒類分類 製法と原料 飲料用語解説
第2週	商品知識(飲料)	酒類Ⅱ 「ワイン」の基礎知識
第3週	商品知識(飲料)	酒類Ⅱ 「ビール」の基礎知識
第4週	商品知識(飲料)	酒類Ⅲ 「ウイスキー」の基礎知識
第5週	商品知識(飲料)	酒類Ⅳ 「スピリッツ」の基礎知識
第6週	商品知識(飲料)	酒類Ⅴ 「リキュール」の基礎知識
第7週	商品知識(飲料)	酒類Ⅵ 「日本酒」「焼酎」の基礎知識
第8週	商品知識(飲料)	ソフトドリンク(コーヒーⅠ) 豆の種類、産地、焙煎、挽き方、淹り方 抽出のメカニズム
第9週	商品知識(飲料)	ソフトドリンク(コーヒーⅡ) コーヒーのバリエーション コーヒービジネスの変遷と3つの波
第10週	商品知識(飲料)	ソフトドリンク 紅茶 種類と特徴
第11週	商品知識(飲料)	日本茶の種類・産地・茶器 中国茶の基本(六大茶+花茶) 韓国茶
第12週	商品知識(飲料)	ハーブティー、健康茶 ジュース・ミネラルウォーター

後期シラバス

2016年度		後期			
対象学年	2年	対象クラス	夜間総合観光科	Yクラス	
科目名	業界商品知識Ⅱ		担当講師	松原 栄治	
到達目標					
各種料理の基本となる食材の知識を高める授業					
使用テキスト 「ホテルビジネス 基本編」財団法人日本ホテル教育センター プリント、パワーポイント使用					
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点20% 期末考査80%					

	テーマ	授業内容
第1週	商品知識(料理)	ビタミンと栄養素 ビタミンの種類と効能 薬膳と根菜の効果
第2週	商品知識(料理)	野菜と栄養素 スーパー野菜・京野菜 九州の主な農水産物
第3週	商品知識(料理)	だしの成分 かつお節 昆布
第4週	商品知識(料理)	だしの成分Ⅱ 干し椎茸・煮干し フレンチ・中華のだし
第5週	商品知識(調味料)	香辛料 種類・働き・使い方・食材・調理との相性 食品添加物の基礎知識
第6週	商品知識(調味料他)	パン&チーズ、ヨーグルト 調味料(塩・醤油・味噌)
第7週	商品知識(肉)	食材(牛・豚・羊) 種類と品質。国産ブランド紹介。国産と輸入種、部位名
第8週	商品知識(肉)	食材(牛・豚・羊) 種類と品質。国産ブランド紹介。国産と輸入種、部位名
第9週	商品知識(肉)	食材(鶏・ジビエ) 全国地鶏マップ、種類と品質、国産ブランド紹介。調理法 脚光浴びるジビエ戦略
第10週	商品知識(魚)	食材(魚介)Ⅰ 魚卵の食材 魚介の栄養素
第11週	商品知識(魚)	食材(魚介)Ⅱ 魚介の種類と特徴・調理用語 寿司ネタ・寿司誌の基本知識
第12週	商品知識(料理)	和食の知識 日本料理の種類と郷土料理 鍋物

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	2年	対象クラス	夜間総合観光科	Yクラス
科目名	セールス&プロモーション		担当講師	松原 栄治
<p>到達目標 「付加価値を生み出し客単価をあげるには?」「お客様を待つのではなく。来て頂く店舗への転換とは?」 サービスだけを売る時代から営業意識をもったサービススタッフになるための授業。</p>				
<p>使用テキスト プリント、パワーポイント使用</p>				
<p>成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点20% 期末考査80%</p>				

	テーマ	授業内容
第1週	セールスの基本	セールスって何?新しい営業スタイルの流れ セールスとサービスの関連性と価値の創造 サービスクオリティと商品分析について
第2週	戦略とマーケティング	商品アプローチと商品の提案・販売について、営業の要となるマーケティング理論 売れる仕組みを考える、販売戦略の手法 購入のプロセスをつくる(商品開発～販売)
第3週	価値の創造	商品理解のススメ、価格の基準と提案力 価格設定。価格競争に勝つには。購入機会の作り方 ニーズを創り、ライフスタイルを考える。(セブンイレブンの取り組み)
第4週	購入を促進する売り場の演出	店舗戦略(コンビニエンスストアの戦略) 照明の種類と効果 店内レイアウトと商品陳列の重要性
第5週	集客・来店を考える	商品の見せ方とポジショニング。集客・来店の根拠を探る ターゲットマーケティング、ホテルの価値を高めるPB商品を考える 新しいマーケットの創造と競争優位の構築(パークハイアット東京とスターフラーヤーの戦略)
第6週	集客法とブランディング	コンセプトワーク。繁盛店のルール～QSCバランス～ 来店機会を増す集客法を考える。五感に印象づける7つのステップ。 ANAのブランディングの取り組み
第7週	SWOT分析	SWOT分析とは。(JR東日本の事例) 内定先企業の商品のあり方を考える。(内定先SWOT分析)
第8週	演習	内定先企業のSWOT分析を行い発表
第9週	カラーコーディネート	色の基本と応用、色のイメージ 色の心理的効果 色の相関・彩度と明度、暖色・寒色、反対色の活用
第10週	カラーコーディネートⅡ	色を活用した店舗戦略 色を活用した販売促進 病院、女性が集まるレストランの色彩
第11週	広告戦略	トレンドって何?2016年のトレンドと次年度の予想 ロングセラー商品を考える(グリコの商品開発の取り組み) 企業メッセージとキャッチコピー&ネーミング
第12週	経営分析	会計の基本知識 ホテル業の収益会系と費用会計 経営分析の基本知識

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	2年	対象クラス	夜間総合観光科	Y1 クラス
科目名	日本旅館のサービス		担当講師	長野 美穂
到達目標 前期に引き続き、和のサービスや旬の食材、季節の行事などを学んでいきます。 また、お客様として利用する際に必要なマナーを身につけることが目標です。 週に一度、和の世界にたっぷり浸ってください。				
使用テキスト なし				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末テスト100%				

	テーマ	授業内容
第1週	秋の行事と食材	秋の食材に詳しくなる お彼岸に詳しくなる
第2週	朝のサービス	朝食ならではのサービス 「かよう亭」日本一の朝食といわれるその中身は… 業界全体の朝食市場をみてみよう
第3週	和食器	器に親しむ 陶器と磁器の違いを知る 日本人はどのような素材を器として使ってきたかを学ぶ
第4週	和の調理法	知っておきたい和の調理法 「幽庵焼き」って？ 漬物に詳しくなる
第5週	郷土料理	福岡の郷土料理 明太子、能古うどんなど、福岡の郷土料理を学ぼう 鍋奉行を目指して
第6週	温泉豆知識	温泉 正しい入浴方法とこだわり温泉のポイントを知る
第7週	和食が利用される行事①	お子様に関する行事 帯祝い、お宮参りなど行事の由来とサービスの極意を学ぶ
第8週	和食が利用される行事②	結婚に関する行事 お見合い、結納 それぞれのサービスの極意を学ぶ
第9週	和食が利用される行事③	そのほかの行事 法要の注意点 精進料理に詳しくなる
第10週	期末試験に向けて	まとめ 9週目までの復習
第11週	正月準備	お節料理 「栗きんとん」「数の子」などお節料理に込められた意味を知る
第12週	旅館の課題	これからの日本旅館 ユニバーサルサービスなど、今後特に求められる日本旅館のサービスを学ぶ

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	2年	対象クラス	夜間総合観光科	Y1クラス
科目名	ブライダルプランニング		担当講師	船藏 大志
到達目標 ・具体的なテーマを設定し、ウェディングプランニングを実践できるようになる。 ・具体的なロールプレイングを通して、接客知識・現場対応力を養う。 ・独自のウェディングプラン・料金表を作成し、自身の推奨するウェディングをプレゼンテーションできるようになる。				
使用テキスト ・ブライダル実務テキスト ・オリジナルテキスト				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点20点 + プラン発表評価20点 + 期末テスト60点				

	テーマ	授業内容
第1週	オリエンテーション	・2016年度後期授業内容の解説。(シラバスの説明) ・ブライダルプランニングの具体的な流れについて復習、理解する。
第2週	プランニングテーマ作成	・プランニングにあたり、それぞれにテーマを設定します。 ・テーマに沿ったイメージの選定を行えるようになる。
第3週	プランニングの基礎	・たくさんあるウェディングアイテムの使用用途や、種類について理解します。 ・お客様の予算やこだわりに基づいた、見積書の作成ができるようになる。
第4週	ペーパーアイテム・引き出物	・テーマに沿った「招待状」「席次表」「席札」など、ペーパーアイテムのイメージを作成できるようになる。 ・テーマに沿った「引き出物」をデザインや予算をもとに選定できるようになる。
第5週	料理・ドリンクプランの決定	・料理・ドリンクのプランに伴い、テーマに沿った更なる提案ができるようになる。 ・テーマに沿ったテーブルコーディネートについてイメージの選定を行う。 ・テーマに沿ったウェディングケーキの選定を行う。
第6週	衣裳・アクセサリ	・テーマに沿った「衣裳」「アクセサリ」「ブーケ」を選定できるようになる。 ・披露宴内容の基本的な流れと時間配分、会場の作りについて理解・共有する。
第7週	披露宴進行内容の作成	・披露宴の進行内容を踏まえた上で、テーマに沿った演出の提案ができるようになる。 ・進行内容作成にあたり、必要な物の選定ができるようになる。
第8週	人前式進行内容の作成	・人前式内容の基本的な流れと時間配分、会場の作りについて理解・共有する。 ・人前式の進行内容を踏まえた上で、テーマに沿った演出の提案ができるようになる。 ・進行内容作成にあたり、必要な物の選定ができるようになる。
第9週	進行に伴った選曲	・人前式・披露宴にあたり、テーマに沿った音楽の選定ができるようになる。 ・プランニングノートを完成させます。
第10週	プランニング内容の発表	・プランニングしてきた内容の発表を通し、プレゼンテーションを行います。 ・今期テスト対策を行います。
第11週	テスト回答	・テストの返却、回答・解説を行います。 ・結婚式の受付説明ロールプレイングを通じて、人前で物事の説明ができるようになります。
第12週	ウェディングアイテムの作成	・作成してきたプランに沿った、ウェディングアイテムの作成を行います。 ・イメージを可視化し、形にできるようになります。

後期シラバス

2016年度 後期				
対象学年	2年	対象クラス	夜間総合観光科	Y2 クラス
科目名	観光マーケティング		担当講師	草野 智子
到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・国内個人・団体 海外個人・団体旅行の企画行程表の基本知識を理解する。 ・プランニングを通して、人気観光地のホテル・グルメ・お土産などを学び案内できるようになる。 ・JR・航空基本知識・取消料等旅行業界で働く上で最重要項目を復習し理解する。 				
使用テキスト				
プリント 時刻表				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
期末テスト50% ・ 提出物・平常点50%				

	テーマ	授業内容
第1週	授業の進め方概要・ツアープランニング概要・観光マーケティングとは	授業の進め方・評価方法について案内 ツアープランニングとは何か学ぶ。 観光マーケティングとは何か学ぶ。
第2週	国内 団体旅行について	団体旅行を作る上で必要な知識を学ぶ(行程表の作り方・宿泊・宴会場・お土産・R・IIT) モデルプランをベースに企画書・見積書を作成しよう
第3週	国内 個人旅行ツアープランニング①	国内パッケージツアー商品をベースに行程表を作成しよう。 リゾート・沖縄
第4週	国内 個人旅行ツアープランニング②	国内パッケージツアー商品をベースに行程表を作成しよう。 リゾート・北海道
第5週	JR時刻表・応用	1年時の復習と、特別企画乗車券(関西地区)、主要駅と観光地について学習しよう。
第6週	国内パンフレットの見方・関西・伊丹空港について	練習問題を解きながら、パンフレットが見れるようになる。(関西発) 関西・伊丹空港の内部・アクセスについて学ぼう。
第7週	旅行業法・旅行業約款	重要な業法・約款について学ぼう(変更保証金など)
第8週	海外 団体旅行について	海外団体旅行の基本知識(ランド・見積もり・行程表など)を学ぼう。 モデルプランをベースに企画書・見積書を作成しよう
第9週	海外 個人旅行ツアープランニング①	ハネムーンに行くならのプランニングをしよう。 リゾート方面
第10週	海外 個人旅行ツアープランニング②	卒業旅行に行くならのプランニングをしよう。 リゾート以外
第11週	旅行実務 復習	国内・海外取消料・3レター・2レター・航空・JR基本知識・宿泊ルールなどの 旅行業界で働く上で重要な項目を復習しよう。
第12週	カウンターセールス・海外ウエディング	海外ウエディングについて学ぼう。 カウンター接客の基本対応を学ぼう。

後期シラバス

2016年度		後期		
対象学年	2	年	対象クラス	夜間総合観光科 Y2 クラス
科目名	エアラインビジネス		担当講師	瀧内 洋
到達目標 就業までの期間を利用して航空業界の最新情報を入手する習慣を身につけるようにする。 企業人として必要な最低限度の知識とマナーを習得する。				
使用テキスト なし				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点(授業態度、小テスト等)のみで評価する				

	テーマ	授業内容
第1週	最新の業界情報	業界専門誌の記事をピックアップして内容を理解する。 メールの書き方に関する知識
第2週	最新の業界情報	業界専門誌の記事をピックアップして内容を理解する。 メールの書き方に関する知識
第3週	最新の業界情報	業界専門誌の記事をピックアップして内容を理解する。 名刺の交換に関する知識
第4週	最新の業界情報	業界専門誌の記事をピックアップして内容を理解する。 応接室での着席に関する知識
第5週	最新の業界情報	業界専門誌の記事をピックアップして内容を理解する。 給与明細の見方
第6週	最新の業界情報	業界専門誌の記事をピックアップして内容を理解する。 電話の応対に関する知識
第7週	最新の業界情報	業界専門誌の記事をピックアップして内容を理解する。
第8週	最新の業界情報	業界専門誌の記事をピックアップして内容を理解する。
第9週	最新の業界情報	業界専門誌の記事をピックアップして内容を理解する。
第10週	最新の業界情報	業界専門誌の記事をピックアップして内容を理解する。
第11週	最新の業界情報	業界専門誌の記事をピックアップして内容を理解する。
第12週	最新の業界情報	業界専門誌の記事をピックアップして内容を理解する。

